

宇部協立産業 株式会社

所在地：宇部市大字川上字石仏 555
電 話：0836-31-3088

採石・玉砂利の採石・加工・販売 60 年の重み

【企業データ】

代表取締役社長：井町 光利

資本金：1000 万円

従業員：23 人

設 立：1961 年（昭和 36 年）4 月



【ご挨拶】

「ものづくり」により未来を創造する

宇部協立産業は昭和 36 年に創業し、59 年間、主に土木・建設用に使用される砕石の製造、販売を行ってきました。宇部市川上の山から生産した砕石は、県内の公共工事（国道、県道、空港、公園等）や民間工事（一般住宅の基礎等）の地盤生成の材料、またコンクリートの骨材として利用して頂き、社会インフラや住居等、地域の皆様の暮らしに貢献できるよう努力してまいりました。

しかし、近年、砕石需要が減少し、製造方法を変化させていかなくては、砕石製造を継続することが厳しくなっています。砕石を製造する事業所は、運送コストの関係で、それぞれの地域にあった方が良くとされています。地域の建設のため、地域の人々の安心・安全のため、継続して宇部市にて砕石を製造し、宇部市周辺の砕石需要に対し、安定供給できるよう努力していきたいと考えています。

また、宇部市発展に貢献するため、宇部市内だけでなく、全国へ販路を拡げていきたいと考えていま

す。砕石は重量に対する単価が安いいため、基本的に地域内での販売がほとんどとなりますが、地域外へ商品を販売するためには、商品を高付加価値化する必要があります。

砕石を丸く加工し、景観用として利用される「玉砂利」や、砕石をより小さく破碎、分級し、物理的、化学的な用途で利用される「粉体砂利」の商品を研究開発しております。「玉砂利」はすでに全国への販売実績があり、「粉体砂利」に関しては、東京大学が弊社砕石を加工し、はやぶさ 2 が漂着した惑星リュウグウの再現土壌を作成し、海外の研究機関へ提供を行った実績があります。

砂利商品以外にも、砕石製造コストの削減の課程で生まれる「IT、IoT、ロボットを用いた自動化装置」の開発、採石場の形状を活かした「小型ロケット発射実験」の実施等、砕石事業に関連した新事業開発にも日々取り組んでおります。

全従業員の幸福を追求し、社会の発展に貢献するためには会社を継続していかななくてはなりません。そのためには、既存事業を伸ばしながら、新事業を創造していくことが必要であり、それを経営者だけでなく、従業員全員にて考え、実行していく形を目指しております。

代表取締役社長 井町 光利

【沿革】

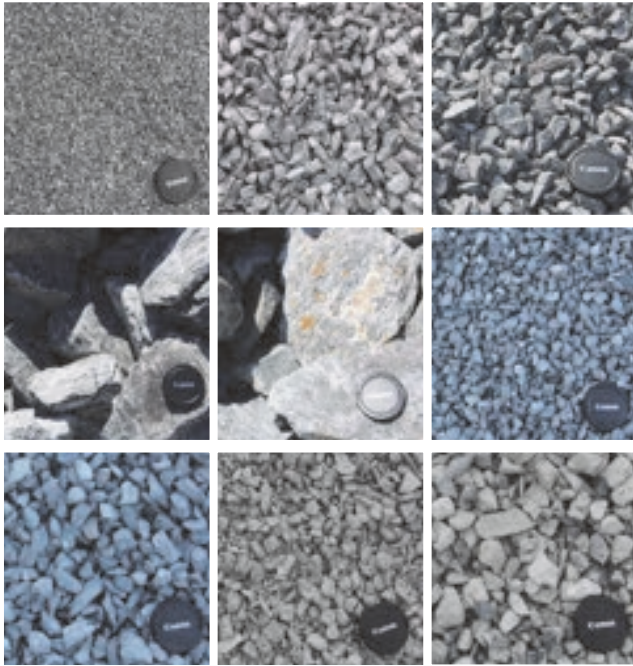
1961 年 4 月	設立
1962 年 3 月	宇部興産中央研究所に於いて骨材の試験合格済
1965 年 7 月	山口大学工学部土木科に於いて骨材試験合格済
1967 年 6 月	広島建設省総合試験所に於いて骨材試験合格済
2011 年 4 月	【設立 50 周年】

【事業内容】

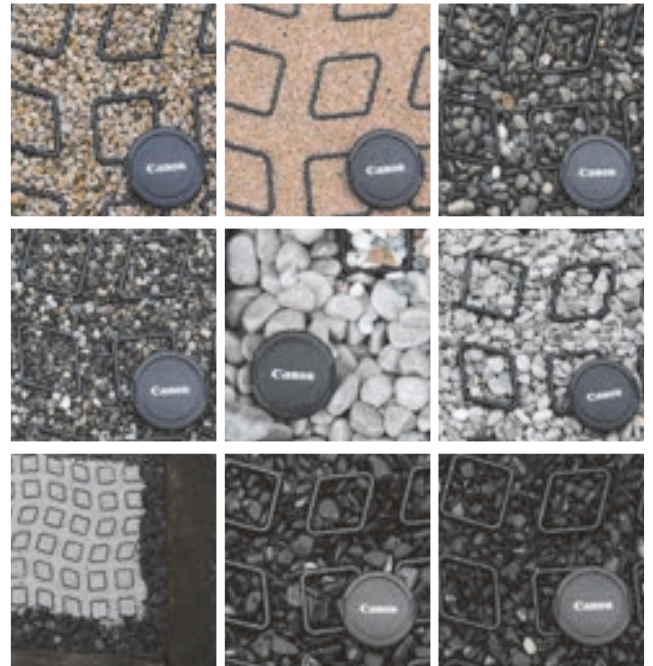
- ① 土木・建設・装飾用各種砕石、リサイクル材、真砂、砂、建設資材等の製造・販売業
- ② 一般貨物自動車運送業 - 砕石、玉石等製品の運搬、残土の収集処理
- ③ 産業廃棄物収集運搬業 - アスファルトがれき等の収集運搬、一時保管

【製品一覧】

《採石》 宇部協立オリジナル採石、真砂、砂、罹災栗製本を取り扱っております。(全 38 種類)



《玉砂利》 黒玉石、白玉石、錆砂利、南国砂利、各サイズ取り扱っております。(全 13 種類)



【写真】



採石場と宇部の街



砕石製造プラント



小型ロケット発射実験



リュウグウ模擬土壌(宇宙ミュージアム TenQ 展示)

宇部興機 株式会社

所在地：宇部市大字善和字大日 203-230
電 話：0836-62-0101

未来を俯瞰し、創造する。

Create the future



代表取締役社長：阿部 正義

資本金：2000 万円

従業員：70 名／協力会社 7 社（60 名）

創 業：1969 年（昭和 44 年）4 月



【経営理念】

モノづくりを通じて、安心安全を要とし、
互いを認め合い、磨き合い、
気遣いのできる企業文化を構築し、
それを継続することで、
関わる全ての人々と幸福と利益を分かち合う。

【代表者より御挨拶】

昭和 44 年の創業以来、油圧配管工事を原点に、社会インフラ・製鉄・化学プラント、鋼構造物など、設計から製作、据え付け工事までの一貫体制を構築することで、品質主義を徹底しています。

現在、グローバル社会が進展し、世界の動向が業界に多大な影響をもたらす環境下にあって、時代を的確に捉え速やかに業態に反映させる企業姿勢は弊社の誇るところです。例えば、コスト競争力強化の為、早くから中国製造工場との提携を図り、現在は深い信頼関係を構築し、弊社の強みとして多くの実績を残しています。

また、持続可能な社会構造をめざすエネルギーシフトへの挑戦が行われる時代にあって、国内初の自然エネルギーの活用による自給型街灯「太陽光発電式 LED 街灯」の特許を取得しています。

最近では再生エネルギー分野にも進出し、有機系ゴミを燃料とするバイオマスガス生成の為の、発酵槽やガスホルダーの建設にも積極的に取り組んでいます。

また、モノづくりの世界においても「人」との関わり合いが大切な事は言うまでもありませんがこれからも「人」の温かみを感じさせる事ができるモノづくりを行って参ります。

皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

宇部興機株式会社

代表取締役社長 阿部 正義

【企業のあゆみ】

1969 年 4 月	資本金 200 万円で(有)宇部配管工業設立
1981 年 10 月	(有)宇部配管工業を宇部興機(株)に組織変更
11 月	資本金 2,000 万円に増資
1989 年 2 月	山口県宇部市大字東須恵 1961-1 から現在場所に本店及び瀬戸原工場新設移転
1994 年 4 月	宇部市西沖の三井東圧化学(株)（現 太陽石油(株)）山口工場内に西沖営業所開設
2000 年 3 月	建設業許可の一般から特定建設業許可取得
10 月	ISO9001：1994 認証を取得
2004 年 8 月	中国 大連の天陽重工有限公司と業務提携
2005 年 6 月	代表取締役会長に阿部芳正、取締役社長に小玉明典 就任
2006 年 1 月	中国 大連の盛陽重工有限公司と業務提携
6 月	環境事業会社(株)エムテックを吸収し e 事業部を立ち上げる
2007 年 3 月	10t 天井クレーン付き製缶工場増設および屋外ヤード整備
2009 年 10 月	ISO9001：2008 年版に更新
2011 年 8 月	東日本大震災被災地域の復旧復興に対しての貢献で経済産業大臣賞受賞
10 月	代表取締役社長に小玉明典、代表取締役専務に阿部正義 就任
2012 年 3 月	太陽光発電式白色 LED 街灯の開発で山口県産業技術振興奨励賞受賞
2015 年 6 月	太陽光発電式白色 LED 街灯の開発で中国地域ニュービジネス大賞特別賞受賞
2017 年 6 月	会長に小玉明典、代表取締役社長に阿部正義が就任
2019 年 4 月	【創業 50 周年】 記念シンボルマーク策定

【事業内容】

油圧配管工事・鋼構造物工事・機械器具設置工事・水道施設工事・プラント工事・一般産業機械・メカトロ機械、装置・環境関連機器（ソーラーLED 照明灯）・ガスホルダー・精密板金およびレーザー加工・工場保全。上記における設計、製作、据付



UKC 初期ロゴマーク



50 周年記念ロゴマーク

《油圧配管工事・環境保全》

県下唯一の油圧配管専門業者として創業以来積み重ねてきた技術力をもって施工いたします。また、製造プラント・工場等の設備保全・修理においても、長年培った知識・ノウハウが活かされています。



《鋼構造物工事》

水門・水管橋・ダム等の河川設備、歩道橋・橋梁・クレーン等の陸上構造物加工から現地据付工事まで、蓄積された技術と経験をもって施工いたします。



《産業機械・機器》

クライアントの様々なニーズに対応するため、設備の増強、人材育成に務めています。

《環境施設・プラント設備》

上下水道・排水ポンプ場・焼却場・リサイクルセンター等の環境施設から電力・自動車・製鉄・化学・セメント等のプラント設備を設計から現地据付工事まで責任を持って施工いたします。



《ガスホルダー事業》

再生可能エネルギーとして、また地球温暖化対策の一つとして有効活用が期待されるバイオガスを筆頭に、様々なガスを貯蔵するガスホルダーの設計・施工・据付工事を行っています。

《ソーラーLED 照明灯》

LED 街灯とソーラーパネルを一体化。次世代のエネルギー自給型街灯です。



【中国工場との業務提携】

当社は、コスト競争力強化、そして今後さらなるニーズの増加が予想されるアジア地域での取引拡充を図るため 2004 年より中国製造工場との業務提携を行なっております。製造工程および品質管理については当社の技術者を現地事務所に常駐させるとともに、中国人技術者・通訳も配置するなど徹底した指導・管理を行い、品質および生産能力の維持向上を図っています。



宇部工業 株式会社

所在地：宇部市大字妻崎開作 874 番地の 1
電 話：0836-41-8448

たしかな技術で未来をひらく

【企業概要】

代表取締役社長：河野 剛志

資本金：1 億円

従業員：190 名

設 立：1948 年（昭和 23 年）11 月 1 日

年 商：90 億円

【ご挨拶】

宇部工業株式会社は創業期企業理念のもとに創業以来
国土を大切に、人々の生活環境を安全にかつ快適にと願
い、社会の基盤づくりを担ってまいりました。

私たちは、「多様化するお客様ニーズに対応し満足し
ていただくためには多面的な創造性ある企業でなくては
ならない」と考えます。

今後とも、自然と人間の調和を大切に、新しい付加価
値を生む技術革新のためめぬ追求により、より豊かな社
会づくりに貢献いたします。

【理念】

☆創業期 企業理念

我々は国家が必要である
国家は国土、国民、主権により成立し、
企業は人、物、金の結合体である
国家の運営は政治、経済、教育等が
推進母体となる
企業は経済の分野を担当し、
利潤を追求する経済行為の果実により
国家の財政をささえ
我々の豊かな生活を生み
地域社会に貢献するものである

☆第 2 創業期 企業理念

自らが誇れる会社
社会が評価する会社
家族が満足する会社
づくりを目指そう

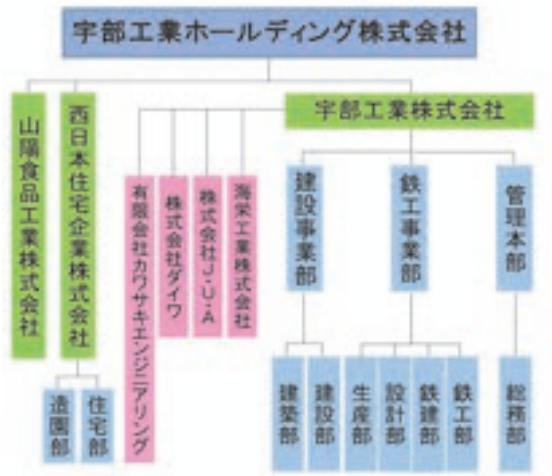
【宇部工業株式会社 全景】



【沿革】

1948 年	有限会社宇部商工社創立
1949 年	宇部製缶工業有限会社に商号変更
1954 年	宇部製缶工業株式会社に組織変更
1960 年	浚渫事業部発足
1961 年	宇部築港株式会社設立
1964 年	宇部築港株式会社を吸収合併し、 社名を宇部工業株式会社と改め 現在地（宇部市厚南区）に移転
1969 年	住宅・不動産部門として 西日本不動産株式会社を設立 （現西日本住宅企業株式会社）
1974 年	浚渫部門を分離独立し、 海栄工業株式会社設立
1975 年	宇部工業グループ事業協同組合設立
1978 年	食品製造部門として 山陽食品工業株式会社を設立
2007 年	株式会社 J・U・A 設立
2014 年	宇部工業ホールディング株式会社設立
2014 年	株式会社ダイワ M&A でグループ入り
2016 年	有限会社カワサキエンジニアリング M&A でグループ入り

【宇部工業グループ構成図】



【営業品目】

鉄工事業部

＜鉄工部門＞

- ・石油プラント
タンク新設・開放・改修（コーンルーフ型、ドームルーフ型、フローティングルーフ型）、石油貯蔵受入払出設備、アスファルト貯蔵設備、船舶給油施設、空港給油施設、ガスホルダー、ウルトラフロートカバー、ウルトラドーム、U-VRAS（炭化水素ペーパー回収装置）
- ・化学プラント
高压容器、熱交換器、塔槽類、攪拌装置
- ・輸送プラント
鉱石・セメント・穀物受入貯蔵払出設備、起重機、各種コンベア、エレベータ、各種荷役装置

＜鉄建部門＞

- ・水門
ローラーゲート、スライドゲート、フラップゲート、マイターゲート、スイングゲート、横引きゲート、陸上設置型フラップゲート式陸閘（neo RiSe）、自動転倒ゲート、ゴム堰
- ・除塵機
ロータリーレーキ式、ピンラック式
- ・橋梁
道路橋、歩道橋、水管橋
- ・各種鉄構造物
スリットダム、浮棧橋、各種下水道機械

建設事業部

＜建設部門＞

- ・陸上土木
一般土木工事、宅地造成工事、推進工事、下水管理設・更生工事、道路・河川工事、特殊基礎工事
- ・港湾土木
港湾施設、漁港施設、岸壁・護岸・防波堤・栈橋の建設、グラブ浚渫
- ・湖沼河川浚渫
浅瀬、湖、河川、池及びダム湖の浚渫、多機能小型作業船（UD-1）、水陸両用小型作業船（CONVER）

＜建築部門＞

- ・各種建築の設計・施工・監理
高齢者福祉施設、公共施設、公共住宅、学校校舎、学校体育館、店舗

＜その他部門＞

- ・環境機器
汚泥・土砂の脱水装置、水質浄化装置

【社歌】

宇部工業を軸として

作詞 喜志 邦三

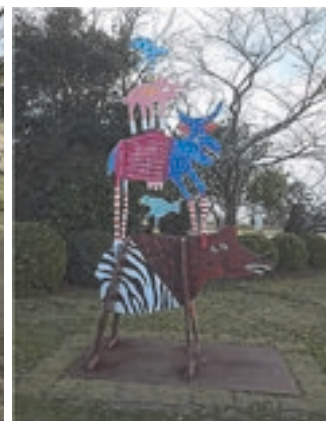
作曲 高木 東六

1. 雲くれないの 朝ごとに
わが社の名を呼ぶ 声きこゆ
明日の国土に ゆるぎなき
いしづえ築く 大使命
君もゆく われもゆく
団結 ― 心は皆一つ
宇部工業の われら行く
起伏の道も われら行く
2. 海はるかなる 国々も
その手をひろげて われを待つ
すすむ世界に ささぐるは
まごころこもる 新技術
目をあけよ 空ひろし
躍進 ― はてなく限りなく
宇部工業は 伸びてゆく
波瀾をこえて 伸びてゆく

友よ ひろがる輪を輪をつくれ
宇部工業を軸として
ひろがるひろがる輪をつくれ

【宇部市への貢献】

- ・1967年より宇部市花火大会へ台船提供。
 - ・初代社長 河野 栄一（故人）が生前受領した厚生年金全額および会社の節目等での寄付（1,000万円）を基に1986年宇部市奨学金制度が発足。その後市民の方々からの寄付等により現在に至っている。
 - ・宇部市へ彫刻を寄付
- 1988年：未来を語るテーブル（写真：左）
2019年：コンストラクション・キット・アニマル（写真：右）



【宇部工業グループ統一シンボルマーク】



グループの成長・発展・躍動と心の豊かさづくりの、願いをこめた統一シンボルマークです。

宇部工業グループの頭文字「U」をモチーフとし、同時に Universe=宇宙空間への広がり=心の広がり、のイメージを意味します。

国家の礎を築き、社会に貢献し、心豊かな企業づくりの願いを込めたマークです。

【グループ各社 概要】



宇部工業ホールディング株式会社

本 社 宇部市大字妻崎開作 874-1
 営業品目 宇部工業グループ各社の経営支援・
 各種リース・不動産賃貸
 代表取締役社長 河野 光伸
 取締役 河野 剛志
 取締役 藤本 彰



宇部工業株式会社



本 社 宇部市大字妻崎開作 874-1
 TEL 0836-41-8448

支 店 東京
 営業品目 鉄工・土木・海事・建築の総合建設
 代表取締役社長 河野 剛志
 取締役社長代行 河野 雅彦
 常務取締役 河野 宏志
 常務取締役 小畠 茂雄
 常務取締役 重枝 実
 取締役 原 伸一
 取締役 河野 浩二



西日本住宅企業株式会社



本 社 宇部市大字妻崎開作 222-3
 TEL 0836-41-7463
 営業品目 宅地開発注文住宅・建売住宅・庭園・
 造園・緑地・エクステリア
 代表取締役 河野 光伸
 代表取締役 河野 雅彦
 取締役 河野 剛志
 取締役 藤里 忠雄
 取締役 河野 一彦



山陽食品工業株式会社



本 社 山陽小野田市大字津布田字新沖 2632-6
 TEL 0836-76-2226
 営業品目 水産練り製品・各種食品製造販売
 代表取締役 河野 光伸
 代表取締役 藤本 彰
 常務取締役 藤本 太志
 取締役 河野 剛志
 取締役 河野 浩二



本 社 宇部市大字妻崎開作 874-1
TEL 0836-41-8242

営業品目 浚渫工事・海底配管工事・海上重量物
据付

代表取締役会長 河野 光伸
代表取締役社長 河野 剛志
代表取締役常務 岩谷 暢裕
取締役 重枝 実
取締役 原 伸一



本 社 東京都中央区日本橋堀留町 1-5-9
K ビル 7F
TEL 03-5645-7330

営業品目 ウルトラドーム
ウルトラフロートカバー
米国ウルトラフロート社日本総代理店

代表取締役社長 河野 剛志
取締役 小島 茂雄
取締役 河野 宏志
取締役 原 伸一



株式会社 ダイワ



本 社 山口市江崎 2500-1
TEL 083-988-3205

営業品目 陸運・運送・倉庫

代表取締役社長 中島 一雄
代表取締役専務 河野 泰三
常務取締役 山邊 幸晴
取締役 河野 剛志
取締役 荒瀬 卓也
取締役 河野 浩二



本 社 山口県宇部市明神町 3-7-1
TEL 0836-37-0368

営業品目 各種コンベヤの設計・製作・
及び販売の業務

代表取締役社長 中島 一雄
取締役 安部 義雄
取締役 河野 剛志
取締役 小島 茂雄
取締役 河野 泰三

宇部興産 株式会社

所在地：山口県宇部市大字小串 1978-96

電 話：0836-31-2111（宇部渉外部）

URL <http://www.ube.co.jp>



宇部市発の総合化学メーカー

【企業データ】

代表取締役社長：泉原 雅人

資本金：58,400 百万円

従業員：3,329 人

創 業：1897 年 6 月

設 立：1942 年 3 月

【経営理念】

技術の探求と革新の心で、未来につながる価値を創出し、社会の発展に貢献します

【経営方針】

1. 「倫理」高い倫理観を保ち、法令および社会規範を遵守します
2. 「安全・安心」地球環境保全に努め、安全・安心なものづくりを行います
3. 「品質」お客様と社会の信頼に応える品質をお届けします
4. 「人」個性と多様性を尊重し、健康で働きやすい職場をつくります

【ご挨拶】

宇部興産グループは、今から 1 世紀以上前の 1897 年(明治 30 年)、山口県の宇部の地で創業者渡邊祐策翁により設立された匿名組合沖ノ山炭鉱組合がその歴史の始まりです。

企業の発展をそのまま地域の発展に繋げる「共存同栄」、石炭を起点にさまざまな事業創出に挑戦する「有限の鉱業から無限の工業へ」という 2 つの創業の精神の下、機械、セメント、化学へと事業領域を拡大し、時代の変化とともに、それぞれの事業内容を変えながら、地域的展開をグローバルに広げてきました。

2019 年度から、経営理念を「技術の探求と革新の心で、未来につながる価値を創出し、社会の発展に貢献します」と一新しました。さらに経営方針として、「倫理」「安全と安心」「品質」「人」という 4 つの価値を掲げるとともに、新

たな中期経営計画を策定し、さらなる成長を目指してグループ一丸となって取り組んでいます。

宇部興産グループは、株主の皆様を始め、お客様やお取引先、従業員や地域社会の皆様など、すべてのステークホルダーのため、未来に向けて社会や地球環境との調和を図りながら持続可能な成長を続け、長期的な企業価値の増大を図っていききたいと考えています。今後とも皆様の温かいご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 泉原 雅人

【企業のあゆみ】

1897 年	・匿名組合沖ノ山炭鉱組合設立
1914 年	・匿名組合宇部新川鉄工所設立
1923 年	・宇部セメント製造株式会社設立
1933 年	・宇部窒素工業株式会社設立
1942 年	・以上 4 社を合併して宇部興産株式会社設立
1949 年	・東京証券取引所、大阪証券取引所上場（現在、東証及び福証に上場）
1951 年	・中央研究所開設（現 基盤技術研究所、医薬研究所）
1955 年	・伊佐セメント工場開設 ・宇部カプロラクタム工場開設
1964 年	・千葉ポリエチレン工場開設（現 宇部丸善ポリエチレン（株）） ・荏田セメント工場開設 ・ニューヨーク、デュッセルドルフに駐在員事務所開設（現 UBE America inc.、UBE Europe GmbH）
1967 年	・堺工場開設
1968 年	・高分子研究所開設（現 先端技術研究所）
1971 年	・千葉にポリブタジエン工場開設（現 千葉石油化学工場）
1980 年	・沖の山コールセンター完成 ・シンガポール駐在員事務所開設（現 UBE Singapore Pte., Ltd.）
1982 年	・興産大橋竣工 ・14 万 5,000kw 石炭火力自家発電所完成

1993 年	・スペイン・PQM 社に資本参加 (現 UBE Corporation Europe, S.A.U.)
1997 年	・創業 100 周年 ・Thai Caprolactam Public Co., Ltd.及び Ube Nylon (Thailand) Ltd. (現 UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited) 操業開始
1998 年	・三菱マテリアル (株) と「宇部三菱セメント (株)」設立 ・THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED 操業開始
1999 年	・宇部興産機械 (株) 設立
2000 年	・上海に現地法人設立 (現 宇部興産 (上海) 有限公司)
2004 年	・山口大学と研究開発の「包括的連携協定」締結 ・丸善石油化学 (株) と「宇部丸善ポリエチレン (株)」設立
2005 年	・南通宇部コンクリート有限公司設立
2006 年	・合成ゴム製造会社「台橡宇部 (南通) 化学工業有限公司」設立
2007 年	・創業 110 周年 ・総合案内施設「UBE i Plaza」開設
2008 年	・第 1 回宇部興産グループチャリティーコンサート 「日本フィルハーモニー交響楽団・宇部公演」開催
2010 年	・ブラジル現地法人「UBE Latin America Servicios Ltda」設立
2011 年	・日立マクセル (株) と「宇部マクセル (株)」設立 ・韓国現地法人「UBE KOREA Co., Ltd.」設立 ・サムスンモバイルディスプレイ「SUMaterials Co., Ltd.」設立 ・台湾現地法人「台湾宇部股份有限公司」設立
2012 年	・インド現地法人「UBE Industries India Private Ltd.」設立
2013 年	・マレーシアに合成ゴム製造会社「Lotte Ube Synthetic Rubber

	SDN. BHD.」設立 ・昭和シェル石油 (株) と「ユーエスパワー (株)」設立 ・宇部藤曲工場開設
2014 年	・宇部興産中央病院が「医療法人社団宇部興産中央病院」として独立
2015 年	・メキシコ現地法人「UBE México S. de R.L. de C.V.」設立 ・波板、OA フロアなどを扱う「宇部興産建材 (株)」設立
2016 年	・大阪研究開発センター開設 ・宇部伊佐鉦山、石灰石の累積出鉱量 5 億トン達成
2017 年	・創業 120 周年 ・宇部興産機械 (株) と三菱重工プラスチックテクノロジー (株) の射出成形機事業を統合
2019 年	・山口東京理科大学と研究開発の「包括的連携基本合意書」締結
2020 年	・宇部興産機械 (株) が (株) 日立プラントメカニクスからの化学機器事業を承継 ・三菱ケミカル(株)と「MU アイオニックソリューションズ(株)」を設立

【沿革】

当社の歴史は現在から 120 年以上遡り、1897 年の匿名組合組織「沖ノ山炭鉱」の創業からスタートしました。

沖ノ山炭鉱とは、当時は小さな村に過ぎなかった山口県宇部市の海底炭鉱を開発するために、地元の人々が出資して組織したものです。

炭鉱の拡張を起点に地域インフラの拡充に努めると同時に、「いずれは掘り尽くしてしまう有

限の石炭を、工業の無限の価値に展開し、地域に永く繁栄をもたらそう」という理念の下、創業者・渡邊祐策翁を中心に集まった人々は時代の要請に応じて、新たな事業を次々と創出します。

1914年には匿名組合「宇部新川鉄工所」を設立し、採炭を支える炭鉱用機械の製作と修理を手掛けるようになりました。これは現在の機械事業の前身となります。

1923年には宇部セメント製造株式会社を設立し、宇部の石炭と、周辺地域の豊富な石灰石や炭鉱の廃土の活用が始まりました。これは現在の建設資材カンパニーの前身であり、さらには「有限の鉱業から無限の工業へ」の理念の実現に向けた重要な第一歩でもありました。

また、1933年には宇部窒素工業株式会社を設立し、硫酸製造を開始することで、当時輸入に依存していた肥料用硫酸の国内供給に貢献しました。この硫酸から硫酸・副産物の硝酸の製造と、当社の化学事業は広がりを見せていきます。

以上の4社を1942年に合併し、今日の宇部興産が設立されました。

創業から一世紀以上の年月を経て、宇部興産のフロンティアスピリットは千葉、堺、さらにスペイン、タイをはじめ、世界中の拠点へと受け継がれています。企業の発展と地域の繁栄を一体のものとして創業者・渡邊祐策翁が唱えた「共存同栄」の精神を胸に、関係するすべてのステークホルダーの利益のため、たゆまぬ変革や独創的な技術によるモノづくりに、グループ総力を挙げて取り組んでいます。



【現状】

宇部興産グループは『化学』『建設資材』『機械』の3事業を展開しています。国内の工場は、宇部工場のほかに千葉、堺、伊佐（山口）、荏田（福岡）などがあります。海外ではスペイン、タイにカプロラクタムやナイロン樹脂、ファインケミカルなどの生産拠点を設け、グローバルな市場で活動しています。

《化学》

化学事業は、中核事業として宇部興産グループの成長を牽引します。

ナイロン原料カプロラクタム、多彩な工業薬品、食品包装フィルムや自動車部品の原料となるナイロン樹脂や汎用プラスチックのポリエチレン、そしてポリブタジエンゴム等の製品は産業と生活の基盤を幅広く支えています。

また、薄型ディスプレイの回路基板として高いシェアを持つポリイミド、リチウムイオン電池向け電解液・セパレータなどの先端材料や、環境調和型の商品展開が進んでいるファインケミカル製品はハイエンド分野で高い評価を受けています。

医薬分野は製薬会社と共同で新薬上市を目指す「創薬」と新薬受託やジェネリック医薬品も含めた「原薬・中間体製造」の2本柱で構成され、日本・欧州・米国向けの実績を豊富に有しています。

▼ナイロンの用途例



▼上市された医薬品



《建設資材》

長年にわたり信頼を得てきたセメントは、普通セメント、特殊セメントから固化材まで多彩な品種が社会インフラの形成に役立っています。当社で製造されたセメントは、宇部三菱セメント（株）が全国に安定供給しています。

セメントのみならず、宇部興産建材（株）では特色

ある建材を豊富に取り扱っており、内装材・外装材、防水剤、床下地材、左官材、補修材などが工事の現場で幅広く採用されています。

また、海外炭を安定供給する石炭事業の他、自家発電および出力 21 万 6 千 Kw の卸電力事業、西日本でも有数の規模のメガソーラー発電所や、環境負荷を低減した木質バイオマス燃料の活用も行っています。

▼当社セメントが使用された「あべのハルカス」
(大阪府)



《機械》

機械カンパニーの中核を担うのは宇部興産機械(株)です。世界の自動車メーカーに採用されているダイカストマシンと射出成形機は、加速しつつある次世代車への移行に伴い、ますます自動車の軽量化ニーズへの貢献が期待されています。その他にも搬送機器、粉碎機器などの産業機械や橋梁等が高い評価を受けており、宇部興産機械(株)独自の先進技術に裏づけられた高い信頼性が特徴です。

昨今では射出成形機事業の再編や、(株)日立プラントメカニクスから化学機器事業を承継するなど、効率的な生産体制の構築も日々続いています。

国内外のあらゆるお客様の期待に沿えるよう、グローバルな拠点を軸に、開発から製造・アフターサービスに至るライフサイクルを通して「いい製品とサービスを世界に」提供しています。

▼宇部工場と射出成形機の組立



【将来】

宇部興産グループでは、未来につながる新たな価値を創出するための事業活動を、よりグローバルに展開する取り組みを加速させています。

《化学事業》

化学事業では、製品のさらなるスペシャリティ化を進展させています。現在の主力製品である合成ゴムやナイロンも、高付加価値化を進めています。

ファインケミカル製品も海外市場でのグローバル戦略を推し進めており、特に米州でのプレゼンスを向上させることを目指しています。

医薬品も研究領域を拡大し、少量かつ性能の高い原料の製造への対応を進めています。

今後も低炭素社会に対応・貢献しつつ、顧客に価値を創出し続けることで、当社の中核事業としての成長を続けていきます。

《建設資材》

建設資材事業では、セメントおよび関連事業について 2022 年に三菱マテリアル(株)との事業統合を予定しています。

国内セメント事業は需要の減少やエネルギー価格の高止まりなどによるコストアップなど、厳しい環境が続いており、三菱マテリアル(株)との統合によって、建設資材事業も国内のみならず、海外市場でも積極的に拡販を進めていく予定です。

セメントをはじめとした建設資材は、社会インフラにおいて重要な役割を果たしています。

今後も事業の強化と拡大と、グループシナジーの追求を進めていくことにより、安定した社会インフラの維持に貢献していきます。

《機械》

機械事業では、「モビリティ市場」「グローバル展開」「環境機器」の3つをキーワードにした成長戦略を進めています。

各製品の事業規模の拡大や、機器メンテナンスから性能アップにまで対応した機械サービス事業の充実は当然ながら、中長期的に安定した成長が見込まれる自動車向けの射出成形機や、環境貢献・資源リサイクル対応の高付加価値な産業機械の拡充を行い、これらの製品をグローバルに拡販していきます。

《環境対応》

世界的に環境問題への関心が高まり続けている中、宇部興産では「UBE グループ環境ビジョン 2050」を新たに制定し、2050年までに温室効果ガスの排出量80%削減を目指すとともに、当社製品・技術によって、サプライチェーン全体でも温室効果ガスの排出を削減していきます。

その一環として「2030年度までに2013年度比温室効果ガス排出量17%削減」と「2030年度までに環境貢献型製品・技術の売上高比50%以上」を新たな目標とし、実現に向けて積極的に取り組んでいます。また、2020年には「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に賛同を表明しており、今後、積極的な情報開示を進め、持続可能な社会への貢献を目指します。

【CSR活動】

宇部興産では事業活動のみならず、創業の精神「共存同栄」に基づき、CSR活動にも熱心に取り組んでいます。

日々の対話を通じて、地域住民の方々をはじめとしたステークホルダーからの信認を深め、広く社会との共生を図っていくこと、そして事業活動を通じて「共存同栄」の輪をグローバルに広げていくことを目指しています。

以下にご紹介する取り組みのように、多様な社会貢献活動を実践し、地域社会との良好なコミュニケーションを推進しています。

今後も宇部興産グループと地域社会が共に繁栄を続ける未来に向けて、積極的に活動を継続してまいります。

▼チャリティーコンサートの実施



▼宇部まつりへの参加



▼「水を守る森林づくり体験活動」参加



▼小中学生向け科学教室の開催

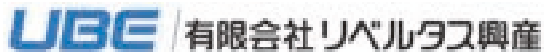


宇部興産特例子会社 有限会社 リベルタス興産

所在地： 山口県宇部市東見初町 525-110

電 話：0836-35-7878

URL: <https://www.ube-ind.co.jp/libertas/index.html>



もっと身近に…！ もっと多彩に…！

【企業データ】

代表取締役社長：濱崎 茂幸

資本金：50 百万円

従業員：44 名 ※内、障がい者手帳保有者 26 名

設 立：1991 年 4 月

主業務：印刷、製本、デジタル化、福祉商品

清掃、障がい者雇用コンサルタント

【概要】

無限の技術で世界と共生する宇部興産グループ。
その中心にある宇部興産株式会社の特例子会社として、障がい者雇用を通じて地域と共生するリベルタス興産。

“リベルタス”とはラテン語で“解放”を意味する言葉。固定観念に縛られない自由な発想で、障がいのある人たちと共に働く企業です。

【理念】

障がいがあるから特別なのではなく、障がいがあるから当たり前、そして障がいは才能を発揮する妨げにはならないとの基本的観点から、企業活動を通じて社会全体へ心豊かな“資産”の提供を目指す。

【企業のあゆみ・沿革】

-
- | | |
|-------------|--------------------|
| 1990 年 7 月 | 宇部興産労務部内に専任チーム設置 |
| 1991 年 4 月 | 有限会社リベルタス興産 設立 |
| 8 月 | 重度障害者多数雇用事業所として認定 |
| 12 月 | 印刷事業 開始 |
| 1992 年 1 月 | 宇部興産(株)特例子会社として認定 |
| 2001 年 2 月 | デジタル業務 開始 |
| 2002 年 2 月 | ハートフルマーク使用認可 取得 |
| 2003 年 9 月 | 清掃事業 開始 |
| 2009 年 3 月 | 障害者雇用優良企業認証 取得 |
| 11 月 | やまぐち障害者雇用推進企業認証 取得 |
| 2010 年 4 月 | 障がい者雇用コンサルタント事業 開始 |
| 2017 年 10 月 | 不動産管理受託事業 開始 |
| 2018 年 4 月 | 機密文書収集運搬・断裁事業 開始 |
-

【ご挨拶】

障がいの有無にかかわらず、従業員の個性と多様性を尊重し、安全に配慮し、健康で働きやすい職場をつくりまします。

地球環境に配慮した事業活動を通じて、お客様の信頼に応える製品・品質・サービスをお届けし、地域社会へ貢献する明るい企業を目指してまいります。

代表取締役社長 濱崎 茂幸

【現状と将来】

「障がい者に働く機会を！」ということで当社は宇部興産株式会社によって 1991 年に設立されました。創業以来「障がいも個性の一つ」と捉えて企業活動を行っています。従業員の障がい種別も「身体」、「知的」、「精神」と多岐にわたりますが、お互いが得意を最大限に発揮して日々の職務に励んでいます。

当社では「障がいがあるからできない」と決めてしまうことはありません。「できないところへの配慮」は必要ですが、「できること」と「個性」を活かすことで、会社でしっかりと働き、活躍することができまします。

今まで当社で培ってきた知識やノウハウを蓄積し、そのスキルを宇部興産のグループ会社の他、障がい者雇用を進める企業、進めようとされている企業へ提供させていただいております。また、障がい者雇用を柱として、CSR（企業の社会的責任）活動を中心に宇部市への地域貢献も積極的に進めております。

山口県内唯一の特例子会社として、今後も企業の立場での「キーステーション」で有り続けられるよう、さらなる発展に努めてまいります。そして、本書をご覧になられている方の中で当社へご興味をお持ちの方がいらっしゃれば、見学等を受け入れていきますので、是非お気軽にお問い合わせいただけますと幸いです。



また、今後、主業務の中で特に力を入れたいと考えているのがデジタル化（紙媒体のデータ化）です。

「重要資料・図面等を紙で長期保管している。データ化したいけれど、機材が無い or 時間が取れない」といった困りごとのご相談、お待ちしております！

宇部興産海運 株式会社

所在地：宇部市港町一丁目 5 番 5 号
電 話：0836-34-1181

URL：https://www.ube-ind.co.jp/usl

宇部興産海運株式会社

【会社概要】

代表取締役社長：藏内 隆文
資本金：645 百万円
従業員：303 名
創 立：1942 年 6 月

【ご挨拶】

当社は、宇部港全体を見渡す事の出来る場所に、本社ビルを構えており、宇部港を中心に海上輸送や港湾荷役を行っています。総合物流会社として、宇部港に関わる様々な業務はもちろん、国内・海外共にお客様のニーズに沿った物流サービスを提供できることが強みです。

保有船舶は、国内有数の内航船腹量を誇ります。輸送効率の向上が求められる中、高い安全管理レベルを維持するため、迅速な情報伝達を可能とする船陸間通信システムを導入し、高度な船舶管理を推進しています。また、各種内航船を多数用船しており、多品種貨物の海上輸送を手がけています。

代表取締役社長 藏内 隆文

【沿革】

1942 年	宇部港の港運会社を集約して、「宇部港湾運送株式会社」を設立
1949 年	社名を「同栄運輸株式会社」に変更
1959 年	宇部興産株式会社 資本参加
1964 年	内航海運事業に進出
1995 年	新大岡汽船株式会社を吸収合併すると共に宇部興産株式会社の船舶部門を統合して、社名を「宇部興産海運株式会社」に変更
1996 年	外航コンテナ事業開始
1998 年	東京営業所開設
2000 年	ISM (安全管理システム) 認証取得 (任意)
2001 年	技術コンサルタント事業開始

2002 年	ISO9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
2008 年	香港駐在事務所 (2010 年支店化) 開設
2016 年	インドネシアに合併会社 PT Indonesia Shipping Lines を設立
2017 年	株式交換により宇部興産株式会社の完全子会社化

【主な事業内容】

内航海運事業、港湾運送事業、国際複合一貫輸送事業、コンテナ事業、エンジニアリング事業、産業廃棄物処理事業、船舶代理店事業、機械器具設置工事業 (建設業)、その他

【組織】



2019 年 4 月には、更なる海外事業の強化を図るべく、情報収集・企画・実行展開を推進する組織として、社長直轄となる『事業推進管理室』を設置しています。

【事業の特徴】

当社は、創業以来、内航海運業・港湾運送業・国際複合一貫事業の総合物流会社として、国内から海外までお客様に信頼される最適な物流サービスの提供に努めてまいりました。

基本理念である「USL-CSR」【宇部興産海運（Ube Shipping & Logistics, Ltd.）の果たすべき社会的責任】を深化・推進に努め、更なる飛躍を目指しています。

「USL-CSR」とは、

①安定した収益の継続向上を図って、健全な財務体質を持ち続けること

②環境汚染の防止や安全が十分に配慮された事業体制が磐石なものであり続け、その下で地球環境の保全やより高度なサービスを提供していくこと

③企業倫理のあり方を常に内省して、コンプライアンスを遵守し地域社会との共生と働く人たちの明るい職場作りを果たしていこうとすること

以上3側面から総合的に捉え、企業価値の向上を図ることです。

近年では、『変革 挑戦 創造 これが、私たち飛躍の心です』をスローガンに、東南アジアへの事業展開を目的としたインドネシア合弁会社『PT Indonesia Shipping Lines』の設立、物流のノウハウを活かした石炭（航路：インドネシア～宇部）やオイルコークス（航路：カナダ～宇部）の外航船チャーターの実現、さらに石炭に変わるエネルギー源として注目が集まるバイオマス燃料（木質ペレット）の港湾運送といった新たな分野にも積極的に取り組んでいます。

また、当社は、自社船6隻、グループ船4隻、定期用船22隻（海運本部所管20隻、船舶本部所管2隻）を運航しています。

2020年1月には、省エネ・労務環境改善船舶（以下、『省エネ船』）である『興山丸（2010年8月就航）』、『清安丸（2016年9月就航）』、『貴興丸（2019年1月就航）』への取り組みが評価され、鉄道建設・運輸施設整備支援機構から、国内海運の発展および共有建造制度促進に貢献したとして表彰を受けています。

異なる船型のセメント省エネ船3隻が揃う、日本唯一の企業だと認識しています。

①興山丸

タンデム・ハイブリッド方式スーパーエコシップ



②清安丸

艀ブリッジ（球状船首）



③貴興丸

センターブリッジ（三島型）



当社は、今後も地域貢献・海洋環境保全の為に、積極的な活動を行うと共に、安全・品質を重視し、『宇部港を基盤とした総合海上物流企業』を目指し、事業基盤の盤石化と社内体制の拡充、海外事業への取り組み強化を継続していきます。

宇部興産機械 株式会社

所在地：山口県宇部市大字小串字沖ノ山 1980 番地
 電話：0836-22-0072
 URL: <https://www.ubemachinery.co.jp/>



～『いいもの』を世界に～
 We Deliver World Class Performance

【企業データ】

代表取締役社長：宮内 浩典

資本金：6,700 百万円

従業員：1,220 名

創 立：1914 年

設 立：1999 年

【経営理念】

私たち宇部興産機械グループは、“製品”、“サービス”、そして“ひと”との融合・調和から生み出される、心をこめた『いいもの』を世界にお届けします。

【ご挨拶】

1914 年、当時宇部村にて炭鉱用機械の製作と補修を行うために創業したのが、当社の始まりです。やがて「有限の鉱業から無限の工業へ」の創業の精神の下、宇部市の主要産業が姿を変えていく中、当社もまた、時代のニーズに合わせて進化し、宇部から世界へ活躍の場を広げてきました。今や当社の製品・サービスは、自動車や電力をはじめ、あらゆる産業の基盤を支え、世界中の人々の暮らしに寄り添っています。

宇部で芽を出し、根を張り、花を咲かせてきた当社は、産業機械を丹精込めて作るという役割を通して、これからも世界へ『いいもの』を提供して参ります。

代表取締役社長 宮内 浩典



1939 年の(株)宇部鉄工所の様子
 (現在の(株)宇部スチール付近)

【企業のあゆみ】

1914 年	匿名組合宇部新川鉄工所が発足
1917 年	(株)宇部鉄工所に改組
1942 年	(株)宇部鉄工所など 4 社が統合し、宇部興産(株)を設立
1982 年	興産大橋完成
1985 年	プリント基板の(株)ティーユーエレクトロニクスを設立
1989 年	製鋼・鋳造品の(株)宇部スチールを設立
1993 年	サービスの宇部テクノエンジニア(株)を設立 (2013 年に吸収合併)
1996 年	米国 (UBE Machinery Inc.) での製造開始
1999 年	宇部興産(株)の機械・金属成形事業部門を分社し、宇部興産機械(株)を設立
2000 年	宇部興産機械(株)が営業開始
2001 年	ソウル支店、台北支店を設立
2002 年	中国 (宇部興産機械 (上海) 有限公司) での製造開始
2005 年	タイに UBE Machinery Thai Co.,Ltd. を設立
2011 年	インドに UBE Machinery India Private Limited を設立
2014 年	メキシコに UBE Machinery Mexico S.A. de C.V. を設立
2014 年	創立 100 周年
2017 年	U-MHI プラテック(株)営業開始。射出成形機の販売会社 U&M プラスチックソリューションズ(株)を設立
2020 年	(株)日立プラントメカニクスから化学機器事業を承継。射出成形事業を統合すると共に、新工場の名古屋事業所を設立



現在の当社宇部本社の全景

【沿革】

1914年に設立された宇部新川鉄工所に始まり、1942年に宇部興産(株)が発足すると、同社の機械部門を担う宇部鉄工所として事業運営し、さまざまな産業用の大型機械を製造・販売してきました。1999年、宇部興産機械(株)として分社、2013年には宇部テクノエンジニア(株)を合併しサービス部門を取り込みました。2020年8月には、射出成形事業を拡充、宇部本社以外で初の生産工場となる名古屋事業所を設立。現在、下記の国内5社と海外5社とともに製品・サービスを世界に提供しています。

国内	(株)宇部スチール (株)福島製作所 (株)ティーユーエレクトロニクス (株)スチールサービス 福島造機工業(株)
海外	UBE Machinery Inc. 宇部興産機械(上海)有限公司 UBE Machinery Thai Co.,Ltd. UBE Machinery India Private Limited UBE Machinery Mexico S.A. de C.V.



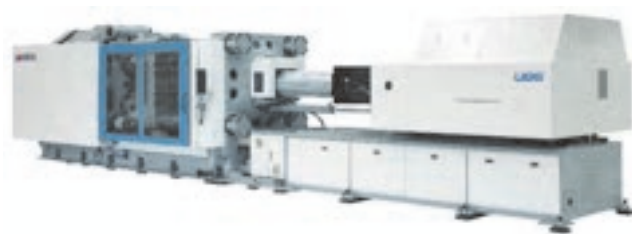
主に自動車用のアルミ成形品を製作する
ダイカストマシン

【現状】

当社は「ダイカスト・押出」「射出成形」「産機」事業という3つのポートフォリオから編成されています。製品には、アルミを材料に自動車用エンジン等を成形する「ダイカストマシン」、窓用アルミサッシ等を作る「押出プレス」、樹脂を材料に自動車や家電材を成形する「射出成形機」、セメント設備に欠かせない「窯業機」「粉碎機」、発電所等で活躍する「運搬機」「除塵機」のほか、化学プラントを構成する「化学機器」、鋼橋など大型溶接構造物を手掛けています。

【将来】

これからも当社は、ESG（環境、社会、企業統治）を軸に、SDGs（持続可能な開発目標）に配慮しつつ、社会に貢献していきます。そのためには、さまざまな環境変化や来る次世代モビリティ社会の到来に向け、蓄積された技術と経験を活かし対応する一方、ここ宇部から世界へよい製品やサービス、さらには情報を発信し、次の100年に向けて宇部市と共に歩んでゆく所存です。



自動車や家電などの
樹脂成形品を製作する射出成形機



大型鋼構造物を代表する
セメント原料を焼成する窯業機（キルン）



宇部工場群のシンボルである興産大橋

宇部興産コンサルタント 株式会社

所在地：山口県宇部市大字東須恵 3897 番地の 2
電 話：0836-44-1170
URL: <https://www.ube-ic.co.jp/>



地域の特性を熟知した建設コンサルタント

【企業データ】

代表取締役社長：森岡 研三

資本金：50 百万円

従業員：69 名

設 立：1984 年 9 月

【理念】

技術の探求と革新の心で、未来につながる価値を創出し、社会の発展に貢献します

【ご挨拶】

当社は宇部興産グループの一翼を担う建設コンサルタント会社です。県民の皆様のニーズや要望に応える社会資本整備を実現するために、行政をはじめとする発注者の技術的パートナーとして、企画、調査から設計、施工監理まで様々な場面で提案を行っています。地域社会に必要とされる企業であり続けるために、新しい技術の探求心と新たな提案を生む創造力を持ち、変化を恐れずに挑戦し続けます。地域密着型の企業として、自分たちの住んでいる地域を自分たちの手で、より魅力ある地域にすることを目指して活動しています。

代表取締役社長 森岡 研三

【企業のあゆみ】

1984 年 9 月	宇部興産株式会社石炭事業部資源調査部より分離独立し、宇部興産コンサルタント株式会社を設立
2008 年 11 月	宇部港東見初広域最終処分場の管理・運営を（一財）山口県環境保全事業団から受託
2010 年 12 月	宇部興産グループ共通インフラ（土木・建築）の維持管理業務を担う施設管理事業部を設置
2017 年 4 月	施設管理事業部の管理範囲を宇部興産専用道路に特化し、メンテナンス事業部に改称

【沿革】宇部興産株式会社石炭事業本部資源調査部が担っていた地質・建設コンサルタント業務を、需要の高度化・専門化とともに、より迅速に対応するため 1984 年 9 月に宇部興産コンサルタント株式会社を設立しました。

建設コンサルタント業、測量業、地質調査業の国土交通大臣登録を行っています。

【業務内容】

《コンサルタント事業本部 設計部》

土木設計・測量を行う部署として、橋梁、道路、上下水道、河川・砂防、農業土木設計が主な営業品目です。最近では老朽化した橋梁、トンネルなどインフラの法定点検の業務が増加し、併せて補修設計の依頼も増加しています。また測量技術と ICT を使った地理情報システム (GIS) は顧客が持つデータを一括管理できるシステムで、特に工場など製造ヤード内にある建物や設備の計算書・図面、点検データを PC 上で全て閲覧、管理が可能となり好評を得ています。

《コンサルタント事業本部 調査部》

地質調査・グラウト工事を行う部署として、主に建築・土木構造物の基礎調査、地すべり調査、地下水調査、空洞充填工事などを行っています。また UAV を使った調査として地形が急なところ、土砂崩れが発生した箇所など、人に代わって状況を記録し、地形変化を観察する利用が増加しています。地下の空洞調査や地中の埋設物調査では地中レーダー探査機を利用します。非開削で早期に結果が判明するので、道路、工場での引き合いが増えています。

《環境事業本部》

「宇部港東見初広域最終処分場」は、（一財）山口県環境保全事業団が設置し、宇部興産コンサルタント(株)が管理運営一式を受託して、2008 年 11 月から供用開始した海面最終処分場（鋼管矢板締切型）です。施設は宇部市一般廃棄物最終処分場と共用しており、毎年 40,000t の廃棄物の受入れを行っています。受入れ開始から約 12 年間無事故無災害で管理業務を続けています。

《メンテナンス事業部》

宇部興産㈱の宇部興産専用道路（延長 32km）の維持管理業務を行っています。この道路は興産大橋（橋長 1,020m）、ボックスカルバート 56 基、橋梁 13 基、切土・盛土のり面で構成され、日ごろの維持管理はもとより、老朽化対策、耐震性能向上など、機能維持、機能強化の取り組みを計画的に進めています。

【将来】

建設コンサルタントの業務内容は、以前のインフラ新規計画・調査業務から、今あるインフラの維持管理業務に関わる点検、補修設計が主体になりつつあります。

また特に、毎年日本各地で発生している地震や豪雨など自然災害による被害は、山口県でも土砂災害、浸水被害としてその被害は報告されています。そのため安全・安心な生活を営むために必要な社会資本整備の要求は年々高まっており、弊社建設コンサルタントはこのような災害復旧の測量、設計や、インフラ計画、保守の分野で長年培った技術と経験で県民の生命、財産を守る活動を続けていきます。



UAV 撮影



宇部港東見初広域最終処分場



興産大橋



トンネル点検



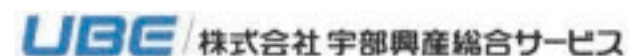
災害復旧測量

株式会社 宇部興産総合サービス

所在地：山口県宇部市相生町 8 番 1 号

電 話：0836-34-5430

URL: <https://www.ube-ind.co.jp/ubesougouservice>



【企業データ】

代表取締役社長：森本 克二

資 本 金：40 百万円

従 業 員：437 名

設 立：1981 年 8 月

【理念】

「感動と共鳴を」

株主、顧客、取引先、従業員、地域社会等のさまざまなステークホルダーに“感動や共鳴を与える”事業経営、事業展開をバランスよく行います。

【ご挨拶】

宇部興産総合サービスは、人的サービス業務に基軸をおいた会社です。安心で品質の高いサービスの提供を通じて、お客様・従業員・地域社会等と共に成長する企業をめざしています。宇部市制施行100周年、宇部市の更なる発展に貢献できるよう努めてまいります。皆様のより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 森本 克二

【企業のあゆみ】

1981年	設立 資本金2千万円 UBEグループの福利厚生施設管理と環境整備事業開始
1983年	資本金4千万円に増資 ホテル・ビルメンテナンス事業開始
1987年	警備・保安事業開始
1989年	宇部興産中央病院給食事業開始
1991年	宇部興産中央病院保育所運営事業開始
1999年	フジグラン宇部店ビルメンテナンス業務受託
2003年	労働者派遣事業開始
2005年	有料職業紹介事業開始
2009年	ホテルニュータナカ（山口市）設備管理業務開始
2011年	宇部市指定管理者、宇部市男女共同参画センター・フォーユー管理業務受託

2012年	UMG ABS(株)より警備、緑化清掃、派遣等業務受託
2017年	宇部興産中央病院、企業内学童保育開始
2018年	宇部興産(株)より給与計算、福利厚生等の業務受託
2019年	宇部興産(株)より渉外、庶務等の業務受託

【沿革】

1981年、宇部興産(株)の全額出資で設立した当社は、設立当初からの経験や技能、知識を生かし、警備・保安、ビルメンテナンス、労働者派遣事業へと業容を拡大しています。2018年から宇部興産(株)の給与計算および福利厚生等に関する業務を受託し、マンパワーやコスト削減に直結するBPO事業の展開を開始しています。

【現状】

人材サービス部門

労働者派遣事業を行っています。

請負サービス部門

UBEグループ等の福利厚生施設運営、(医)宇部興産中央病院の給食調理等を行っています。

施設サービス部門

ビル設備管理、保安防災管理、日常清掃、定期清掃、施設警備などトータルな環境サービスを実施しています。

コンシューマーサービス部門

物品販売事業および地方公共団体より受託した公共施設の管理・運営を行う指定管理事業を行っています。

【将来】

サービスのプロとして更なる技術の研鑽に努め、今後さらに多様化が進む個々のニーズに確実に応える、真の総合サービスの提供を目指します。



宇部サンド工業 株式会社

所在地： 山口県美祿市大嶺町奥分 332 番地の 9
 電 話： (0837) 52-1321
 URL： <https://www.ube-ind.co.jp/ubesand/>



【企業データ】

代表取締役社長：原田 晋作
 資本金： 50 百万円
 従業員： 31 名
 設 立： 1985(昭和 60)年 2 月

【経営理念】

社員の『心身の健康』と『幸せな人生』を追求し、
 お客様をはじめ社業とつながる万象に感謝して、
 皆様との『共存共栄』を図ります。

【ご挨拶】

当社は高品質珪砂の製造販売会社です。
 社員が明るく元気いっぱいのワクワクする会社です。
 全社員が心をつなげてお客様に喜ばれるより良い
 製品づくりに取り組んでいます。

代表取締役社長 原田 晋作

【企業のあゆみ】

1944 年(昭和 19)	宇部興産(株)山陽無煙鉬業所発足
1970 年(昭和 45)	山陽無煙鉬業所閉山。 宇部電気化学(株)設立
1985 年(昭和 60)	宇部電気化学(株)解散。宇部興産(株) 全額出資で宇部サンド工業(株) 設立
1988 年(昭和 63)	商事部門開設。仕入販売開始
1993 年(平成 5)	ガーネットの仕入れ販売開始
2014 年(平成 26)	ISO9001 QMS 認証取得
2020 年(令和 2)	無災害 13000 日達成



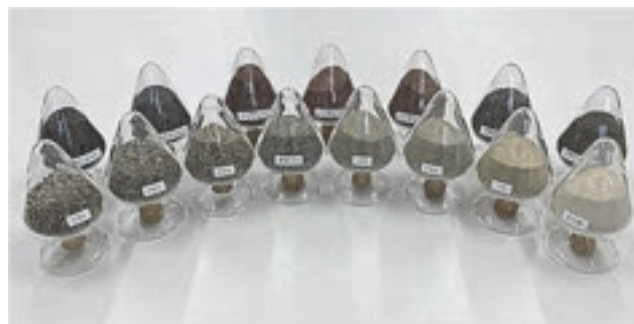
2020 年 4 月 美祿ヘルスパーク(温水プール、野球場)
 のネーミングライツ・パートナーになりました。

【事業内容】

- ・サンドブラスト用・ボイラー用・建築用資材の製造及び販売
- ・サンドブラスト関連機器等の仕入販売

【主な製品紹介】

宇部珪砂・珪石粉・ガーネット・ネオブラスト



【将来】

市場の変化に対応した New ビジネスへ
 “Always Challenging”



宇部マテリアルズ 株式会社

本店所在地：山口県宇部市大字小串 1985 番地

本社所在地：山口県宇部市相生町 8 番 1 号

宇部興産ビル 5 階

電話： 0836-31-0156

URL： <https://www.ubematerials.co.jp>

地球の恵みで未来を創る



【企業データ】

代表取締役社長：西田 宏

資本金： 4,047 百万円

従業員： 721 人

設立： 1949 年 9 月

【企業理念】

わたしたちは、創意と個性を活かして企業力を高め
顧客と社会の信頼に応え、企業の使命を全うします。

【ご挨拶】

当社はマグネシアクリンカーでは国内唯一、石灰メーカーとしては国内トップシェアの企業です。さらにマグネシア、カルシアを原料として当社独自の技術（高純度・高均質・超微粒子）で生み出したファインマテリアル製品は、自動車の軽量化フィラー用途や超小型エレクトロニクス製品などに使用され、我が国の最先端技術を支えています。また、ユニークな事業として「安心・安全・人と環境にやさしい商品のご提案」をコンセプトに、歯みがき、除湿・脱臭剤、化粧品など生活に密着した商品も展開しております。当社はこれらの事業を通じて人々の幸せや社会の発展のお役に立ちたいと思っています。そのために、Creation（独創的な技術）、Cooperation（社会との共生）、Challenge（挑戦する精神）という 3 つの C を行動指針として掲げ、地球の恵みで未来を創ってまいります。皆様には今後とも一層のご指導とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 西田 宏

【沿革】

《マグネシウム部門》

1933 年 10 月 日満マグネシウム(株)設立

1935 年 6 月 宇部工場（第 1 工場）完成

1938 年 4 月 理研金属(株)に社名変更

1949 年 9 月 理研金属(株)の第 2 会社として
宇部化学工業(株)設立

1971 年 9 月 宇部工場（第 2 工場）完成
《カルシウム部門》

1941 年 12 月 (株)日本石灰工業所設立

1974 年 11 月 千葉工場完成

1987 年 10 月 日本石灰工業(株)に社名変更

1990 年 11 月 (株)カルシードに社名変更
《合併》

1997 年 4 月 宇部化学工業(株)と(株)カルシードが
合併し、宇部マテリアルズ(株)として
スタート

2007 年 5 月 (株)東北鉄興社をグループ会社化

2009 年 3 月 美祢貨物自動車(株)をグループ会社化

2013 年 8 月 株式交換により宇部興産(株)の完全
子会社となる。

2016 年 4 月 宇部興産(株)より石灰石事業譲受け

2016 年 9 月 Ube Materials(Thailand)Co.,Ltd
設立

【株主】

宇部興産株式会社 100%

【主要な事業内容】

マグネシアクリンカー、水酸化マグネシウム、酸化マグネシウム、生石灰、消石灰、タンカル、超高純度炭酸カルシウム、気相法高純度超微粉マグネシア、その他マグネシウム系、カルシウム系関連製品の製造、加工及び売買

【生産能力（月産）・主要設備】

宇部工場

マグネシアクリンカー 13,100 t

酸化マグネシウム 800 t

水酸化マグネシウム乾燥品 1,600 t

モスハイジ（塩基性硫酸マグネシウム） 250 t

気相法高純度超微粉マグネシア 13 t

・ハイドロトリーター 7 基

・シックナー 34 基

・ロータリードライヤー 2 基

・ロータリーキルン 7 基

美祢工場

生石灰 96,000 t

消石灰 9,720 t

タンカル（宇部興産㈱製造委託分を含む） 6,500 t
リン酸カルシウム（乾燥粉） 50 t
・ 宇部ベッケンバツハ式堅型焼成炉 8 基
・ 粉碎機 1 基
・ 消石灰設備 1 式

千葉工場

生石灰 40,000 t
消石灰 5,000 t
高反応消石灰 1,500 t
タンカル 24,000 t
超高純度炭酸カルシウム（CS） 90 t
・ 宇部ベッケンバツハ式堅型焼成炉 4 基
・ 粉碎機 2 基
・ 消石灰設備 1 式

【主要な工場及び営業所】

宇部事業所 山口県宇部市大字小串 1985 番地
美祢事業所 山口県美祢市伊佐町伊佐 4641 番地 1
千葉事業所 千葉県市原市五井南海岸 8 番地 2
北海道営業所 北海道札幌市東区東苗穂 1 条 1 丁目
2 番 37 号
八戸営業所 青森県八戸市上徒士町 4 番 1 号
東北販売部 宮城県仙台市青葉区本町 2 丁目 2 番 3 号
東京本部 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 9 番 12 号
名古屋営業所 愛知県名古屋市名東区藤が丘 156 番地
大阪営業所 大阪府大阪市北区堂島 1 丁目 6 番 20 号
岡山・四国営業所 岡山県備前市東片上 268 番地 1

【グループ会社】

㈱東北鉄興社

本社所在地： 岩手県一関市東山町松川字滝ノ沢 198 番地

主要な事業内容： 石灰製造業

資本金： 96 百万円

当社出資比率： 100%

美祢貨物自動車㈱

本社所在地： 山口県美祢市伊佐町伊佐 3575 番地 3

主要な事業内容： 貨物自動車運送業

資本金： 24 百万円

当社出資比率： 100%

Ube Materials(Thailand)Co.,Ltd.

本社所在地： Floor 18 Sathorn Square Office Tower,
98 North Sathorn Rd. Silom,
Bangrak, Bangkok 10500 Thailand

主要な事業内容： 化学製品その他製品の製造・販売
資本金： 340 百万 Bath
当社出資比率： 100%



宇部工場



美祢工場



薬用歯みがき『加齢歯科』

宇部MC過酸化水素 株式会社

所在地：山口県宇部市大字藤曲 2575 番 78

電 話：0836-35-3000

URL：https://www.ube-ind.co.jp/umhp



「化学事業の先端を支え、可能性を拓く」

【企業データ】

代表取締役社長：村上 隆

資本金：100 百万円

従業員：41 名

設 立：1989 年 11 月

【理念】

「安全運転と安定供給」

【ご挨拶】

当社宇部工場は宇部湾岸道路藤曲インターチェンジのすぐ南側に位置している西日本でただひとつの過酸化水素製造工場です。私達は化学事業の先端を支えている過酸化水素を安全に安定的に生産することを通して、社会に貢献していきます。

代表取締役社長 村上 隆

【企業のあゆみ】

1989 年 11 月	宇部興産（50%）とフィンランドの国営企業ケミラ社（50%）との共同出資により宇部ケミラ社設立
2008 年 1 月	宇部興産（51%）と三菱商事（49%）の共同出資となり、宇部 MC 過酸化水素株式会社と社名変更

【沿革】

当社は、2008 年に三菱商事㈱の資本参加を仰ぎ、宇部MC 過酸化水素㈱として発足しました。

もともとの生い立ちは、宇部興産㈱とフィンランドのケミラ社の合併会社として設立され、1992 年より過酸化水素の製造・販売を開始したことに始まります。

【現状】

過酸化水素は分解すると、水と酸素のみが生成する環境に優しい化学物質です。当社では宇部興産㈱宇部藤曲工場のアンモニアプラントで生産される潤沢な水素を原料として、過酸化水素を生産しています。過酸化水素の用途として皆さんがよくご存知なのは医療用消毒剤です。身近にあるオキシドールは低濃度の過酸化水素で、生体内の酵素と反応して酸素が発生することで傷を消毒し、異物を洗い流します。工業用途としては漂白剤や酸化剤として使用されており、日本の製造業に不可欠な製品です。特に製紙工業では、塩素系漂白剤の代替品として、古紙やパルプの漂白に多量に使用されています。

また、リネンの漂白、殺菌用洗剤、土壌改良剤、水処理剤、電子部品の洗浄剤として活用されています。

【将来】

私たちは、現代社会で広く活用され環境に優しい過酸化水素を安全・安定・安心生産し、お客様のところへ迅速にお届けします。

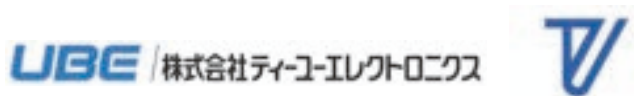


株式会社 ティーユーエレクトロニクス

所在地：山口県宇部市大字善和字牛明 203-143

電 話：(0836) 62-1151

URL: <https://www.ube-ind.co.jp/tuelec>



豊かな創意、あふれる熱意とともに私たちは、可能性に挑戦します

【企業データ】

代表取締役社長：富田 進一

資本金：303 百万円

従業員：100 名

設 立：1985 年 8 月



本社工場 外観

【ご挨拶】

私たちは宇部興産グループの一員として、創業以来電子機器の設計・製造を手掛け、営業規模も順次拡大してきました。これも皆様がたのご支援のおかげと深く感謝しております。

これからもお客様に満足していただける製品とサービスを提供してまいります。

ぜひ当社の技術をお役立てくださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 富田 進一

【企業のあゆみ】

1985 年 8 月	(株)高見沢サイバネティックスと宇部興産(株)の共同出資により設立
1999 年 9 月	宇部興産(株)の全額出資会社となる
2000 年 3 月	宇部興産(株)より分社した宇部興産機械(株)の全額出資会社となる
2001 年 10 月	ISO14001 認証取得
2004 年 2 月	ISO9001 認証取得

2006 年 3 月	OHSAS18001 認証取得
2006 年 6 月	資本金 303,000,000 円に増資
2008 年 7 月	沖の山 CP 工場新設
2015 年 8 月	設立 30 周年を迎える

【沿革】

1985 年設立以来、UBE グループの一員として操業。産業用・医療用プリント基板の実装において業界に先駆けて鉛フリー技術を確立し、量産化するなど数々の技術を確立。工場・設備も増設し、2015 年に創立 30 周年を迎えました。



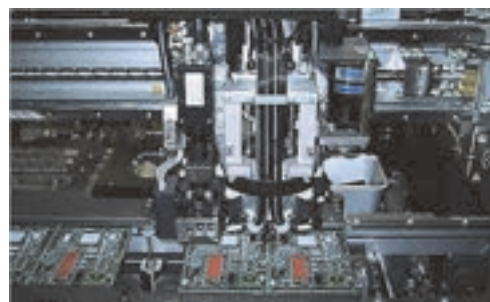
設立 30 周年記念

【現状】

- ・プリント回路基板の設計、製造から検査、組立まで
- ・各種制御盤、ユニットの設計、製作

【将来】

無限の可能性のある電子部品業界において、自社の更なる発展とともに、地元宇部の益々の発展に貢献できるよう努めてまいります。



プリント基板実装事業



制御盤事業

株式会社 ユービーイーホテルズ ANA クラウンプラザホテル宇部

所在地：山口県宇部市相生町 8-1

電 話：0836-32-1112

URL：https://www.anacrowneplaza-ube.jp/

【企業データ】

代表取締役社長：林 三義

資本金：80 百万円

従業員：130 人

設 立：1983 年 11 月

【理 念】

共存同栄

【ご挨拶】

山口県の玄関口、宇部。美しい自然と歴史ロマンに浸るひとときを緑と花と彫刻の街宇部市の象徴として、ひときわ目を引くシルエットを描く ANA クラウンプラザホテル宇部。JR 宇部新川駅より徒歩 5 分に位置し、ビジネス、レジャーの拠点として、すべてのお客様にご満足いただけるように心をこめたおもてなしで、皆様をお迎えいたします。

代表取締役社長 林 三義

【企業のあゆみ】

1982 年 4 月	株式会社宇部全日空ホテルを設立
1983 年 11 月	宇部興産ビル開業に伴い宇部全日空ホテルとして営業開始
1999 年 8 月	運営会社の商号を株式会社ユービーイーホテルズに改称
2006 年 11 月	国民文化祭開会式出席の皇太子様ご宿泊
2011 年 12 月	ANA クラウンプラザホテル宇部にリブランド
2012 年 5 月	全国植樹祭出席の天皇皇后両陛下ご宿泊

【沿 革】

1982 年（昭和 57 年）4 月 - 宇部興産と全日空エンタープライズ（現・IHG・ANA・ホテルズグループジャパン）の出資により株式会社宇部全日空ホテルを設立。村野藤吾（1967 年文化勲章受章）の意匠設計による宇部興産ビルに入居。1983 年（昭和 58 年）11 月 1 日 - 宇部興産ビル開業に伴い宇部全日空ホテルとして営業開始。1999 年（平成 11 年）8 月 13 日 - 運営会社の商号を株式会社ユービーイーホテルズに改称。2006 年（平成 18 年）11 月には国民文化祭

開会式出席のため皇太子が、更に 2012 年（平成 24 年）5 月には、全国植樹祭出席のため天皇皇后両陛下の山口県ご行啓の際にお泊所として利用されました。2011 年（平成 23 年）12 月 1 日 - ANA クラウンプラザホテル宇部にリブランド。

【特色・施設概要】

《特 色》

ANA クラウンプラザホテル宇部は、世界最大級のホテルグループである IHG（インターコンチネンタル ホテルズ グループ）の傘下において、アッパーアップスケールホテルブランド「クラウンプラザ」をホテル名とし、世界 410 ホテル、国内 19 ホテルの一員として、Great Hotels Guest Love（お客様に愛される素晴らしいホテル）を目指して運営しています。

周辺地域では数少ない本格的なシティホテルで、山口県における迎賓館的役割を担っており、各種パーティーや講演会、学術会議の会場として利用されることも多く、最上階のバンケットホールからは周防灘に面して展開する化学コンビナートや宇部市街を一望に収めることができます。

《施設概要》

ANA クラウンプラザホテルが入居している宇部興産ビルは昭和 57 年（1982 年）3 月に建築許可を受けている新耐震（基準）の建物です。

客室数は 140 室で、シングル 42 室、ツイン 73 室、ダブル 15 室、トリプル 2 室、和室 2 室、スイート 6 室、定員 242 名。

宴会場 8 室で、国際会議場-1,200m²（最大 1,200 名収容）、中小宴会場-万葉（230m²）、-弥生（160m²）、-飛鳥（120m²）、-松・竹・梅（各 50m²）を備えています。

スカイバンケット-コンフォート（220m²）、ウェディング施設-チャペル等、駐車場-123 台分、更に各種のレストランがあります。

【業務内容】

《宿 泊》

ご宿泊の方をおもてなしすることが第一の任務です。客室 140 で、最大 242 名の宿泊が可能。1983 年 11 月に営業開始して以来、現在まで約 37 年間にわたって延べ 160 万人以上の宿泊者を迎えました。市内企業のビジネス用の宿泊は営業開始当初より絶えることがなく、「緑と花と彫刻の街」を標榜する市内観光の拠点とも言うべき常盤公園や、渡辺翁記念

文化会館のコンサートなどの公演、あるいは近隣のゴルフ観光に関連した接客や宿泊が、宇部市玄関としての当ホテルの役割となっています。

《レストラン》

ホテル内では各種レストランを有しています。

日本料理「雲海」・・・地下1階

全国各地から産地直送で、新鮮にして極上の旬の幸を贅沢に使った伝統の会席料理が味わえます。

レストラン「サルビア」・・・1階

人気メニューを取り揃えたブッフェ。食のステージを開放感ある空間で楽しめます。

鉄板焼「相生」・・・15階

霜降りが鮮やかな厳選された特選黒毛和牛を目の前で焼き上げるカウンタースタイルのレストランです。

バーラウンジ「ワンファイブ」・・・15階

美しい夜景を眺めながら、大人の時間が優しく流れるホテル最上階のバーラウンジです。

《ウェディング》

ウェディングの憧れの場所として、華やかな挙式を提供しています。ホテルならではの総合力で両家顔合わせや結納からはじまり、挙式・披露宴の打ち合わせ、披露宴当日の両親やゲストのサポートは勿論、遠方からのゲストにもゆったりとしたおくつろぎを提供します。挙式後も、記念日にはレストランでの食事や宿泊、お子様が生まれてからは、宮参りや七五三での食事や記念撮影、ママ友とのランチや家族での夕食など楽しい時間とたくさんの思い出をともに創っていける存在（ホテル）として、ふたりの人生をずっとトータルサポートさせていただきます。

《国際会議場》

シンポジウムや会議はもちろん、講演会、パーティー、イベントなどにふさわしい重厚なホール。1,200名収容可能、ゆとりをもって対応出来る大空間。

《宴会&会議》

大小様々な規模のウェディング、宴会、コンサート、あるいは会議などで会場が頻繁に使われています。お客様のイベントを確実に成功に導くためにイベントチームが責任を持ってサポートさせていただきます。

【将 来】

今年で、開業37年目を迎えました。伝統的な風格を保ちつつも、時代の流れに沿った施設内部の計画的な改装を進めています。昨年8月には、国際会議場の内装を一新(写真参照)

するなど、この先40年目、50年目を迎えるに当たり、県内唯一のシティホテルとして最高級の快適性とサービスを提供し続けてまいります。



ホテル外観



国際会議場



1階 レストラン サルビア



地下1階 日本料理 雲海

株式会社 UBE アセット&インシュアランス

所在地：山口県宇部市相生町 8-1 宇部興産ビル
電 話：0836-22-0077
URL：https://www.ube-ind.co.jp/ail/



安心を提案する

「不動産」「保険」「建物管理」のスペシャリスト

【企業データ】

代表取締役社長：松村 泰孝

資本金：19 百万円

従業員：41 名

設 立：2004 年 3 月

【経営方針】

1. 誇りと自信：UBE グループの一員として、全員の力で誇りと自信を持てる会社にしていく
2. 原点回帰：我々の強みとする分野において基盤をしっかりと固める
3. 持続：次世代へ繋ぐことのできる会社を目指す
 - ・人材育成
 - ・時代変革のスピードに合わせた新しい分野への挑戦

【ご挨拶】

当社は、お客様やお取引先、株主の方々や地域社会など関係するすべての方々との「共存同栄」を掲げて幅広く事業を展開してきた UBE（宇部興産）グループの一員で不動産と保険の専門集団として 2004 年に創業しました。

会社としては比較的新しい会社ですが、不動産と保険については UBE グループ内で 40 年以上の経験と実績を保有しており、それらを継承して事業に励んでいます。

現在は、保険、不動産、建物・施設管理を 3 本柱として活動しています。すべての分野において、お客様に満足していただけるようなサービス提供を目指しています。

当社は、UBE グループのビジョンと経営方針のもと「規律と誠実とコミュニケーション」を行動の指針として、末永くお客様よりパートナーとして選んで

いただけるよう努めてまいりますので、今後とも UBE アセット&インシュアランスをよろしくお願い致します。

代表取締役社長 松村 泰孝

【企業のあゆみ】

2004 年 3 月	宇部興産(株)の不動産・保険企画部門と(株)宇部興産総合サービスの保険代理店部門を統合して株式会社 UBE アセット&インシュアランスを設立
2004 年 4 月	営業開始
2005 年 10 月	建物のメンテナンスを担う施設部新設
2011 年 8 月	大阪営業所を大阪北区堂島アバンザへ移転
2017 年 9 月	宇部本社を宇部興産ビルへ移転
2017 年 9 月	大阪営業所閉鎖

【現状】

損害保険・生命保険（代理店事業）

不動産（土地・建物の仲介、管理事業）

建物管理



株式会社 UBE 科学分析センター

所在地：山口県宇部市大字小串 1978-5
 電 話：0836-31-6568
 URL：https://www.ube-ind.co.jp/usal



「誠実に・正確に・迅速に」

【企業データ】

代表取締役社長：平野 徹治
 資本金：40 百万円
 従業員：140 名
 説 立：1987 年 4 月

【理念】

分析技術を駆使してお客様の研究開発と課題解決に寄与し、もって、人類社会の発展に貢献します。

【ご挨拶】

地球規模で急速に進む技術革新、環境問題等の中で、解決すべき技術課題は複雑化・高度化してきています。その中で、人材と設備・機器の充実、分析技術・解析力のアップを図り、トップレベルの分析を維持することで、お客様の課題解決に最適な分析の提案ができるように弛まぬ努力をしています。また、より一層の品質向上とスピードアップを図っていきます。

今後も USAL は、お客様の声を真摯に受け止め、誠実にお答えすることで、お客様のパートナーとしてお役に立てるように努めて参ります。

代表取締役社長 平野 徹治

【企業のあゆみ】

1987 年 4 月	株式会社ユービーイー科学分析センターとして設立。本社は東京都港区芝浦。宇部、千葉、枚方、東京、大阪に拠点。資本金 10 百万円
1992 年 6 月	増資 資本金 40 百万円
1998 年 4 月	電子顕微鏡実験棟新設
1999 年 12 月	ISO14001 取得
2001 年 10 月	ISO9001 取得
2011 年 4 月	社名を現在の「株式会社 UBE 科学分析センター」に変更

2011 年 10 月	名古屋営業所開設
2015 年 8 月	医薬試験棟新設
2018 年 11 月	本社所在地を東京都港区芝浦から東京都港区新橋に変更

【沿革】

1987 年 4 月宇部興産(株)の全額出資により、同社研究開発本部の分析部門を分社・独立させ「株式会社ユービーイー科学分析センター」として設立。

宇部興産(株)常盤分室内に、電子顕微鏡棟、医薬試験棟を新設するなど事業を拡大。

2011 年 4 月に社名を現在の「株式会社 UBE 科学分析センター」に変更。

2018 年に本社を東京都港区新橋に変更。

現在の資本金は 40 百万円。主要拠点は、宇部市。

【現状】

【主要営業品目】

- ①有機、無機、高分子化合物の組成分析と構造解析
- ②表面・局所分析
- ③超微量分析
- ④高分子の物性評価
- ⑤分析法ならびに分析機器の開発
- ⑥分析関連研究の受託
- ⑦分析に関するコンサルティング

【将来】

トップレベルの分析および関連技術を通してお客様のさまざまなニーズにお応えすることで、お客様と社会のお手伝いをし続けられる会社として、地域とともに発展していきたいと願っております。

USAL 分析と評価



宇部合成工業 株式会社

所在地：宇部市大字沖宇部 5255
電 話：0836-31-1701

健康向上に役立つ企業



【企業データ】
代表取締役社長：國吉 光志
資本金：1095 万円
従業員：11 名
創 業：1947 年（昭和 22 年）10 月 2 日
設 立：1960 年（昭和 35 年）1 月 1 日

【理念】
伝統的な食文化の継承発展により、私たちの健康の向上に貢献する。又、環境にやさしい企業造りに役立つことによって、地球と子供達の未来を守る。

【企業のあゆみ】	
1947 年 10 月	宇部化成工業所創業（10 月 2 日） 石鹼の製造・販売を目的として創業。代表取締役社長 國吉信義。
1952 年 10 月	にがりこ製造開始 
1960 年 1 月	宇部合成工業株式会社設立（1960 年 1 月 1 日） 取締役会長 國吉信義 代表取締役社長 國吉忠彦就任
1963 年 6 月	清涼飲料水製造販売開始  
1968 年	石鹼の製造中止。途中、綿花や蚊帳を婦人会を通じて販売

1972 年 9 月	(株)エイワを創業（9 月 29 日）。 (株)エイワは大家で、昭和町にパークレーン宇部という 40 レーンのボウリング場を持ち、3 階は結婚式場、2 階はボウリング場、1 階は麻雀クラブとレストランを持ち、宇部合成工業株式会社が家賃を(株)エイワに払って経営をしていた。
1992 年 10 月	代表取締役社長 國吉光志就任
1994 年 6 月	清涼飲料水製造販売を中止
1997 年 10 月	【創業 50 周年】
2000 年 7 月	塩化マグネシウムの販売開始
2001 年 9 月	汚泥活性用栄養塩の製造販売開始
2002 年 5 月	各種工業薬品の OEM 受託製造開始 過酸化水素の製造販売開始
2003 年 10 月	次亜塩素酸ナトリウムの製造販売開始
2009 年 4 月	ボウリングの経営から撤退 ブームセブン(株)に経営譲渡
2010 年 1 月	【設立 50 周年】
7 月	クエン酸溶液の製造販売開始
2013 年 5 月	ポリ塩化アルミニウムの製造販売開始
2018 年 4 月	麻雀の経営から撤退
2019 年 4 月	ビリヤードの経営から撤退

【沿革】
1947 年（昭和 22 年）10 月 2 日、石鹼の製造・販売を目的として、初代代表取締役社長・國吉信義（注）が宇部化成工業所を創業。1960 年（昭和 35 年）1 月 1 日、宇部合成工業株式会社を設立。取締役会長に國吉信義、代表取締役社長に國吉忠彦が就任。にがりこ製造、清涼飲料水製造販売、綿花や蚊帳を販売してからは、石鹼製造を中止した。1972 年にボウリング場経営に進出。
1992 年に國吉光志が代表取締役社長に就任して現在に至る。以降、業務の中心を各種化成品にシフトしている。塩化マグネシウム、汚泥活性用栄養塩、過酸化水素、次亜塩素酸ナトリウム、クエン酸溶液、ポリ塩化アルミニウムの製造や販売に注力している。
（注）國吉信義は 4 代目、5 代目の宇部市長。



宇部合成工業(株)の正門

【事業内容】

《食品添加物製造業の認可登録を受け製造販売》

主に豆腐用凝固剤（にがりこ）を製造販売している。出荷先は日本全国、北は北海道南は沖縄、また海外はアメリカ・ブラジル・東南アジアに及ぶ。

《工業薬品の製造販売》

毒劇物製造業の登録 登録番号 第27号

毒劇物一般販売業の登録 登録番号 第30310号

《工業薬品の受託製造》



過酸化水素の出荷



海外からの輸入コンテナ



JR 貨物コンテナによる にがりこ出荷



パークレーン宇部



過酸化水素水



パークレーン宇部 2F ボウリング

株式会社 宇部日報社

所在地：宇部市寿町 2-3-17

電 話：0836-31-4343

地域を支えるメディア



【企業データ】

代表取締役社長：脇 和也

資本金：6560 万円

従業員：74 人

創 立：1912 年 7 月 15 日



【理念】

～公平・正確・チャレンジ～

常に地域の健全な発展を第一義に行動しよう。

【ご挨拶】

2004 年 3 月、宇部、山陽小野田地域の郷土紙として長らく親しまれてきた宇部時報社（1912 年創刊）とウベニチ新聞社が合併し誕生しました。宇部時報創刊から数えると、100 年を超える歴史を持つ、日本新聞協会の加盟紙です。夕刊紙の「宇部日報」と、ポスティングによる全戸配布のフリーペーパーなどを発行しており、行政や地域経済、文化活動、スポーツ、生活情報など、宇部市、山陽小野田市、山口市をエリアに身近な話題を読者の皆さんに届けています。2019 年 3 月からは、デジタル時代に対応した情報発信として、宇部日報電子版「SARATTO」を創刊。次の 100 年へ新たな挑戦を始めました。

【企業のあゆみ】

1912 年 7 月	宇部時報創刊
1926 年 7 月	日刊紙へ
1949 年 10 月	ウベニチ創刊

1980 年 10 月	ウベニチ「フリーペーパー」事業着手
2004 年 2 月	宇部時報・ウベニチ合併「宇部日報」創刊
2011 年 10 月	山口支社を山口市米屋町に開設
2012 年 7 月	創刊 100 周年記念式典
2016 年 7 月	新紙面「情報やまぐち」開設
2018 年 2 月	紙齢 28000 号
2019 年 3 月	宇部日報電子版「SARATTO」発行

【沿革】

1912 年、紀藤閑之介（後の第 3 代、5 代宇部市長。右の写真）が自宅を発行所にして宇部時報を創刊。1926 年 7 月 1 日に日刊紙に。1941 年、新聞統制で関門日日新聞宇部支局となる。1946 年 1 月 15 日、宇部時報復刊。1949 年 10 月、ウベニチ創刊。以来、産炭地として繁栄する宇部市を中心に両社は報道を競い合いながら事業を展開。1980 年、ウベニチはフリーペーパー事業に着手。合併のため 2004 年 2 月 29 日、宇部時報は 2 万 3896 号、ウベニチは 1 万 7059 号で終刊、同年 3 月 1 日から新たに宇部日報の題号でスタートを切った。2012 年 7 月 15 日には前身の宇部時報から創刊 100 周年を迎えた。2019 年 3 月、宇部日報電子版「SARATTO」を発行。



【業務内容】

- 日刊新聞の発行
- フリーペーパーの発行
- WEB サイト「ほいねっと」運営
- 広告事業
- デジタルメディア事業

【将来】

「愛郷至誠」を社是に掲げ、古里の発展に尽くすべく、地域に密着した新聞づくり、フリーペーパーの発行に日々取り組んでいます。読者より「ありがとう」と感謝の声を耳にすることが、私たちにとって最大の喜びです。取材記者、企画営業など職種は幅広く、社員はベクトルを一つにして 100 年の歴史を持つ媒体と、新たにスタートした電子媒体を使って情報発信力をなお一層高め、古里に欠かせない会社として、地域に貢献していく所存です。

【営業拠点】

本 社

宇部市寿町 2-3-17 (前ページ画像)
総務局、編集局、広告局、販売局を含む

印刷センター

宇部市寿町 3 丁目 6-1
TEL 0836-39-9212 /FAX 0836-39-9213



小野田支社

山陽小野田市中心 2 丁目 1-1 神和ガーデン 1 号
TEL 0836-84-2522 /FAX 0836-84-6411



山口支社

山口市米屋町 2-1 ウズビル 3 F
TEL 083-929-3181 /FAX 083-929-3186 (編集局)
TEL 083-929-4780 /FAX 083-929-3313 (広告局)



東京支社

東京都中央区銀座 8-15-10 銀座ダイヤハイツ 714
TEL 03-5148-2727 /FAX 03-5148-2728



【主催行事】

スポーツ系

- 宇部日報杯争奪高校バスケットボール大会
- 宇部日報杯グラウンドゴルフ大会
- 宇部日報旗争奪近郷剣道選手権大会
- 宇部日報旗少年野球大会
- 宇部日報杯ソフトボール大会
- 宇部日報小学生バレーボール大会
- 宇部市近郷中学校駅伝競走大会
- 宇部日報杯ジュニアテニス大会
- 宇部市スポーツ少年団対抗駅伝競走大会
- 宇部日報杯近郷中学校バスケットボール大会
- 宇部市少年野球クラブ対抗ロードレース大会
- 宇部日報旗少年サッカー大会
- 宇部日報杯インディアカ大会
- 宇部日報中学校軟式野球大会
- 宇部日報杯宇部市軟式野球大会
- 宇部日報杯山陽小野田市軟式野球大会
- 宇部市早朝野球定期戦

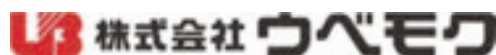
文化系

- 宇部市近郷小・中学生作文コンクール
- 宇部市小・中学校科学作品展・科学研究発表会
- 宇部ユネスコ英語暗唱弁論大会
- 夏休みジュニア科学教室
- 宇部日報杯本因坊戦囲碁大会
- 県将棋名人戦
- 県将棋王将戦

株式会社 ウベモク

所在地：宇部市西平原三丁目 2 番 22 号
電 話：0836-36-8000

循環型社会で目指す地域のリーダー



【企業データ】

代表取締役会長：酒田 三男

代表取締役社長：中尾 泰樹

資本金：5,000 万円

創 業：1928 年（昭和 3 年）1 月

設 立：1987 年（昭和 62 年）1 月



【理念】

私達は社業を通じ社会に貢献します

【ご挨拶】

弊社は、住宅関連事業会社として地域のリーダーとなる事を目標としています。国土の 70%が森林である日本では、森林を適切に管理し、木材を継続的に供給し木造住宅を建築することで循環型社会の形成に寄与できると考えます。その一端を担うことができれば嬉しく思います。

代表取締役社長 中尾 泰樹

【企業のあゆみ】

1928 年 1 月	宇部市西本町にて酒田材木店創業
1951 年 1 月	宇部木材株式会社設立
1973 年 6 月	宇部市藤曲に移転
1979 年 3 月	ウベパレット株式会社設立
1987 年 1 月	事業継承により株式会社ウベモク設立

1998 年 6 月	2×4 事業部を開設
2007 年 9 月	ウベパレット株式会社がユーピーアール株式会社に社名変更
2014 年 9 月	ファーム事業部を開設
2016 年 1 月	不動産事業部を開設
2017 年 9 月	宇部木材(株)と(株)ウベモクが合併

【沿革】

1928 年（昭和 3 年）に酒田敏一が宇部市西本町に酒田材木店として創業し、1951 年（昭和 26 年）戦後復興に際して企業の社会的責任を考え、宇部木材株式会社を設立しました。

木材の運搬が、自転車、リヤカー付き自転車、サイドカー付き二輪車、三輪車と変わり、配達範囲が県外へと広がって事業が大きくなりつつある矢先、1967 年（昭和 42 年）初代社長が他界し、2 代目社長酒田三男が就任しました。

そこで、初代社長の「人の和」を大切にする心を引き継ぎ、立派な企業として発展し、木材業を通じ社会に貢献することを決意しました。そして企業理念でもある社は「私達は社業を通じ社会に貢献します」を制定します。

1970 年（昭和 45 年）には、住宅産業近代化に対応し、宇部市で最初の新建材・住宅設備機器の常設展示場を開設しました。

1973 年（昭和 48 年）製材工場における騒音問題の解消、合理化によるコスト引き下げと品質管理の向上を目的として、宇部市藤曲の中央卸売市場の前に製材工場を移転しました。またその 3 年後には本社事務所も移転しました。

1981 年（昭和 56 年）以降、新設住宅の停滞、在来木造住宅の減少などから業界を取り巻く環境は厳しさを増しており、1987 年（昭和 62 年）社員の意識革命、コストダウン競争力の強化を期すため、宇部木材株式会社から建築資材の製材、木材・新建材・住宅設備機器の販売部門を独立させ、株式会社ウベモクを設立しました。

1998 年（平成 10 年）2×4 事業部を開設。2×4 ランバー資材販売、2×4 パネル製作、2×4 フレーミング工事、輸入建材の販売等で事業を拡大しま

す。2×4パネルは予め工場で作製することから、材料ロスの低減と現場組立工期の短縮という効果があります。

2014年（平成26年）ファーム事業部を開設。新しい事業領域へのチャレンジとして、宇部市新天町に野菜工場「ウベモクファーム」を開店。栄養価の高いベビーリーフのミックス野菜を商品化し、コープやまぐち様等で人気がありましたが、生産コストとマーケット確保という大きな壁のため、2020年（令和2年）に閉店しました。

2015年（平成27年）宇部木材グループのユーピーアール株式会社の株式上場の方針が決まったことに伴い、中尾泰樹が3代目社長に就任しました。

2016年（平成28年）不動産事業部を開設。住宅関連事業を充実させるため、宇部市小松原町に「ピタットハウス宇部店」を開店しました。宇部・山陽小野田エリアの賃貸・売買はお任せください。また、アパート・マンションオーナー様への安定した資産経営のお手伝いをさせていただきます。

2017年（平成29年）住宅関連事業会社として事業と人的リソースの再構築のため、宇部木材株式会社と株式会社ウベモクが合併し、新しいウベモクが誕生しました。

【事業内容】

《販売部》

住宅建築用木材・建材販売、住宅建築用プレカット取扱、住宅設備機器の販売、梱包・土木用木材の販売、木材の製材および加工を行なっています。

《工事部》

2×4パネルの製作・販売、フレーミング工事の請負、2×4部材・住宅資材の販売、アルミサッシ・住宅用各種サッシの販売・施工、大工工事・外壁工事ほか各種工事の請負、太陽光発電システムの販売・施工、輸入建材の販売等を行なっています。

《不動産部》

宇部市小松原町の「ピタットハウス宇部店」にて、賃貸・売買、アパート・マンション経営、空家・相続物件等のご相談を承っています。



2×4パネル



ピタットハウス



工務店支援ルーム

【将来】

このたび、地域の工務店様、ビルダー様、大工等の個人事業主様の営業支援および技術支援を目的とした支援ルームを開設しました。皆様と連携し「安心・安全・快適」はもとより、「健康」「環境」にも配慮した住まいの提供を目指してまいります。

また、木材を産出する森林の適切な管理、近年課題となっている放置竹林、未利用木材の有効活用においても社会貢献の一端が担えるよう研究を進めてまいります。

宇部流通サービス 株式会社

本 社：宇部市南浜町一丁目 11 番 15 号
電 話：0836-34-5211 FAX：0836-34-5212

宇部事業所
所在地：宇部市大字矢矯字大坪字寺田

泉大津事業所
所在地：大阪府泉大津市汐見町 107 番地

物流を基盤に社会貢献する優良企業

代表取締役：加藤 妙子
資本金：1 千万円
従業員：38 名
設 立：1991 年 5 月 27 日



【社訓】

「知の交流」「技術の連鎖」

【URSスタイル（わが社の理念）】

第一の理念

我々の製品およびサービスを使用してくれるすべての顧客に満足していただく。

第二の理念

社員一人一人が個人として尊重しあい、その尊厳と価値を認めあい、安心して仕事に従事できる環境を向上させる。

働く環境は清潔で、整理整頓され、かつ安全でなければならない。

社員が家族に対する責任を十分果たすことができるように、配慮しなければならない。

社員の提案、苦情が自由にできる環境でなければならない。

待遇は公正かつ適切でなければならない。

【社長方針（更に皆が輝くために）】

会社の目的は何かと考えると、経済学では「利益の最大化」と言われているし、ドラッカーの定義だと、「会社や顧客が認める独自価値を創造する」となっています。また、会社が長い期間存続し、発展するには、独自価値を連続的に、継続的に創造し続ける必要があります。つまり、会社が老いないで、生き続ける必要があります。なぜ老いるのかと考えると、マンネリ化や普通の会社にしたくて本来必要でない部署を設置、管理部門を重要視すぎて、創造部門が輝きを失うからだと思います。では、生き続けるには、会社の本質を見失わないことだと思います。挑戦し、やってみて、創造していく

勇気とリスクが必要です。そして、必要でないもの（活力がないもの・価値のないもの）は、捨てる勇気が必要だと思います。当社では、社長の方針で「会社の継続」を示しています。だから、生き続けるために挑戦と創造を常に実践しています。実践するためのエネルギーは、社員が仕事を通じてやりがいを感じ、人として成長し、活性化していること、同じ目的を共有し協働していることから生まれています。その為に「社是」「社訓」「社長の方針」「URSスタイル」「安全の誓い」を日々実践、継続しています。社員が考え、計画し、実行するスタイル。社員が経営するスタイル。独自価値を社員独自が創造し続けることで、会社が生き続けることができると、固く信じています。

代表取締役 加藤 妙子

【事業内容】

パレットのメンテナンス及び物流機器の販売・中古販売・買取・レンタル。

当社は、レンタルパレットの普及と同時にパレットの有効活用を目指して再生パレットの斡旋をしています。物流機器・中古物流機器の販売・買取りも行っています。



【URSスタイルを実現するための6本の柱】

1、URS人材育成

当社は、従業員を「自分で成長しよう」という姿勢に導き、「信頼」と「尊敬」を前提に事業を成功させる人材の育成に努めます。

2、安全衛生方針

わが社は、URSスタイル（わが社の理念）第二の理念を実現するために、従業員の安全と働く環境の整備、向上を最優先に考え、会社一丸となって邁進します。

①法令厳守

②安全衛生活動の実施

③安全の誓い

3、新評価・表彰規定

従業員の成長により、従来の大雑把な基準から、従業員一人一人が、何をすれば、何を身につければ昇格できるのかが、理解し易く、且つ公平な人事が行えるようにするために、新人事制度に移行しています。

4、URS福利厚生方針

①再生会の活性化

従業員が運営して福利厚生を目的としている「再生会」の活性化に努めます。

②一般事業主行動計画の実施

子供が生まれる際の父親の休暇の取得を推進します。所定外労働の削減と年次有給休暇取得を推進します。社員が子供との交流時間を獲得し、家庭の教育力の向上を図ります。

③福利厚生進化計画の実施

5、事業継続計画（BCP）

当社は、災害被災時・緊急事態時を図る事業の仕組みをつくることで、従業員の安全確保、雇用の維持、取引先との関係維持、諸関係先の信用・信頼の確保、併せて経営安定の確保を目指します。そのために、事業継続計画（BCP）の策定により、計画立案による不測事態への備えと不測の事態発生時の早期復旧への運用を規定しています。

6、URSCSVパーパス

URSスタイルをより強く推進していくためにURSCSVパーパスを決定し、CSV経営に取り組んでいます。

第一章 「幸福」「地域貢献」「環境」「企業としての責任」

第二章 SDGs目標と連動

第三章 ディーセントワークの推進

【社会貢献・連携、支援、認定の一覧】

1999年～ 公益）オイスカ「子供の森」計画の寄付支援開始

2010年 4月 やまぐち障害者雇用推進企業認定
2010年～ 宇部市体育協会の寄付支援開始
2010年 4月 宇部市社会福祉協議会の寄付支援開始
2010年 4月 **宇部市で1番に**、事業継続計画（BCP基本方針）を策定
2013年 7月 中央労働災害防止協会
労働安全衛生評価登録事業場名簿登録
2013年11月 中央労働災害防止協会発行の安全衛生広場に「わが社の安全衛生」が掲載
2014年 1月 日刊工業新聞の「中央労働災害防止協会の挑戦」に団体で取り組む企業として掲載
2014年～ うべ未来100プロジェクトの理事に就任。寄付支援開始
2014年～ 日本赤十字山口県支部へ寄付支援開始
2016年 4月 やまぐち子育て応援企業認定
2017年12月 山口赤十字社より銀色有功章授与
2018年 6月 赤十字サポーター認定
2018年 9月 宇部市女性活躍推進企業認定
2018年11月 子会社 環境テラス株式会社設立（公財）「緑の募金」寄付支援開始
2018年12月 ときわ動物園動物サポーターに就任
2019年 1月 山口赤十字社より金色有功章授与
2020年 2月 日本赤十字社より感謝状授与
2021年 5月 **【設立30周年】**

■URS幸福への道プロジェクト■

社員の皆様に幸せを感じて幸福になっていただきたいという趣旨で2019年4月より「ハッピーキャンペーン」を実施しています。世間では、安全第一、品質第二、生産（効率）第三と言われています。安全は当社の安全の誓いの通りで、幸せを感じないと確保できません。その為に、幸福への道プロジェクトを立ち上げて、物事の考え方を今日の一言として唱和したり、個々の相談やアドバイスをしたりしています。



所在地：宇部市西岐波区宇部臨空頭脳パーク 1 番
TEL:0836-39-6100 FAX:0836-39-6050
<http://www.aim-yamaguchi.co.jp/>



【企業情報】

代表取締役：藤井政夫

資本金：3500 万円

従業員：全体：112 人（男：99 人・女：13 人）

※2020 年 4 月時点

設 立：2002 年（平成 14 年）11 月 1 日

事業所：

本社 宇部市西岐波区宇部臨空頭脳パーク 1 番

東京支店 神奈川県川崎市川崎区宮前町 8-11

【経営理念】

『志は不朽にあるべし。』

志は永久に朽ちないものであり、

志が永遠に朽ちないものであれば、

事業も永遠に朽ちないものである。

[Associate Ideal with Mode]

社名の AIM（エイム＝目標）に表現するように、方式と理想を結びつけ、新しい価値を創出することを経営理念としています。この AIM（目標）を通して、全従業員の成長と物心両面の幸せを追求します。

【事業内容】

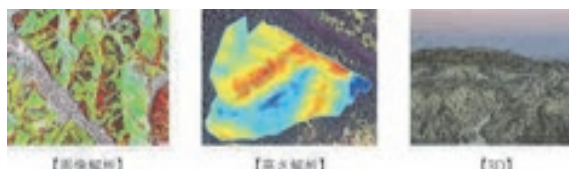
『業務効率化につながるシステムを提案します！』

- ・コンピュータシステムの設計、導入及び運用指導
- ・コンピュータソフトウェアの開発販売及び保守

◆お客様に提供するソリューション

① GIS ソリューション

多種多様な業種業態において GIS を使った『地図への見える化』が進んでおります。『空間情報』を地図へ表現し、業務効率化と的確で迅速な意思決定をお手伝いします。



②産業ソリューション

産業分野の業種・業態は多様化の一途をたどっており、ITへの依存度は高まっています。システムの評価・改善・改修だけでなく、お客様の業務から「改善と効率化」をお手伝いさせていただきます。



③公共ソリューション

自治体のシステム提案・構築及び運用・保守を中心に、全国の政令市から一般市まで長年蓄積してきたノウハウを生かしてサービスを提供します。自治体業務に精通したSEにより、お客様の運用に最適なシステム構築を行います。



④ビジネスソリューション

クラウド、モバイル、IoT など最先端のデジタル・テクノロジーを取り入れ、ビジネスに大きな変革をもたらすデジタル革新に貢献する開発をおこなっています。



⑤ソリューション開発センター

当センターはシステム開発における「ものづくり」に特化した専門のセンターです。お客様の信頼得るべく、品質管理とコスト管理を徹底した開発のプロフェッショナル集団です。



【新技術への取組み】

エイムでは、お客様のシステム開発を行うだけでなく、Society 5.0（ソサエティ 5.0）に基づく現在の社会課題へ新技術（AI、RPA、Iot、データサイエンス、UAV 等）による新たな価値創出に積極的に取り組んでおり、大学や研究機関との共同研究開発や新産業・新事業の創出、イノベーション人材の育成を行っています。

①「衛星データと IoT によるスマート漁業」

現在水産業における政策課題は、「水産資源の増大」「漁業の生産性向上、所得向上」「漁業者担い手の維持・発展」と挙げられます。この課題を Society 5.0 の新技術により、社会実施していくことがスマート漁業（スマート水産）の取り組みです。



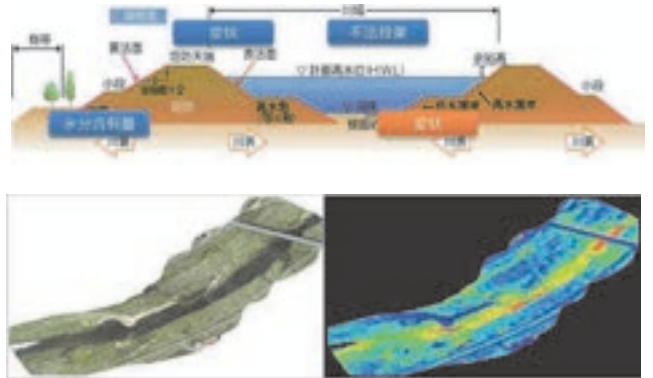
当社では、水産業の生産者である漁業者の操業をスマート漁業にて支援するサービスに取り組んでいます。本事業のモデル研究開発では、山口県内の沿岸漁業者に協力頂き、「衛星データ（観測衛星、測位衛星）」と「漁船データ（IoT 装置）」から収集し、AI 解析技術を活用した操業支援アプリとサービスの開発を行っています。資源減少や後継者不足が顕著な沿岸漁業において操業情報の収集を行い、漁業操業ナレッジベースを構築し、漁業支援サービスの研究開発を行っています。

②「衛星データによる河川インフラ監視」

今後急速に老朽化することが懸念されている社会インフラに対して、「事後保全」から今後、「予防保全」の考え方を基本としたインフラのメンテナンスが重要となります。衛星データによる新技術やデータの積極的活用、集約・再編等の取組による効率化を図り、持続的・実効的なインフラメンテナンスの実現を目指す必要があります。

エイムでは、河川管理業務の効率化・高度化に向け、衛星データを活用し、下記情報の提供を可能とする技術及びシステムを開発しております。

- ・堤防監視：時系列での堤体の沈下/隆起等、地点ごとの変状傾向
- ・河道変化：土砂堆積や樹木繁茂による河川の流下能力の変動傾向
- ・水生植物繁茂状況：気象状況等により変化する水生植物の繁茂状況



【SDGs】



エイムは、自社業務において持続可能な開発目標『SDGs』に取り組めます。

- ・環境資源保護への取り組み
- ・サービス品質向上に向けた取り組み
- ・環境への取り組み
- ・ダイバーシティへの取り組み
- ・地域への参画・発展への取り組み

エイムは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

【福利厚生】

エイムでは、従業員の福利厚生と地域への貢献を目的とした企業内保育所を設置・運営しております。



株式会社 エビス商会



【所在地】

本社：宇部市東平原二丁目 9 番 36 号

TEL 0836-33-4121

山口営業所：山口市黒川 174-1

下関営業所：下関市一の宮町 4 丁目 4 番 27 号

【企業データ】

代表取締役：蛭子健太郎

資本金：5,000 万円

年商：35 億 8,600 万円（2019 年度）

従業員：本社 34 名、

山口営業所 14 名、下関営業所 5 名

設立：1956 年 5 月 21 日

株式会社エビス商会創業者、蛭子壽男は、太平洋戦争時南方へ出征し、負傷して帰国しました。戦後、宇部窒素工業㈱に勤めておりましたが、結核となり、当時結核の療養所である山陽荘に入院しました。当



時の結核の手術は、ろっ骨を切り、肺の虚脱療法を行うというもので、術後はいつも体が傾いていたと聞いております。戦火で家を失い、体もガタガタで、母と妻と幼い子供 3 人を養わないといけない心境はいかばかりかと思ひます。

←【蛭子壽男】

蛭子壽男の親戚の蛭子五八が大阪で日本機械製鎖㈱を設立しており、鎖の製造販売を営んでおりました。そこから鎖を仕入て、沖の山炭鉱、東見初炭鉱に販売する仕事を始めようと思ったそうです。同じ病室にその仕事を手伝いたいと言う人がいたと聞いております。名前は不明ですが、その方と二人で会社を立ち上げようと決意しました。退院後、宇部窒素工場㈱を退職します。

1956 年 5 月、資本金 50 万円にて株式会社エビス商会創立。松島町に畳 4 畳の店舗だったと聞いております。リンクチェーンを沖の山炭鉱、東見初炭鉱に売りに行っておりました。

「有限の鉱業から、無限の工業へ」

渡邊祐策翁が掲げた方針の通り、宇部興産㈱が化学工業を発展させていくにつれ、耐熱合金、耐熱ポンプ、バルブ等の販売を始めました。いろいろな流体をコントロールするために宇部興産の方々と日夜研究を重ねており、当時の事務所は文献が山積になっていたと聞いております。

そのころ、宇部市の発展に伴い、上下水道の整備が急がれておりました。

1962 年、水道、ガス及び冷暖房の配管機材の販売を始めます。水道本管で使用される鑄鉄管は、当時規格が曖昧な為、長さがばらばらで、状態の良いものと悪いものがありました。弊社社員の五島純雄がトラックで大阪市立売堀まで行き、問屋と喧嘩しながら状態の良いものだけを選んでトラックに載せて宇部まで持ち帰っておりました。2002 年に五島純雄は亡くなりましたが、亡くなる前にこんなことを言っていました

「立売堀の連中はがめつい。自分で見て、選んで、自分で積み込まないと、悪いものを買わされる。人には任せられなかった。」

宇部市の上水道整備の陰に、百戦錬磨の男の存在がありました。



【エビスビル】

1962 年 3 月、宇部新川駅前に地上 4 階、地下 1 階のエビスビルを建設し、貸しビル業務を兼業します。1 階をエビス商会事務所とし、その他を富士電機製造㈱他が入居されます。



【エビスビル前集合写真】

1965年1月、蛭子壽男死去により、蛭子俊成が28歳で代表取締役役に就任します。蛭子俊成は大阪工業大学卒業後、サラリーマンをやって、エビス商会に入社しました。

「入社半年で社長になった。この時はずいぶん苦労したいや。」と後に言っておりました。

1970年4月、エビスビルの事務所が手狭となったために、東平原に土地を購入し新社屋を建設、移転。【本社】→

1982年5月、山口県庁新築に伴い山口営業所を開設。

【山口営業所】→

1992年3月、本社から道を挟んだ向かい側の土地を購入。文京倉庫を建設。

2004年4月、蛭子健太郎、(株)山善を退職しエビス商会に入社。

蛭子俊成の教え。

「プライドや体裁や自我を全部捨てろ。空になれ。空になればそこに人が集い自由に活躍できる。」

2004年12月、蛭子俊成死去により、弟の蛭子俊典が代表取締役就任。



【蛭子俊成】



【蛭子俊典】

2006年5月、創立50周年を迎える。

2008年4月、蛭子健太郎代表取締役役に就任する。

【蛭子健太郎

(東谷和夫様撮影)】

2008年12月、エビスビル老朽化により解体。

2012年3月、建設業許可取得。



2019年9月、下関営業所開設。



【事業内容】

水、化学薬品などの流体用のパイプをはじめ、継手、バルブ、住宅設備機器など、数百社におよぶメーカーの商品を幅広く取り扱っております。

《プラント関連分野》

各種プラントにおいて、水、エネルギー、化学薬品の供給ラインに必要とされるパイプ、ポンプ、バルブ、流量弁、特殊継ぎ手などを取り扱っております。

《上水道関連分野》

各家庭への給水用の鋳鉄管、鋼管、塩ビ管、銅管、ポリ管、ポリブテン管等を取り扱っております。

《下水道関連分野》

雨水や汚水を処理場まで送る下水道に必要な各種パイプ、ボックス、鉄蓋などを取り扱っております。

《ガス関連分野》

天然ガス、LPガスの埋設管から関連商品を取り扱っております。

《住宅設備分野》

住宅に必要なキッチン、風呂、化粧台、トイレ、電化商品などを取り扱っております。

【理念】先義後利。誠実さを持って、取引先の利益改善と向上を図り、地域の発展に貢献する。社員の能力開発と生活福祉の向上に努め、会社の発展と一人一人の幸せとの一致を図る。

社会全体の利益、これが先義後利の“義”です。この“義”を最優先とし、誠実に貢献力を磨き続けていくことが弊社の社会に存在する意義です。

「人定まれば天に勝ち、志一なれば気を動かす」菜根譚。“先義後利”を志とし、“志を忘れたところ”にエビス商会は存在しない。志一なれば宇部市の発展に力強く貢献できる。”と確信しております。

宇部市の次の100年が、明るく、豊かで、希望に満ち溢れた地域に発展し続ける一助と弊社がなることができれば本当に幸せです。現在も未来も社員一丸となり邁進してまいります。

株式会社 エムビーエス

所在地：宇部市西岐波 1173-162
電 話：0836-54-1414

「列島リフォーム」のスローガンのもと、
持続可能な社会と安心・安全な暮らしの
実現に貢献する

【企業データ】

代表取締役：山本 貴士

資本金：391,329 千円

従業員：104 名(2020 年 5 月現在)

創 立：1993 年 1 月

設 立：1997 年 6 月

本社所在地：宇部市西岐波 1173-162

事業所：仙台支店/東京支店/西東京支店/横浜支店
千葉支店/埼玉支店/宇都宮支店/浜松支店
名古屋支店/大阪支店/神戸支店/岡山支店
広島支店/福山支店/周南支店/宇部支店
下関支店/松山支店/北九州支店/福岡支店
久留米支店/熊本支店
ホームメイキャップ研究所

【事業概要】

- ・住宅及び諸建造物の内外装リフォーム全般
- ・その他リフォームに関するコンサルティング
- ・機能性塗料の開発及び販売
- ・建築工事業

【主要特許】※一部を掲載しております。

- ・薄膜スケルトンはく落防災コーティング
：特許 5727708
- ・対象物管理サーバ及び対象物管理システム
：特許 6131105
- ・コンクリートのコーティング構造、および、コンクリート表面のコーティング方法
：特許 64499891
- ・コンクリート構造物、コンクリート構造物の製造方法、およびコンクリート構造物の劣化診断方法
：特許 6808354
- ・双セキュリティキャビネット BOX (PCR 検査用)
特許出願中：特願 2020-90409

【理念】

ドラマ化される会社にする

【ご挨拶】

私たちは「列島リフォーム」をスローガンに掲げ、全国の戸建て住宅、マンション、商業ビル等の建築物のリフォームや道路、トンネル、橋梁等のインフラであるコンクリート構造物の補修・点検・管理を行うことを通して、安心・安全な生活の提供と持続可能な社会の実現を目指しております。

そのために、2023 年までに全国に 50 の支店を展開することで、全国を網羅する営業・施工体制を構築し、さらに弊社独自の技術である「ホームメイキャップ工法」と「スケルトン工法」を全国へ広めることで「列島リフォーム」を実現するために全社員が業務に邁進しているところであります。

また、既存店におけるパートナーである工務店等との関係強化に取り組み、受注を拡大するとともに、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注推進の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるだけでなく、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

そして、今後の建設業界の課題でもある労働力不足の懸念への対応、その解消のための IT 技術等を活用した生産性の向上、既存インフラの維持修繕工事の拡大に取り組み、「インフラリフォーム」のトップブランドを目指し、更なる企業価値の向上を実現していきたいと考えております。

さらに、継続的な成長を実現することで地域の雇用を支えると同時に、本業の経験を活かし、新規事業にも取り組み、宇部市の中心市街地活性化及び地方創生に貢献していきたいと考えております。

代表取締役社長 山本 貴士

【法人のあゆみ】

1993 年 1 月	足場業として創業（プロジェクトビギ）
1997 年 6 月	山口県宇部市宮地町 3 番 67 号において、有限会社アクアビギを設立
1998 年 2 月	商号を有限会社エム・ビー・エスに変更外壁リフォーム業を開始
2001 年 7 月	株式会社に組織変更し、株式会社エ

	ムビーエスとなる
2002 年 5 月	事業拡大に伴い、本社を山口県宇部市神原町に移転
2005 年 4 月	福岡証券取引所「Q-Board」に上場
2006 年 7 月	事業拡大に伴い本社及び研究所を山口県宇部市小串に移転
2008 年 2 月	スケルトン耐震防災コーティング NETIS 登録
2010 年 12 月	スケルトンはく落防災コーティング NETIS 登録
2011 年 9 月	パシフィックコンサルタンツ株式会社と業務提携契約を締結
2012 年 12 月	超薄膜スケルトンはく落防災コーティング NETIS 登録
2015 年 8 月	東京証券取引所「マザーズ」に上場
2017 年 4 月	本社及び研究所を山口県宇部市西岐波に移転

【沿革】

1993 年 1 月、足場業としてプロジェクトビキを創業し、1997 年 6 月に有限会社アクアビギを設立。

1998 年 2 月、商号を有限会社エム・ビー・エスに変更し、外壁リフォーム業を開始。

2001 年 7 月、株式会社に組織変更し、株式会社エムビーエスとなる。

2005 年 4 月、福岡証券取引所「Q-Board」に上場し、その後 2015 年 8 月、東京証券取引所「マザーズ」に上場。

2019 年 6 月、栃木県宇都宮市に宇都宮支店を開設し、2020 年 6 月現在、全国 22 拠点となる。

【事業内容】

当社の主事業は、老朽化した諸建造物(一般住宅、集合住宅、商業施設、歴史的建造物等)の維持・保全を目的とし、当社が独自で開発した施工技術による外壁・内装リフォーム工事(ホームメイキャップ工法)とインフラ(橋梁・道路等)のコンクリートの老朽化によるはく落の防止等の補修・改修工事(スケルトン防災コーティング工法)のほか、当社加盟店等に対するノウハウの提供及び材料の販売を行っております。

また、一般工法による既設住宅の改修や新築住宅

の施工も手掛ける建築工事業も行っております。

ホームメイキャップ工法の特徴は、特殊機能性塗料を使用し、独自のホームメイキャップ工法を適用することで、優れた耐久性・補強性、美観性を提供しております。

施工方法については、クリアコーティング施工(磁器タイルや窯業サイディング等の複雑な形状や色彩の外壁を蘇生させるための施工で白化現象やチョーキングを解決)や、カラーコーティング施工(外壁リフォームの主流である外壁の再塗装に対応した施工で亀裂や爆裂の補修等の軽度の損傷部分の補修に対応)等の工法があります。

スケルトン防災コーティング工法の特徴は、コンクリート構造物の老朽化によるはく落の防止のための工法であり、クリアなコーティングにより施工後、素地が目視にて確認可能なため、近接目視での点検を可能とするものであります。

建築工事業において、新築はもちろん、内装、水廻り、エクステリア等の増改築まで、お客様に豊かさで安心安全をお約束できる快適空間づくりを提供しております。

【将来】

今後の目標といたしましては、2023 年 3 月までに現在 22 ある拠点を 50 の拠点到拡大させ、全国を網羅する営業・施工体制を構築することを目標としております。

また、50 の拠点による全国を網羅するネットワークを活用することで、当社独自の技術である「ホームメイキャップ工法」と「スケルトン工法」を全国に広め、「列島リフォーム」を実現することを目標としております。

このことにより現在あるインフラ等の社会資本や住宅等の資産の長寿命化を実現し、持続可能な社会と安心・安全な暮らしの実現に貢献できる企業を目指してまいります。



株式会社オータニ

所在地：宇部市助田町 7 番 13 号
電 話：0836-33-7878



【企業データ】

代表取締役：大谷 英治

資本金：2,000 万円

従業員：104 名

グループ企業：株式会社はんど

創業：1930 年 8 月

設立：1960 年 8 月 4 日

登録：

特定建設業 山口県知事許可(29)第 2402 号

一般建設業 山口県知事許可(29)第 2402 号

一級建築士事務所 山口県知事登録(H)第 884 号

宅地建物取引業 山口県知事(2)第 3374 号

【モットー】 人と人とのご縁を大切に

【企業のあゆみ】

昭和 5 年 8 月（1930 年）

大谷組（個人経営）を開業

昭和 35 年 8 月 4 日（1960 年）

有限会社大谷建設工業所を設立

大谷善治代表取締役に就任

昭和 42 年 10 月（1967 年）

大谷建設株式会社に組織変更



昭和 45 年 9 月（1970 年）

大谷地所株式会社を設立

昭和 52 年 5 月（1977 年）

大谷将治代表取締役に就任

平成 11 年 8 月（1999 年）

関連会社として株式会社はんどを設立



平成 23 年 8 月（2011 年）

大谷建設株式会社と大谷地所株式会社が合併
株式会社オータニに社名変更



平成 24 年 8 月（2012 年）

大谷英治代表取締役に就任

【沿革】

工業製品の請負作業、機械メンテナンスを生業とする大谷組（個人経営）を初代社長・大谷善治が 1930 年（昭和 5 年）8 月に創業。以降、建設業へと進出し 1960 年（昭和 35 年）に有限会社・大谷建設工業所、1967 年（昭和 42 年）に大谷建設株式会社へと法人組織化。住宅、一般ビル建築や土木部門の拡充に取り組み始めた。

1970 年（昭和 45 年）、二代目社長・大谷将治は、ハウジングのブームが到来すると予測し、住宅・不動産業を営む大谷地所株式会社を設立。

地域の住環境およびそれに付帯するサービスの提供を開始。



❶ 1992年（平成4年）開店の大谷地所 新川駅前店



❶ お客様へご提案するインテリアを選定中の様子

1999年（平成11年）に介護用品の販売・レンタル業を行う株式会社はんどを設立し、山口県西部、北九州市へと活動範囲を広げている。

2011年（平成23年）、類似業務の統合・効率化と「建設業 × 不動産業」による新たな付加価値創出を期して、大谷建設株式会社と大谷地所株式会社を合併し、株式会社オータニに社名を変更。



❶ 現在のアパマンセンター（宇部市松島町）

【事業内容】

■株式会社オータニ

総合建設業

建築工事（新築・増改築工事等）

宅地建物取引業、不動産関連全般

構内作業請負業

■株式会社はんど

福祉用具、介護用品の販売・レンタル

介護リフォームの提案・施工

【御挨拶】

当グループは、創業以来「人と人のご縁」「地域への貢献」を大切にしながら、今日まで歩んでまいりました。お客様やお取引先、地域とのご縁なくしては、私たちの仕事は成り立ちません。

また、どんなにいい商品やサービスを提供していても、それらが時流に合ったものでなくては企業として生き長らえることはできません。

私たちは、人口減少（特に地方）、少子高齢化によって、国全体の力が縮小・弱体化していくおそれのある将来においても、必要とされる商品・サービスを提供し、また必要とされる存在であり続けます。

私たちオータニグループの取り組みに、どうぞこれからもご期待ください。



有限会社 小川蜜カス本舗

所在地：宇部市昭和町1丁目4番22号
電話：0836-21-0857

創業百年 銘菓の老舗 **小川蜜カス本舗**

【企業データ】

代表取締役：小川 伸策

業 務：和洋菓子の製造・販売

創 業：1921年（大正10年）



【理念】

笑顔をもたらすお菓子を

【ご挨拶】

宇部市が誕生したのと同じ大正十年に創業以来、小川蜜カスのカステラは、伝統製法を守りながらも改良をかさねてまいりました結果、銘菓「蜜カス」として、永年にわたって多くのお客様から高いご評価をいただいております。

職人が丹誠込めて一枚一枚丁寧に焼き上げたカステラは、しっとりきめ細やかで、ふんだんに使用した蜂蜜は甘く舌に溶け込みます。お子様からご年配の方々にまで、どなた様にも喜ばれる贈物として最適かと思われます。

是非一度ご賞味くださいませ。

【企業のあゆみ】

1921年 「小川兄弟堂」として創業

大正10年（1921年）「小川兄弟堂」として創業しました。初代当主小川直次は光市から移り住んだ当



時、眼鏡屋か飲み屋を始めようとしていましたが、創業まで菓子屋を手伝っているうちに、菓子を面白いと思うようになり、菓子屋を始めました。創業時は干菓子の製造・販売がメインでしたが、後年、仕入販売をメインに切り替えました。昭和8年（1933年）当時、車を所有できるほどに勢いがありました。

空襲で建屋とともにあたりが焼け野原になった戦後、焼け残りの小麦粉と砂糖をつかい、お菓子をつくり、近所に無償で配り地域の復興を後押ししました。



1966年（昭和41年）12月「有限会社小川蜜カス本舗」として法人となりました。



1991年（平成3年）宇部市厚南地区に支店「中野プラザ店」を開設しました。



2021年 【創業100周年】

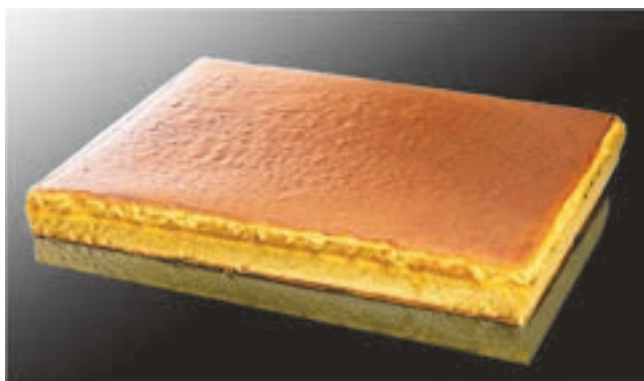
【商品案内】

初代当主小川直次は、当初は長崎のカステラと同じようにザラメをひいて焼いていましたが、その当時は技術が未熟であったためザラメが残ってしまし

た。また、卵の臭みをやわらげるために一般的につかう米あめが当時の山口県宇部では入手困難であったため、代わりに水あめを使っていましたが、卵の臭みをやわらげることができませんでした。

試行錯誤の末、蜂蜜を使ってみたところ卵の臭みをやわらげることに成功しました。ザラメはどうしても残ってしまうために、ザラメを使わない焼き方を開発しました。そうしてザラメを使わない蜂蜜をメインで使う蜜カス・蜂蜜カステラが誕生しました。いまでも試行錯誤と創意工夫を重ね、究極のカステラ創りを追及しています。また、昔ながらの12斤サイズで焼いています。

《主力商品の小川蜜カス・蜂蜜カステラ》



《第5回うべ元気ブランド認証製品（2020年）》



《定番商品》



株式会社 共営社

本社所在地：宇部市寿町 2 丁目 4-24
電 話：0836-31-6155

オフィスの快適空間を提供する老舗企業



【企業データ】

代表取締役社長：藤井 泰造

資本金：3000 万円

従業員：50 名

設 立：1949 年（昭和 24 年）5 月



【社是・方針】

事務用品・事務機械を通じ事務能率向上と事務の合理化に役立つ事を念願し、パイオニア精神に生き、新しいセンスの導入に努めております。特に商品化政策と商品知識の普及、啓蒙は当社が最も意を用いているところであります。

なお紳商たるべしと常に反省自戒をいたし、お客様の利益を優先する商道を最大の信条として、品質、価格、取引に万全を期し、不断の研鑽と限りない努力を続けています。

【ココがポイント】

- お客様に愛される真心のサービスを
- 県内 2 箇所の営業拠点と 3 箇所の店舗でより多くのサービスを提供
- 内装から家具までご提案します

【企業のあゆみ】

1949 年 5 月

共営社の商号にて文具、事務用品、事務機械の販売業を創立する

出資者 9 人で宇部式匿名組合

代表者 藤井三郎

資本金 60 万円で発足する

1952 年 5 月 資本金 75 万円の増資する

1959 年 6 月

宇部式匿名組合を発展的に株式会社共営社として変更登記と併せて資本金 150 万円とする

1959 年 9 月 新店舗の建設に着手する

1960 年 1 月

新社屋及び倉庫を完成し、官庁、会社、学校等の最も希望されるスチール家具、事務機器を豊富に陳列、啓蒙、普及に努力を続け、現在に至る

1963 年 9 月 資本金 300 万円にする

1964 年 5 月

宇部市神原町 2 丁目に鉄骨スレート倉庫 90 坪新設する

1964 年 9 月 資本金 400 万円とする

1965 年 9 月 資本金 500 万円とする

1966 年 2 月

宇部市神原町 2 丁目に鉄骨スレート倉庫兼営業所等の設備坪数 90 坪新設する

1967 年 9 月 資本金 700 万円とする

1975 年 5 月

山口営業所を山大通りに建設着工し、同年 10 月完成する

1975 年 11 月 資本金 1500 万円の増資する

1977 年 3 月

中小企業庁長官より、受診企業の内より優良企業として全国表彰を受賞する

1978 年 2 月

宇部市松島町に西店を開設

店頭販売を主として西区のお客様へのサービス向上を計る

1978 年 11 月

宇部税務署長より優良申告法人として表敬を受ける

1980 年 7 月

東芝ビジネスコンピュータ株式会社と

の共同出資による山口トスバック株式会社を創設、資本金 600 万円でスタートする
1980 年 12 月 資本金 3000 万円とする
1981 年 5 月 本社社屋の建替え新築工事（鉄筋コンクリート 4 階建て 320 坪）に着工し、同年 11 月完成する
1984 年 12 月 宇部税務署長より優良申告法人として表敬を受ける
1985 年 10 月 山口流通センターに土地 800 坪購入し、第 1 期工事として建物（鉄骨 110 坪）を新設し、山口営業所を移転し将来の重要基地にする
1988 年 3 月 キャンパス店新築オープン（宇部市松島町の西店旧店舗）
1991 年 11 月 宇部税務署長より優良申告法人として表敬を受ける
1997 年 12 月 キャンパス防府店新築オープン
1999 年 5 月 【設立 50 周年】
2019 年 5 月 【設立 70 周年】

【事業内容】

- 文具事務用品販売・業務用 OA 機器販売
- リース・オフィス家具の販売・オフィス家具の納入
- 解体・組立・オフィス内装、間仕切り工事

《取扱メーカー》

文具用品

コクヨ・ライオン・三菱鉛筆・キングジム・リヒト・ペンテル・ナカバヤシ・シャープ・カシオ・マックス、
主要メーカーの全商品取扱い

スチール家具、木製家具

イトーキ・コトブキ・オリバー・ライオン・プラス・内田洋行・チトセ・ケルン・コクヨ・木原・中日・サカエ・コンビ

OA 機器

東芝・ゼロックス・京セラ・シャープ・理想科学

内装工事

イトーキ・ミヨマル・コマニ・ニチアス・東リ・サンゲツ・タチカワ・ニチベイ

【営業所】

《キャンパス防府店》

防府市牟礼今宿 1 丁目 16-45



《事務器部》

宇部市神原町 2 丁目 1-11

《山口営業所》

山口市朝田流通センター 601-18



共美工業 株式会社

所在地：宇部市大字川上字上白石 133 番地 4
電 話：0836-21-0181

地域産業を牽引する 創造型企業



【企業データ】

代表取締役会長：山田 義裕

代表取締役社長：山田 高大

資本金：2,000 万円

従業員：36 名（2019 年 4 月時点）

設 立：1946 年 10 月



【経営理念・ビジョン】

共美工業株式会社は不断の努力を怠らず

お客様との信頼関係を築き

時代のニーズに応えるべき技術을追求し

以って全従業員の物心両面の幸福と会社の発展を実現し

社会的使命にたち世界に貢献して行くことを目的とする

【社訓】

- 一、人と人との和に努め
- 二、不断の努力を励みつつ
- 三、みんなで幸をわかちあい
- 四、世の人々に感謝して
- 五、いつも仕事を楽しみましょう

【長期ビジョン】

『100 年続く、

そして一人ひとりが輝いている会社にする』

【企業スローガン】

『実行一流企業へ』

【企業のあゆみ】

1946 年	共美金属設立
1952 年	共美工業株式会社に組織変更
1955 年	JIS 規格表示許可工場になる
1955 年	優良中小企業模範工場として中小企業長官より表彰を受ける
1971 年	勤務統計優良工場として労働大臣より表彰を受ける
1986 年	資本金 2,000 万円に増資
1987 年	モールド用金型の製作をはじめ
1990 年	包装機械製造・組立をはじめ
1996 年	【設立 50 周年】
2001 年	ISO9001（ボルト・ナット及び機械部品の製造）を取得
2004 年	計装事業部を設立

共美工業は、1946 年 10 月に鐘淵工業（当時）の引揚者が中心となり、加熱鋲螺釘の製造・販売会社として発足しました。それ以来、日夜精励を重ねて様々な困難を克服し、1955 年には中国地方で最も早く日本工業規格表示工場として JIS の許可工場となりました。その後、市場ニーズの変化に合わせて事業構造を変革し、現在では産業機械の各種部品を製作する「機械事業」、計装制御機器の点検・整備・修理などを行う「計装事業」を展開しています。

私たちはこれからもお客様との信頼関係を築き、時代のニーズに応える技術を追求することを通して、地域社会から必要とされる企業であり続けます。



【事業内容】

《機械事業》

機械事業では自動車・家電産業で使用する大型設備、食品産業で使用する各種機械、発電所で使用される各種装置などに使われる金属製品を製作しています。1/100mm 単位の精度で加工されるこれらの製品は、幅広い分野の産業機械に使われており、日本のモノづくりを陰から支えています。



《計装事業》

計装事業では、各種プラント製造設備の詳細設計・保守計画、自動制御盤の設計・製作、計装制御機器の点検・整備・修理・校正等を行っております。

メンテナンスに関しましては、突発的な加工が必要な場合でも、本社工場にて硬化処理（肉盛溶接）・切削加工・金物製作等を行い、迅速に対応いたします。また、当社在籍の非破試験有資格者がPT検査を実施いたします。全て当社内での作業となりますので、時間・コストの短縮にご協力できます。

なお、取り外し・取り付けも当社が実施し、各種計器のループチェック等も同時に行えます。

計装とは「制御の目的で計測制御装置を装備すること。またその技術」であり、「各種工場において工程を計測・制御する装置を設置・運用すること」です。



共美は「経営計画書」を経営の羅針盤とし、長期ビジョンである『100年続く、そして一人ひとりが輝いている会社』を目指しています。「人と人との和」を大切に、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。



国際ホテル宇部

所在地：宇部市島1丁目7-1

電話：0836-32-2323

アットホームで気の利いたサービス

【企業データ】

代表取締役社長：吉永 英人

資本金：1,100万円

従業員：105人

設立：1972年（昭和47年）12月



ホテル外観

【社是】

「信義礼節」

【経営理念】

いかなる社会経済情勢にも耐えうる体質をそなえる為、内部留保を高め、多角的に事業を展開し、全従業員とその家族の恒久的な生活の安定をはかり、以て社会に貢献する。

【ご挨拶】

地域の方々に愛されるホテル造りをベースに、県内外のお客様や諸外国のインバウンド対応も万全で、全てのお客様のニーズに柔軟に対応させて頂いております。『安心・安全・快適』な空間と非日常的な時間をお過ごし頂く為、全従業員が『おもてなしの心』をもってお客様をお迎えしております。

【企業紹介】

当ホテルは吉永企業グループ傘下の事業所です。

同グループは、東京・大阪の主要都市はもとより、中国・四国・九州を中心として、医療・福祉サービス部門を軸に、ホテル部門・商事部門など各地で展開しております。



本館1階ロビー

【ホテルのあゆみ】

1972年12月	設立
1974年4月	別館棟新設
1987年4月	新館棟新設
2002年4月	チャペル棟新設
2004年5月	ハウスウェディング会場棟新設
2010年5月	ホテル本館・別館改修工事開始
2011年3月	グランドリニューアルオープン
2015年4月	鉄板焼 旬オープン
2017年3月	創作ダイニングカメラリア西館へ移転し、リニューアルオープン
2018年4月	日本料理吉長リニューアルオープン
2022年12月	ホテル設立50周年

【沿革】

1972年（昭和47年）12月本館設立。

爾来、数年おきに計4棟を新設。

ホテル内に本格的チャペルの建設をはじめ、県内唯一のハウスウェディング会場、ホテル最上階ガラス張りの神殿など常にニーズを先取りしてきた。

その後もホテル全館大改修工事、3つのレストランをリニューアルなど常にお客様の満足を追求すべく進化を続け、2022年50周年を迎える。

【施設概要】

エントランス、フロント、ラウンジはダークウォールナットカラーを基調としたスタイリッシュでモダンな空間。フロントカウンター、シャンデリア、備え付けの調度品の1点1点は全てデザインから特注。高級感溢れる空間の中にも庭園には黒竹と光が配され、ジャパニーズモダンテイストな雰囲気が訪れたゲストを癒す。1階は完全バリアフリー化、多目的トイレも併設し、あらゆるお客様に対応する。

客室数は102ルームで、最大157名まで受入可能。

宴会場・会議室は大小合わせて10室でメインバンケットのダイヤモンドホールは約400名収容。

ウェディング施設チャペル、神殿を備え3つのレストランを併設。駐車場は約70台分。

【宿 泊】

最高の寛ぎを・・・

国際ホテル宇部がご提案する『眠りへのこだわり』

別館客室はシャンパンゴールドのファブリックとゼブラウッドを基調とした、スタイリッシュで都会的な雰囲気。客室ごとに設定できるマルチエアコンで快適な室温に。ベッドはシモンズ製、枕はロフターを導入しお客様を快眠へと導く。



【宴会・イベント】

心に残る『宴』を演出致します

大・中・小宴会場（和・洋室等）

10名様～400名様迄ご用意しております。

認定講師によるテーブルマナー教室も承ります。

【ウェディング】

『驚きと感動』はここから始まる・・・

ホテル最上階に最大100名収容できる荘厳なチャペルラフィーネ。太陽光まで計算された巨大なステンドグラスは、式場内を美しいステンドグラスの紋様を映し出します。

ホテル最上階のエレベーターを降りればそこは光の雲の上。扉を開ければガラス張りの壁から太陽の光が注ぎこむ。白を基調とした神殿は、古き良き和の伝統をモダンに進化させたスタイル。厳かな中にも、自然光の織り成す爽やかでアットホーム感の有る式場「天空の神殿」ルミナス。

【お食事】

・日本料理 吉長

厳選された食材を和匠が「超絶」に仕上げる

蔵をモチーフに、高級感溢れる完全個室8室、木の温もりに包み込まれるテーブル席（26名）用意



・鉄板焼 旬

ホテル最上階の絶景、旬の食材を五感で愉しむ

絶景カウンター10席、個室1室（5名）でシェフがお客様の目の前で調理し、直接おもてなし致します。



・創作ダイニング カメリア

ガーデンのあるカジュアルな洋食レストラン

テーブル席54席。クラシカルカントリー風のおしゃれで開放的な店内。リーズナブルで美味しい創作ダイニングです。



株式会社 COCOLAND

所在地：宇部市上宇部 75
電 話：0836-33-6116

スポーツ&リゾート
ここにのこる森のホテル



【企業データ】

代表取締役：山崎 和博
創 立：2009 年 10 月 13 日



【理念】

食・遊・知・健・絆
お客様と地域から愛され 必要とされる
COCOLAND を目指します。

【ご挨拶】

ココランドは、眼下に雄大な常盤湖、周りは自然あふれる緑に囲まれた、ホテルとスポーツ施設を併せ持つ都市型複合リゾート施設です。

地元食材を中心とした旬の味を盛り込んだ会席料理を始め、2020 年 4 月にリニューアルオープンしたランチバイキングでは、日替わりで様々な料理をご準備しております。

スポーツ施設は、夏季の屋外プール、フットサルコートや体育館、ゴルフ練習場を有し、一年中様々なスポーツをお楽しみ頂け、合宿等での利用も好評を頂いております。

スタッフ一同、お客様への笑顔とおもてなしの心を大切に、皆さまのお越しをお待ちしております。

総支配人 末益克行

【沿革】

1982 年 4 月	設立時は「厚生年金休暇センター」。 途中で「ウェルサンピア」に改名
2009 年 10 月	株式会社 COCOLAND を創立
2019 年 10 月	【創立 10 周年】

【スポーツ施設】

ココランドでは、夏季の屋外プールを始め、フットサルコートや体育館・ゴルフ練習場を有し、一年中様々なスポーツをお楽しみ頂けます。

また、合宿等のご予約も承っております。

《野外レジャープール》



《体育館》



《ゴルフ練習場》



《フットサルパーク》



【食事】

ココランドでは、お昼のランチバイキングや季節のメニューなど旬の味をご賞味頂けます。和食の料理長がお客様の笑顔とおもてなしの心を大切に、地元食材を大切にしたお料理で皆さまのお越しをお待ちしております。

《レストラン 湖畔》



《割烹つきまち》



《カフェ アローム》

【客室】

眼下には雄大な常盤湖、周りは緑に囲まれた自然あふれる景色。お部屋は、観光はもちろんグループやご家族とゆったりお過ごしいただける和室から、出張・会議などビジネスでのご利用に、御気軽にご宿泊いただける洋室タイプまで様々なお部屋がございます。ココランドならではの自然に囲まれたお部屋で、ゆったり流れる時間をお過ごしください。



【温泉・大浴場】

日常とは違う広々とした大浴場、たくさん汗を流して血行促進に最適なサウナルーム 家族や仲間と



プライベートでのんびり、ゆったりできます。また、光明石を使った人工の温泉ですので、神経痛、リウマチ、腰痛、痔、冷え性、肩のこり、産前産後の冷え性、疲労回復などの効果があります。日頃の疲れをゆったりと癒しませんか？

【館内施設】

ココショップ



カラオケルーム



キッズランド



【宴会場・会議場】

大人数から少人数、洋室及び和室の会場をご用意しております。



【ウェディング】

森と湖、空と海に抱かれて
お二人だけの幸せのステージへ
笑顔が広がる・・・

完全オリジナル wedding を演出します



琴崎産業 株式会社

所在地：宇部市大字川上字上白石 133-1
電 話：0836-21-1134

創業 70 年の歴史に裏打ちされた輸送の強み

【企業データ】

代表取締役社長：高井 良久

資本金：1700 万円

従業員：85 人

創 業：1947 年（昭和 22 年）5 月

設 立：1963 年（昭和 38 年）5 月



【理念】

輸送事業を通じて 全社員の幸せを追求し
世の信頼を得て社会の発展に貢献すること

【社是】

至誠為宝 （至上のまごころ、之宝なり）

【代表者挨拶】

弊社は 1947 年（昭和 22 年）の創業以来、山口県宇部市に本拠を構えています。

宇部市を守護する産土（うぶすな）神社である『琴崎八幡宮』の袂で運送業を主業とし成長してきました。

お客様の様々なニーズに対応できるよう自動車運送事業、構内物流事業、車両架装事業に対応できる 3 つのグループ会社と福岡・北九州・熊本に営業所を有しております。

社是である『至誠為宝』にあるように我々のまごころは常に安全を確保しお客様の要求に応えていくことであると考えています。

『安全・安心・環境』の 3 つを永遠の課題として取り組み事業を継続していくことがお客様の信頼を生み我々の発展につながっていくものと信じています。

また、安全意識向上のため琴崎八幡宮での月例祈願や弊社敷地内に御稻荷様を祀っています。

安全に商売をさせていただいていることに感謝の気持ちを持ち続けます。

代表取締役社長 高井 良久

【企業のあゆみ】

1947 年	5 月	宇部市神原町で運送業を創業
1951 年	2 月	特定貨物自動車運送事業免許
1963 年	5 月	琴崎産業株式会社に法人化
1965 年	5 月	一般区域貨物自動車運送事業免許
1981 年	3 月	厚東運輸(株)設立（現：長州貨物）
1981 年	6 月	重機部設立しクレーンリース業へ
1989 年	5 月	琴崎デリバリー(株)、琴崎重機(株)設立
1989 年	11 月	琴崎産業福岡営業所開設
1993 年	11 月	(株)ケー・ワイ・エス設立し北九州進出
1999 年	10 月	琴崎産業北九州営業所開設
2003 年	6 月	『富士の湧水』販売開始
2005 年	8 月	(有)山陽特殊架装自動車設立
2008 年	5 月	琴崎重機を琴崎産業に合併
2008 年	5 月	ケー・ワイ・エスを長州貨物に合併
2012 年	9 月	長州貨物熊本営業所開設
2016 年	3 月	宇部市川上に本社移転
2017 年	5 月	【創業 70 周年】
2019 年	12 月	重機部を閉鎖

【沿革】

1940 年代、創業者である高井良明が宇部興産株式会社窒素工場（現在のケミカル工場）を退職し場内の構内作業・構内物流の請負業として創業。

その後、自動車運送に進出し工業薬品タンク・高压ガスボンベからタンクローリー輸送へと大型化。一般貨物輸送、クレーンリース業、自動車架装業へと取扱品目を拡大し現在に至る。

【業務内容】

琴崎産業グループでは、多岐に渡ってサービスを展開しています。

- 一般貨物自動車運送事業部
- 高压ガス・毒物劇物輸送事業部
- 構内物流事業部
- 産業廃棄物運送事業部
- 自動車架装事業部
- 『富士の湧水』山口県代理店



現在の社屋（2020 年）



神原町にあった創業当時の社屋（1960年代）

長州貨物株式会社

一般貨物運送、構内物流請負

1981年 厚東運輸（株）設立

1993年 ケー・ワイ・エス設立（現、北九州営業所）

2012年 熊本営業所設立

アクア事業部

山口県販売代理店：ご自宅まで配送いたします。



琴崎デリバリー株式会社

構内物流請負、ダンプ・トラクタ輸送

1989年 琴崎デリバリー（株）分社し設立

2012年 一般貨物自動車運送事業許可

有限会社山陽特殊架装自動車

トラックボディー制作・修理・板金

2005年 山陽特殊架装自動車設立



株式会社 西京銀行

【シンボルマーク】



一人でも多くのお客さまに
「さすが西京」のサービスを

本店所在地 : 周南市平和通 1 丁目 10-2
電話 (代表) : 0834-31-1211

【宇部市内店舗】

■ 宇部支店

取締役 宇部地区統括部長兼宇部支店長：畑谷 剛

従業員：19名（2020年8月31日現在）

設 立：1944 年 2 月 1 日

■ 厚南支店

厚南支店長：勝本 嘉明

従業員：15名（2020年8月31日現在）

設 立：1974 年 4 月 10 日

■ 恩田支店

恩田支店長：宮本 勲

従業員：22名（2020年8月31日現在）

設 立：1984 年 11 月 27 日

【企業理念】

ACT—BANK

ACT の意味あい、銀行としての役割を行動で演じ
ることは勿論、

A

ctive BANK
地域を活性化する銀行

C

ommunication BANK
お客さまとのコミュニケーションを大切にする銀行

T

rend BANK
時代のニーズを先取りし創造していく銀行

以上 3 つの言葉を組み合わせて意味あいを深めて
います。

SAIKYO の A の線の変化は、CI 基本理念である ACT—
BANK（アクティブ＝活性化、コミュニケーション＝
お客さまとのふれ合い、トレンド＝時代の先取り）
を表現し、お客さま・地域社会・西京銀行の三者が
一体となって発展する願いがこめられています。
コーポレートカラーは、ストロングブルー（愛称：
西京ブルー）で新鮮さ、未来性、先進性を表現して
います。

【ご挨拶】

西京銀行は、中期経営計画の長期ビジョンである

「地域に根差した中小・小規模事業者さまと個人の
お客さまのための銀行」の実現に向けた施策に積極
的に取り組んでおります。

宇部地区では、地区統括母店である「宇部支店」を
中心に、3 店舗を展開しております。「厚南支店」は
宇部西地区の基幹店として営業を行っており、「恩田
支店」は 2019 年 1 月にリニューアルオープンいたし
ました。どの店舗も「金融を通じて地域の皆さまのお
役に立つ」というミッションのもと、日々活動してお
ります。

当行はこれからも、地域の課題解決を通じて、地域
と共に成長する銀行を目指し、弛まぬ努力を続けて
まいります。今後とも、より一層のご愛顧を賜りま
すようお願い申し上げます。

【業務内容】

- 預金業務
- 貸出業務
- 内国為替業務
- 公金取扱業務
- 公共料金等各種料金の取扱業務 他

【沿革】

➤ 宇部支店（地区統括母店）

1944 年 2 月 1 日	宇部市大字中宇部字沖ノ山 6 番地の 4 に、山口無尽株式会社宇部支店開設
1946 年 1 月 6 日	宇部市大字小串字沖ノ山 64 番地の 5 に移転
1951 年 8 月 19 日	宇部市大字小串字松浜 105 番地に移転
1957 年 2 月 4 日	宇部市北町 2 丁目 2 番の 2 に新築移転 ※住所表示変更 宇部市中央町 1 丁目 5 番 14 号



▲宇部支店（現在の写真）

山口無尽株式会社、山口相互銀行を経て、現在の西京銀行株式会社へ。宇部支店は無尽会社、相互銀行、普通銀行の変遷を経験した、歴史ある店舗です。

➤ 厚南支店

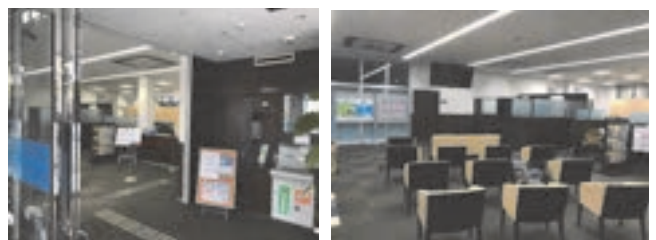
1974 年 4 月 10 日	宇部市大字妻崎開作字崎 868 番地の 2 に支店開設
2002 年 10 月 21 日	宇部市大字妻崎開作 454 の 1 に新築移転
2011 年 12 月 19 日	増床し、全面改装リニューアルオープン



▲厚南支店（現在の写真）

➤ 恩田支店

1984 年 11 月 27 日	宇部市恩田町 2 丁目 22 番 39 号に支店開設
2019 年 1 月 15 日	宇部市恩田町 4 丁目 2 番 9 号に新築移転



▲恩田支店（上：外観、左下：ATM コーナー、右下：ロビー）



▲新築移転オープンセレモニーの様子

オープン当日はセレモニーを開催し、久保田宇部市長さま、宇部商工会議所前会頭安部さまなどにご列席いただきました。さらに、新築移転オープン記念として、キャンペーン定期預金も発売いたしました。新店舗は広く停めやすい駐車場を確保し、全自動貸金庫や相談ブースなども設置され、ゆとりをもって金融相談いただける店舗に一新しました。

株式会社 櫻井葬儀店

所在地：宇部市明治町一丁目 9-5
電 話：0836-21-0360

宇部市で一番歴史の長い葬儀社

【企業データ】

代表取締役：櫻井 正明
資本金：2,300 万円
創 業：1908 年
設 立：1961 年 12 月 9 日



宇部市民斎場

【ご挨拶】

さくらに愛を込めて

弊社は 1908 年(明治 41 年)に創業をしてから 110 余年。この山口県宇部市を中心に地域の皆様のご支援を頂き、ご葬儀のお手伝いをさせていただけてまいりました。

時代は明治、大正、昭和、平成、そして令和に入りご葬儀の形も大きく変化をしてきました。弊社では、これまでの葬送文化を絶やすことなく、先人たちの想いを引き継ぎ、お客様に寄り添い、時代とともに求められるニーズにお応えをする企業を目指しております。

また、故人様の「想い」がいつまでもご家族をはじめ多くの皆様の心の中に生き続ける。そのような人生最後のセレモニーを、これからも今まで培ってきた経験と知識で提供してまいります。

故人様にもご家族にも市民の皆様すべてに、愛を込めて社員一同これからも皆様のご葬儀をお手伝いさせていただきます。

代表取締役 櫻井 正明

【沿革】

1908 年	創業者 櫻井多美一
1961 年 12 月	有限会社櫻井葬儀店 設立 代表取締役に櫻井一徳
1974 年 6 月	宇部小野田新生活互助会 開業
1978 年 12 月	宇部市港町に 宇部市民第一斎場 出店
1993 年 11 月	旧小野田市に光雲閣斎場 出店
1995 年 11 月	宇部市港町に 宇部市民第二斎場 出店
1996 年 1 月	宇部市民第一斎場 拡張改装工事
1998 年	代表取締役に櫻井正明就任
1999 年 11 月	株式会社へ組織変更
2008 年 1 月	宇部市東岐波に ファミリー東岐波 出店
2008 年 11 月	有限会社櫻井装飾と合併 資本金 2300 万円に増資 【創業 100 周年】を迎える
2012 年 8 月	北九州市小倉南区に ファミリー徳力 出店
2013 年 12 月	宇部市西宇部南に ファミリー西宇部 出店
2017 年 11 月	株式会社ワン・ハートを設立 代表取締役に櫻井知徳就任
2018 年 6 月	宇部市下条に ファミリー小串 出店
2021 年 1 月	北九州市小倉北区に ファミリー到津 出店

【特長】

創業 1908 年。

歴史と伝統に培われた葬儀品質。

ご家族の大切なお別れを

見守り続けて 1 世紀

ご家族に安心を

内容が明確な葬儀プラン

ご家族のすぐそばに

宇部・小野田に 6 つの葬祭ホール

“もしも “の時はお電話下さい
24 時間 365 日対応致します

0836-21-0360

株式会社 櫻井葬儀店

【斎場】



宇部市民第一斎場 宇部市港町 2-4-2
収容：～350 名 駐車場：250 台



宇部市民第二斎場 宇部市港町 2-4-2
収容：～150 名 駐車場：250 台



ファミリーマート東岐波 宇部市大字東岐波 5643-1
収容：～100 名 駐車場：51 台



ファミリーマート西宇部 宇部市西宇部南 2-12-37
収容：～80 名 駐車場：30 台



ファミリーマート小串 宇部市下条 1-1-6
収容：～50 名 駐車場：25 台



光雲閣斎場 山陽小野田市大字小野田 7026
収容：～100 名 駐車場：80 台



ファミリーマート徳力 北九州市小倉南区徳力 1-12-11
収容：～100 名 駐車場：21 台



ファミリーマート到津 北九州市小倉北区上到津 3-1-10
収容：～50 名 駐車場：15 台

株式会社 ササキコーポレーション

所在地：宇部市港町 1 丁目 13-5

電 話：0836-21-8181

www.sasakico.jp

人と乗り物の調和を提案する 90 年企業



【企業データ】

代表取締役社長：佐々木 勝吉

資本金：4,250 万円

従業員：66 名

設 立：1930 年（昭和 5 年）4 月



【経営理念】

《顧客に対する責任》

質の高い製品・サービスで

顧客一人一人に応えなければならない。

《社員に対する責任》

社員一人一人を尊重し

尊厳と評価を認めなければならない。

《社会に対する責任》

良き市民として有益な社会事業及び
福祉に貢献しなければならない。

《株主に対する責任》

健全な利益を生み

還元しなければならない。

【ご挨拶】

当社は、2 輪、ボート、ヨット、電動車イスといった、海・陸の乗り物を通じて、人々の暮らしに豊かな喜びと夢を贈り、人と乗り物の調和を常に提案し社会に貢献することを目的としています。

時代をリードする、それらの製品をお届けすること、そして常にライフスタイル の頂点を見極め、人々に安心と満足感をお約束することが、当社に課せられ

た使命であると認識しております。

私どもは、たゆまぬ洞察力と想像力に基づき、より質の向上を計りながら、困難な仕事にチャレンジし目的の実現に邁進しています。



佐々木 勝吉

【法人のあゆみ】

1930 年 佐々木源蔵が個人企業として輸入オートバイなどの修理業を開始。その後、日本自動車(会社の輸入販売元)東京及びハーレーの特約店としてオースチン(四輪)やハーレー(二輪)等の販売整備を行う。戦時中は国の指導により、自動車などの修理業者は企業統制を要請され、佐々木源蔵が、推されて組合会長となり業界統制がなされ、終戦後にはこれが解除され各々の企業に復した。



1943 年 ダイハツ三輪車の販売整備も兼ねて行う。

1948 年 事業発展に伴い、有限会社佐々木モータースに改組。



1950 年 寿町に整備工場を新設し、認証工場として大々的に整備業を開始

1956 年 ヤマハ発動機(株)と特約店契約(ヤマハの特約店 1 期店)を行い本格的にヤマハオートバイの販売を開始。



1957 年 佐々木モータース株式会社に改組。本社およびオートバイ展示場を宇部新川駅前に新築、事業拡大を図る。

	
1961 年	ヤマハ船舶商品開発に伴い船舶事業部を新設。
1968 年	四輪事業部新設と同時に、本社を南浜町に新築移転。
1970 年	社長佐々木源蔵が勲五等瑞宝章受章。(山口県業界に永年貢献した為)
1971 年	宇部港内に宇部マリーナ開設。 
1972 年	初代社長佐々木源蔵 会長に就任。 二代目社長佐々木吉雄社長に就任。
1975 年	会長佐々木源蔵死去 78 歳。従六位受勲。
1988 年	二代目社長佐々木吉雄 会長に就任。 三代目社長井上昭二就任。
1994 年	SHIZUKI マリーナ開設。 
1997 年	二代目社長佐々木吉雄死去 78 歳。 四代目社長佐々木勝吉就任。
2001 年	福祉事業部新設。 福岡マリンセンターマリノア開設。
2002 年	福祉松江営業所開設。四輪事業部閉鎖。
2007 年	社名を株式会社ササキコーポレーションに変更。博多港開発(株)より西福岡マリーナの運営業務を受託。
2013 年	福祉福岡営業所開設。
2014 年	福岡市より博多港開発(株)と共に福岡市ヨットハーバーの指定管理者として業務を受託。
2015 年	北九州埠頭(株)より新門司マリーナの業務を受託。
2016 年	本社社屋を現在地に新築移転、UBE マリーナを現在地に新築。

2019 年 11 月 株式会社ナガサキサンセットマリーナをトヨタ自動車より経営権取得子会社にする。
佐賀県より佐賀ヨットハーバーの指定管理者として業務を委託。

2020 年 【設立 90 周年】

【事業内容】

次の製品及びその部品並びに付属品の卸・販売・修理・レンタル

モーターサイクル部門

自動二輪・スクーター・電動自転車・逆輸入車/モーターサイクルライフのクリエイト

マリン部門

ボート・ヨット・マリンジェット・船外機・マリンエンジンの販売・修理・保管、ボート免許、レンタルボートを含む、マリンライフの総合コンサルティング

福祉部門

電動車いすのレンタル・販売

【事業部】

マリン事業部



フィッシング情報・クルージング情報など 多くのマリン情報を持ったベテランスタッフが皆様をエスコートします。

艇置はもちろん、ボート免許講習、舟艇販売(常設新艇・中古艇展示コーナーも併設)・メンテナンスを行っております。ボートオーナーの方々の様々な要望に応えるスタッフと施設、設備、情報が揃っています。

UBE マリーナ 宇部市港町一丁目 13-7



SHIZUKI マリーナ
萩市堀内西の浜



海の中道マリーナ&テニス
福岡市東区西戸崎 18-25



マリンセンター マリノア
福岡市西区小戸二丁目 11-1



新門司マリーナ
北九州市門司区新門司北二丁目 1 番地



西福岡マリーナ マリノア
福岡市西区小戸二丁目 11-1



別府港北浜ヨットハーバー
別府市北浜一丁目 818-386



福岡市ヨットハーバー
福岡市西区小戸三丁目 58-1



宮崎マリーナ
宮崎市新別府町前浜 1400-16



長崎サンセットマリナー

長崎市福田本町 1892 番地



出島ワーフ

長崎市出島町 1-1



モーターサイクル事業部



自動二輪・スクーター・電動自転車・逆輸入車など
モーターサイクルライフのクリエイト、ヤマハオート
バイ山口県総代理店として地域のお客様のパワー
アシスタントをご提供させていただいております。
国産・輸入車自動二輪、スクーター、電動自転車等、
多岐にわたる製品を取り扱っております。

福祉事業部

人と乗り物のあたらしい調和を提案し独自の発想と
力と技で、乗り物の限らない未来を導いています。
本社、福祉レンタル事業部は山口県全域、島根県「松
江営業所」は島根県/鳥取県全域、福岡県「福岡営業
所」は九州北部を中心に対応させていただきます。

- 本社 福祉事業部 宇部営業所
宇部市港町一丁目 13-5
ヤマハオートバイ山口県総代理店として地域のお
客様のパワーアシストを提供しています。また、専
門スタッフが介護保険を利用したの**電動車椅子**
のレンタルを行っています。
- 福祉事業部 松江営業所
松江市西川津町 628-9
「自操用」「介助用」の**電動車椅子**など専門ス
タッフが介護保険を利用したのコンサルティング・販
売・レンタルを行っています。
- 福祉事業部 福岡営業所
福岡市東区多の津四丁目 2-43
「自操用」「介助用」の**電動車椅子**など専門ス
タッフが介護保険を利用したのコンサルティング・販
売・レンタルを行っています。



「電動車椅子」は安全運転指導の実績が評価され
警察庁より表彰も受けています。



サンヨーコンサルタント株式会社

所在地：宇部市大字西岐波宇部臨空頭脳パーク 8 番
電 話：0836-54-0200 FAX：0836-54-0181
E-mail：info@sanyo-ct.co.jp
URL：http://www.sanyo-ct.co.jp/

「共存・同栄」の精神のもと、
技術を磨き、地域に貢献する



【企業データ】

代表取締役：花村 浩史

資本金：2000 万円

従業員：74 名（2021 年 1 月現在）

設 立：昭和 31 年（1956 年）2 月 11 日



支 店：熊本県熊本市東区

営業所：萩、下関、山口、防府、周南、山陽小野田
長門、岩国、美祢、柳井

【営業登録】

測量業、建設コンサルタント、地質調査業、補償コンサルタント、建設業（国土交通大臣許可）、土壌汚染対策法に規定する指定調査機関

【理念】

地域社会への貢献

地域社会への貢献建設コンサルタントとして、高い技術力と幅広い知識を基に、社会資本の維持・整備を通じ、安全・安心・快適な地域づくりに貢献します。

共存・同栄の精神

共存・同栄の精神企業と、それを取り巻くあらゆる人々が共生し、等しく栄えることを目指し、社員を大切にする職場づくりに努めます。



品質と技術の向上

品質と技術の向上技術者集団として、専門知識や新しい技術の取得を目指し続けます。



【ご挨拶】

サンヨーコンサルタント株式会社は 1956 年の創立以来、山口県の総合建設コンサルタントとして社会資本の整備に携わり、地域社会への貢献を目指しながら成長してまいりました。1977 年には熊本支店を開設し、営業エリアを拡大しております。これもひとえに、皆様方の永年にわたるご支援とご指導によるものと深く感謝申し上げます。

「平成」が終わり「令和」という新たな時代が始まりました。人口減少と少子高齢化、財政の悪化、高度情報化等々大きく社会経済の情勢が変化しています。私たちが担う社会基盤整備の場においても、担い手不足に対応するための生産性向上、労働環境改善を目指した働き方改革、国土強靱化や防災・減災への対応、インフラの長寿化対策など、私たち建設コンサルタントの役割や領域の拡大・多様化が求められています。

弊社はこれらに応えるべく、様々な新しい設備や技術を積極的に取り込んでいくほか、若者や女性の技術者育成と技術の継承に努め、「共存・同栄」という企業理念のもと、働きやすい職場環境づくりにも力を注ぎ、魅力ある企業への成長をめざして、邁進してまいります。



代表取締役 花村 浩史

【企業の歩み】

1956 年 2 月	山陽開発工業(株)設立 (本社:宇部市琴芝町)
1964 年 3 月	山陽測地(株)設立 (本社:宇部市常藤町)
1972 年 12 月	サンヨーコンサルタント(株)に商号 変更（山陽開発工業(株)と山陽測地 (株)の合併により） 資本金 650 万円（本社:宇部市新天 町）
1973 年 7 月	本社を宇部市恩田町に移築移転
1977 年 12 月	熊本支店開設

1979年 6月	資本金 2,000 万円に増資
1981年 9月	下関営業所開設
1985年 3月	萩営業所開設
1987年 4月	防府営業所開設
1988年 4月	山口営業所開設
1996年 12月	本社を宇部市西岐波（現在地）に新築移転
2001年 1月	品質マネジメントシステム（ISO9001）の認証を取得
2005年 4月	サンヨーPFI インベストメント㈱設立 PFI コンサルタント事業部開設
2006年 2月	【設立 50 周年】
2006年 9月	「SPC」金岡単身寮 PFI㈱代表企業として設立
2007年 4月	周南営業所開設
2008年 3月	「SPC」伏見住宅 PFI㈱代表企業として設立
2009年 3月	「SPC」方南住宅 PFI㈱代表企業として設立
2012年 4月	山陽小野田営業所開設
2012年 10月	「SPC」山口宇部ソーラー㈱代表企業として設立
2013年 9月	「SPC」宇部東メガソーラー㈱代表企業として設立
2013年 11月	長門営業所開設
2014年 12月	60 周年記念祝賀会 
2015年 4月	サンヨーPFI インベストメント㈱を合併
2016年 3月	岩国営業所開設
2018年 6月	美祢営業所開設
2018年 11月	環境マネジメントシステム（ISO14001）の認証を取得
2019年 4月	柳井営業所開設

【事業内容】

《測量部門》

地籍測量、用地測量、基準点測量等、公共事業を主体に手掛けてまいりましたが、民間業者の皆様からの要請も多く、開発申請や土地家屋調査、近年ではメガソーラー事業の測量にも従事させて頂いております。アナログからデジタル化へそして3Dへと時代の流れは著しく変化しております。そこで私達は、人口衛星を使ったGPS測量、トータルステーション、ドローンによる写真測量、あるいは3Dレーザースキャナーといった、常に新しい技術と機械を導入し、時代のニーズに応えるべく、日々研鑽しております。

《建設コンサルタント部門》

《建設コンサルタント部門》

道路計画及び補修計画、橋梁設計、下水道事業、河川改修事業、砂防河川及び堰堤事業、地すべり対策事業、ほ場整備事業、治山事業、浸水対策事業等、公共性が高く、地域に密着した事業を手掛けてまいりました。今では防災対策としてインフラ点検、橋梁耐震補強設計、急傾斜対策設計、ため池耐震設計等も対応するなど、時代のニーズに応えるべく日々精進しております。土木構造物の設計照査を含め土地造成、施工管理等土木全般に関しても対応しております。

《地質調査部門》

基礎地盤を調査・解析し、大規模構造物、マンション、個人住宅等の構造物建設、維持修繕に必要な資料を作成しています。また、道路整備事業、地すべり対策、急傾斜地崩壊対策等、公共性が高い分野においても、地域活性化及び災害対策に貢献してまいりました。今では環境汚染対策として、土壌汚染調査、地下水調査、物理探査等も行い、長年の経験から蓄積してきた地域に関する知識を活用しております。

《補償コンサルタント部門》

建物等調査算定業務、建物調査業務、工損算定業務等、公共発注の業務を中心として、コンサルタントを行っております。

《PFI コンサルタント部門》

PFI（Private Finance Initiative）とは、これまで官公庁が行っていた公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。

当社はその代表企業として入札に参加し、公務員宿舍の整備事業等のプロジェクト主導実績を構築しております。

【目指す会社像】

- ・優れた技術で高品質なサービスを提供する信頼された企業
- ・誰もが「働きたくなる」魅力あふれる企業
- ・多様化する社会に柔軟に対応し、成長し続ける企業
- ・社員全員がより高いパフォーマンスの発揮を目指すとともに、常に改善・改革を実行していく企業



三和興産 株式会社

所在地：宇部市文京町 2 番 17 号

電 話：0836-33-5858

情報社会の実現に

貢献し続ける企業



【企業データ】

代表取締役会長：宮本 秀夫

資本金：1,000 万円

従業員：81 名

(グループ全体：212 名、2020 年 2 月 29 日現在)

設 立：1983 年（昭和 58 年）10 月 26 日

建設業許可：電気通信工事業 国土交通大臣（般-27）
第 26076 号

グループ企業：株式会社三和システム、三和 A&M 株式会社

【理念】

豊かで快適な情報社会の実現に貢献する。



【ご挨拶】

1983 年（昭和 58 年）設立以来、これまで弊社と社員を支えて下さった方々に、心から感謝を申し上げます。

弊社はこれまで、法人のお客さまへは、通信機器の導入によるオフィスの IT 化のお手伝いを、個人のお客さまへはケータイやスマートフォンを通じた IT 関連サービスのご提供をして参りました。

法人ビジネスの市場では、最新のテクノロジーを活用した生産性の向上などの課題解決が進んでおりますが、地域の中小企業様や病院、介護事業所様の

中には そのテクノロジーの活用にお悩みのケースも少なくありません。

弊社では、そういったお客様の課題を IT 関連機器のご提供を通じて、解決して参りたいと考えています。

個人のお客さまへは、ケータイショップを通じて、スマートフォンやタブレットなどを活用し、人々をつなぎ、安心・安全で豊かなライフスタイルをおくれるよう、お手伝いをしていきたいと考えております。

結びに、これからも弊社は社員一人一人が、自己研鑽に励み、IT 関連の知識や接客スキルを磨く事で、地域のお客さまのお役に立って参りたいと考えておりますので、皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 宮本 崇

【企業のあゆみ】

1983 年	三和興産株式会社設立 通信機器・OA 機器販売を主とする
1994 年	携帯電話・ポケットベルの取扱開始
1995 年	県内初の本格的な携帯ショップとしてマルチメディア宇部店をオープン
1996 年	有限会社三和システム設立 移動体部門を分離
1996 年	有限会社エムティーシステム設立
2000 年	株式会社三和システム広島地区に au ショップを展開
2001 年	三和興産株式会社 宇部事業本部を開設
2002 年	三和興産株式会社 シャープ（株）とのドキュメント事業発足
2003 年	株式会社三和システム 島根地区フランチャイズ展開
2004 年	三和興産株式会社 宇部市居能町に本社を移転 NTT ドコモとの契約締結
2006 年	株式会社三和システム 広島支社を開設

2008 年	三和興産株式会社 広島情報通信事業部を開設
2011 年	三和興産グループ本社を統合移転
2014 年	株式会社三和システム ワイモバイルショップを展開
2015 年	三和興産株式会社 広島情報通信事業部及び 株式会社三和システム 広島事業本部を移転
2017 年 9 月	三和 A & M 株式会社 UQ スポット を展開
2018 年 10 月	三和興産株式会社 株式会社福本電 気通信社を吸収合併

【事業内容】

〔携帯販売事業〕 docomo ショップの運営

弊社は、docomo 正規代理店として、宇部、山陽小野田、下関の三市でドコモショップを運営しています。各店舗の窓口を通じて、お客様のメリットを第一に考えたサービスや料金プランのご提案を行います。

技術の最先端を行く携帯電話を提供することで、皆様の生活の利便性を高め、携帯電話に対する満足だけでなく、お店の顔であるスタッフ一人ひとりが商品となれるよう心がけております。

〔法人 OA 機器販売事業〕

- ・ビジネスホン、交換機
- ・シャープ、京セラなどのカラー複合機
- ・ナースコールシステム
- ・タッチパネル一体型ディスプレイ
- ・ネットワークカメラ
- ・UTMを始めとするセキュリティ機器
- ・デジタルサイネージ（電子看板）

などの製品を取り扱い、システムの提案、施工、保守メンテナンスを行っています。

快適で効率の良いビジネス環境を実現するために、弊社はあらゆる角度からお客様の現状を把握します。そこから新たな設備・情報・通信システムを設計し、コスト削減へと繋がるオフィスシステムを構築いたします。

お客様の経営効率向上のパートナーとして、多彩なオフィスシステムをご提案いたします。

【事業所在地】

本社／宇部市文京町 2 番 17 号

宇部事業本部／宇部市文京町 2 番 17 号

広島事業部／広島市中区宝町 5-15 三和興産ビル

松江営業所／松江市矢田町 168-6 技術センター

技術センター／宇部市居能町 3 丁目 1 番 31 号

【将来】

これからも弊社は、「お客様の立場に立ち、お客様の目線で」を心掛け、更なる利便性を追求して、「お客様の最適」を提供していく所存です。また、「三和興産にできること」を増やし続け、お客様のニーズを掴み、課題を解決し、お客様が永続的に繁栄していくためのサポートをしたいと願っています。



【グループ企業】

〔株式会社三和システム〕

本社所在地：宇部市文京町 2 番 17 号

広島事業本部：広島市中区宝町 5-15 三和興産ビル

設 立：1996 年 1 月 17 日 有限会社三和システム

2000 年 2 月 21 日 株式会社三和システム

業務内容：au モバイル事業

〔三和 A&M 株式会社〕

所在地：宇部市文京町 2 番 17 号

設 立：

1999 年 9 月 17 日 有限会社エムティーシステム

2004 年 7 月 22 日 株式会社エムティーシステム

2016 年 2 月 22 日 三和 A & M 株式会社

業務内容：UQ モバイル事業



株式会社 島田工務店

所在地：宇部市小松原町二丁目4番18号

電話：0836-31-5050

『人が集い暮らす空間に、潤いと安らぎを』

【企業データ】

代表取締役：島田政明

資本金：2,000万円

創業：1921年（大正10年）4月10日

設立：1955年（昭和30年）8月18日

登録：

特定建設業：山口県知事許可(特-29)第1793号

一級建築士事務所：山口県知事登録(G)第1108号

宅地建物取引業：山口県知事(6)第2565号

所属団体：

山口県建設業協会

山口県建築協会

山口県建築士会

宇部市建築協会

全国土木施工管理技士会

宅地建物取引業協会

【理念】

『人がつくる、人が集う、人が暮らす』

自然を感じ、人に優しく思いやりのある建築物を造ることが私達の願いです。

「暖かい家づくり」&「深呼吸できる街づくり」を理念として邁進していききたいと思います。

【企業のあゆみ】

1921年 4月	島田組建築業創業
1955年 8月	有限会社島田工務店を設立
1959年 4月	建築士事務所登録
1960年 3月	太平住宅(株)と専属工事店契約
1960年 6月	建設業者登録(建築一式工事)
1964年 6月	下関営業所開設
1972年 9月	株式会社島田工務店へ組織変更
1973年 7月	宇部市東須恵に作業場開設
1982年 6月	本社社屋改築
1984年 9月	2×4工法の施工開始
1995年 12月	アビリティシステム(ローコストマンション)販売開始
1998年 4月	カランホームとフランチャイズ契約の締結
2002年 6月	グループ会社(有)シマコーの設立
2003年 3月	ISO 9001 品質マネジメントシステム取得
2009年 3月	ISO 14002 環境マネジメントシステム取得
2009年 6月	OHSAS 18001 労働安全衛生マネジメントシステム取得
2021年 4月	【創業100年】

【沿革】

大正10年4月、島田直芳が島田組を創業し宇部市の住宅建築を手掛けていく。

大正12年9月、関東大震災の後、復興支援として関東の地へ赴くこととなった。

昭和30年8月、有限会社島田工務店を設立代表取締役に島田政男が就任。



『昭和34年頃、社会科見学の皆さんと』

昭和35年3月
太平住宅(株)と専属
工事店の契約。



『懐かしの三輪トラック』



『昭和35年頃、鶴ノ島小学校東側にある社屋』



『昭和38年頃、近隣の鶴ノ島小学校新校舎』

社屋の有る小松原町の辺りには、田んぼが広がり、自動車教習所もあった。

昭和14年4月に開校した(写真左上部)に『鶴ノ島尋常小学校』が写っている。現在では浜バイパスが通り、ずいぶん様子が変わっていることが伺われる。

昭和47年9月、株式会社に組織変更

昭和57年6月、本社社屋改築



『平成10年頃撮影、本社社屋』

区画整理により
一時、西梶返に
仮事務所を建設

区画整理完了後
昭和57年6月に
小松原町に戻る。

平成6年8月、代表取締役役に島田政明が就任

平成10年4月、カトランホームとフランチャイズ
契約の締結。後に恩田小学校前に展示場を建設



『平成13年12月頃、恩田展示場』

【事業内容】

《総合建設業》

宇部市・山口県等の公共施設(学校・体育館・集合住宅)や土木工事・舗装工事等の公共工事をはじめ、木造住宅・店舗・医院・アパート・マンションなどの新築・改修・リフォーム等の建築工事、造成工事や土木工事など幅広く設計・監理・施工をしている。

《宅地建物取引業》

賃貸物件の管理業務や宅地造成を手掛ける。

《損害保険代理業務》

東京海上日動火災保険(株)の代理店として損害保険の業務を行っている。

【将来】

お客様のニーズが多様化する現在、魅力あふれる品質の商品・サービスを提供すること、そして常に責任と自覚をもって努力すること、それが私たち社員一人ひとりが心掛けている姿勢です。

創業100年を迎えるにあたり、これまでの歴史を顧みると共に、これからも御客様に必要とされる会社であり続けたいと切に希望しております。

そして、若い世代の人材の成長に期待し育みながら、品質・環境・安全のマネジメントシステムを活用並びに実践することにより安心して快適な建設物を作ることで、そこに暮らす人々の笑顔に触れたいと思っています。



【宇部市市制施行100周年に寄せて】

令和3年(2021年)に市制施行100周年を迎えられると同時に、当社も創業100年を迎え、同じ年月を過ごしてきたことは、とても感慨深いものがあります。

それぞれの歴史の中で、100年という期間には多岐にわたる様々な変化があり、その時々に応じた動きや対応が必要であったと思います。

これから新庁舎も完成し、新たな体制のもと、ますます市民の皆様が必要とされる市制を期待いたしますと共に、私達も宇部の市制に積極的に参加・協力し、未来に向け、共に年月を過ごせるよう邁進して参りたいと思います。

『宇部市市制施行100周年
おめでとうございます』



『小野湖交流ボート大会に参加』

松月堂製パン 株式会社

所在地：宇部市今村北四丁目 25 番 1 号
電話：0836-51-9611

心を込めたおいしいパンづくり

【企業データ】

代表取締役：井上 守

資本金：4500 万円

従業員：290 人

創業：1934 年（昭和 9 年）8 月

設立：1953 年（昭和 28 年）8 月



【社是】

会社はお客様の為にあり、良品を市場に提供し、会社発展と共に社員の幸福と生活向上を図る。

【ご挨拶】

創業以来、「食べる楽しさ」を追求し、おかげさまで 85 年となりました。引き続き「笑顔と感謝を込め」おいしいパンを作り続けます。

代表取締役 井上 守

【企業のあゆみ】

1934 年	井上 政一郎個人創業（宇部市西岐波）
1953 年	法人設立 井上 薫 代表就任
1970 年	新工場建設（宇部市今村北） 直営店 1 号店 防府にオープン
1982 年	カトルセゾン本店（中央町）オープン
1984 年	【創業 50 周年】
1988 年	カトルセゾン下関大丸オープン
1994 年	井上 守 代表就任 宇部市内（西岐波・厚南）・長府・安岡・山口・萩・下松・光・新下関に、直営店オープン
2003 年	【設立 50 周年】
2019 年	【創業 85 周年】

【沿革】

1934 年（昭和 9 年）8 月、井上 政一郎が西岐波に創業。後に、1953 年（昭和 28 年）8 月、井上 薫が代表となって、法人を設立。以降、新工場を各地にオープンして、1984 年に創業 50 周年を、2003 年に設立 50 周年を迎えている。2021 年 8 月、創業 87 年目を迎える。

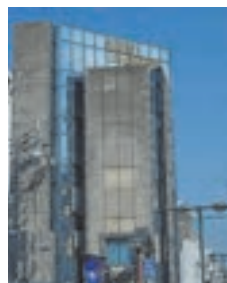


1970 年（昭和 45 年）当時の新工場

【業務内容】

製パン業（食パン・菓子パン）・洋菓子・和菓子・餅製造・リテールベーカリー直営

【直営店】 ー美味しい焼きたてパンのお店ー



←中央町カトルセゾン

↓新下関ドロシー



【将来】

松月堂のパンとして、県内を中心に、皆様にご愛顧いただいています。今後、永年培った、知識と技術を生かした新ブランド「Harry Simons」を立ち上げ、さらに県内外においしさを広めていきますので、お楽しみに・・・。



集合写真（2017 年 5 月撮影）

【商品ご紹介】



【松月堂の四季】

	食パン	菓子パン	洋菓子	和菓子	直営
オール シーズン					
正月					
春					
夏					
秋					
冬					

新川物流 株式会社

所在地：宇部市妻崎開作 1052 番地 1

電 話：0836-44-1212

セメント事業とあゆむ輸送で地域貢献

【企業データ】

代表取締役会長：河村 浩二

代表取締役社長：河村 靖彦

資本金：5,000 万円

従業員：60 人

創 業：昭和 45 年（1970 年）

【理念】

社会との共生

社会規範や礼儀を身につけた企業行動により、社会的責任を果たし、顧客や社会から評価される企業を目指します。

【ご挨拶】

弊社は、創業以来宇部興産(株)建設資材関連業務の協力企業として、運送業を営んでまいりました。

安全・確実な輸送を原点として、生産活動に貢献してまいります。

【企業のあゆみ】

昭和 45 年(1970 年)創業し、宇部興産株式会社のセメント事業の輸送業務に携わる。昭和 50 年（1975 年）、宇部興産専用道路開通に伴い、ダブルストレーラーにより伊佐セメント工場と宇部セメント工場間の石灰石及びセメント原材料の輸送を担い、安全かつ確実な輸送を目標としています。

他事業として、ドローンによる撮影や測量の他、災害対策や農林業におけるドローン活用の教育活動も手掛けております。また、自治体や警察・消防機関と連携を図り、地域に密着した活動を重要課題としております。

【業務内容】

宇部興産専用道路で大型特殊トレーラーによる石灰石及びセメント原材料の輸送

【沿革】

1970 年 7 月	新川運輸（株）創立
1971 年 4 月	美祢営業所開設
1973 年 3 月	15 トントレーラー導入
1974 年 8 月	西宇部営業所（現本社）及び車庫を開設
1978 年 7 月	45 トントレーラー導入 （伊佐～西沖間運行開始）
1982 年 3 月	70 トントレーラー運行開始 （伊佐～沖の山間運行開始）
1998 年 4 月	70 トントレーラー6 台美祢に移駐
2001 年 4 月	新川物流（株）へ社名変更
2002 年 4 月	80 トントレーラー導入
2017 年 8 月	空撮事業を開始
2020 年 7 月	【創立 50 周年】

【将来の抱負】

経営上、安全が基本であることを認識し、その確保と向上の努力を続けます。

社員は、主体性をもって仕事に取り組み、信頼や連携により全員が安心して働ける企業を目指します。



有限会社 カタヤマタイヤ

所在地：宇部市大字妻崎開作 484-6

電 話：0836-41-5630

小型から大型まで タイヤのプロ

【企業データ】

代表取締役：片山 博章

資本金：300 万円

従業員：6 名

創 業：1994 年（平成 6 年）1 月

設 立：1997 年（平成 9 年）8 月

【理念】

タイヤ関係のプロとしてお客様に役に立つこと
くかゆい所に 手をさしのべてあげる

【ご挨拶】

本店は、妻崎開作の大型商業施設のすぐ近くにあり、
タイヤ交換作業の間にお買物など時間を有意義に使
えます。また、大型車輛においてはスカイロード近
くに土地 600 坪・建物 70 坪の作業場があり、トレー
ラー 2 台がゆっくりと入ることができます。

タイヤでお困りのときは、電話一本で駆けつけます。

代表取締役 片山 博章

【企業のあゆみ】

1994 年 1 月	中野開作に創業
1997 年 8 月	有限会社カタヤマタイヤ
1999 年 9 月	妻崎開作 484-6 に社屋新築
2013 年 9 月	大型車専用作業場を増築
2014 年 1 月	【創業 20 周年】

【沿革】

1994 年 1 月前オーナーから井出タイヤ商会を受け
継ぎ、井出タイヤとして創業。1997 年 8 月法人に変
更する時に有限会社カタヤマタイヤに改名した。

【業務内容】

○小型車から大型車、産業車輛を対象

○タイヤ、ホイールの販売と交換作業、及びパンク
修理

○365 日 24 時間対応しています。

【本社】宇部市大字妻崎開作 484-6



【第二作業場】宇部市大字妻崎開作 1867-1



新光産業 株式会社

所在地：宇部市厚南中央二丁目 1 番 14 号
電 話：0836-45-1111

挑戦と革新 技術と信用が創る未来

【企業データ】

代表取締役社長：古谷 博司

資本金：3 億円

年 商：100 億円

従業員：330 名

創 業：1935 年（昭和 10 年）10 月 8 日

設 立：1964 年（昭和 39 年）2 月 1 日



【ご挨拶】

わが社は、戦前の 1935 年、ここ宇部での石炭採掘に端を発し、幾多の艱難を越えて、終戦からエネルギー革命、そして高度成長期を通じて、新たな技術と人材を積極的に取り入れつつ、事業の脱皮を繰り返しながら、建設、鉄構、機械の各事業部ならびに E I C ソリューション部を築いてきました。

今後、さらに現在の技術を深化させるとともに、新事業開発も進めていきます。また、地域に貢献する企業として、関係会社を含めた人の力を結集し、新光産業グループの総合力を発揮してまいります。

これからの多様化・高度化・国際化する時代に、成長し進化するためには、これまでの土台を、時代に適応して変えていくことが必要です。未知・未経験に挑戦する備えと勇気が、変える力の源となり、革新を生み出します。2035 年の創業 100 周年を目標にさらに進んでまいります。

代表取締役社長 古谷 博司

【沿革】

1935 年	中沖の山炭鉱創業（宇部式組合組織）爾来山口、福岡、長崎県下に 20 数炭鉱を経営
--------	--

1945 年	新光製作所新設（現・機械事業部）
	宇部新光製鋼所新設（旧・AMT 事業部）
1947 年	以上 2 事業所をもって宇部新光工業組合（宇部式組合組織）を組織
1949 年	大阪営業所開設
1956 年	同系地下部門 7 組合と合体して古谷鉱業株式会社に改組、資本金 2 億 4 千万円
1961 年	宇部新光製鋼所フランジ工場竣工
1962 年	建設事業部新設 九州営業所開設
1964 年	上記地上部門事業所を古谷鉱業株式会社から分離して新光産業株式会社設立、資本金 1 億 2 千万円 建設事業部鉄構工場新設 東京営業所開設
1965 年	古谷鉱業株式会社解散
1966 年	広島営業所開設
1967 年	アスファルト合材製造開始
1970 年	資本金を 2 億 4 千万円に増資
1974 年	資本金を 3 億円に増資
1978 年	本社事務所を居能町から厚南区中野口へ移転 鉄構工場を鉄構事業部として建設事業部から分離
	沖縄営業所開設
1979 年	建設事業部鉄構工場新設 東京営業所開設
1982 年	オーストラリアビクトリア州ヒート、トランスファー・ビューティワイ社とスピフレックス（熱交換器）の製作、販売につき技術提携
1983 年	ファインケミカル（F・C）エンジニアリング事業部を設置
1984 年	住宅用基礎鉄筋ユニットミレニアムベース製造販売を開始
1985 年	【創業 50 周年】
1992 年	セラミックス研磨加工棟竣工 本社新社屋新設
1995 年	妻崎寮新館新設
1996 年	防府営業所開設
2000 年	建設事業部にリフォーム専門店舗「リファイン際波」を開設
2002 年	鉄構事業部を建設事業部に統合
2003 年	ロトフロン加工ライセンスを取得し製造販売を開始
2005 年	機械事業部と AMT 事業部を統合し、機械事業部とする

	リファイン際波を株式会社クルスに統合
2009 年	メカトロ部を建設事業部から分離し、EIC ソリューション部を新設
2011 年	開発グループを機械事業部から分離し、新事業開発部を新設
2012 年	鉄構部を建設事業部より分離し、鉄構事業部を新設
2014 年	【設立 50 周年】
2020 年	EIC ソリューション部が本社事務所から西平原へ移転
2035 年	【創業 100 周年】

【事業紹介】

建設事業部

創業以来、数多くの官公庁、民間での工事实績を重ね、信用第一に施工技術の研鑽に努めてまいりました。建築・土木の各部門に、それぞれ高い専門性を持たせ、あらゆる工事における多彩なニーズに、高い技術をもって幅広くお応えすることで、地元山口県を中心に、西日本一帯に施工範囲を広げ、各方面より多大な評価を頂いております。

また、弊社では日鉄エンジニアリング(株) 九州スタンビルディング会に加盟し、システム建築『スタンパッケージ』の山口県内における施工代理店として、生産・物流施設建設において数多くの実績を積み重ねてまいりました。お客様の施設建設の計画・実行において地場企業の機動力と日本製鉄グループの総合力を生かして様々なご要望にお答えできる体制をとっております。

建設規模の大小に関わらず対応させていただきますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

鉄構事業部

1964 年(昭和 39 年)2 月に新設された工場を基盤に、公共工事としては山口県内の官公庁を中心に橋梁、水門、除塵機などの鋼構造物を設計、製作、現地据付に至るまで一貫した技術を確立しております。また国内外の大手メーカーから、100 t クラスの大型天井クレーンなどの受注実績もあります。「お客様のどのようなご要望にもジャスト・フィットするものをお届けしたい!」という信念のもとトータルな技術と高品質な製品の提供で、お客様からのあらゆるニーズをカバーしております。

機械事業部

製缶品から配管、建材部品まで、幅広い製品群を所有しております。近年は、フッ素樹脂の加工も手掛け、基材加工と樹脂加工を併せ持つプラント向け総合メーカーとして、全国規模の営業を展開。

また、高圧ガス、第一種圧力容器など付加価値の高い製品も得意とする分野です。

EIC ソリューション部

建設事業部内の一組織でありましたメカトロ部を EIC ソリューション部として独立。EIC(Electricity Instruments Computer)を駆使し、お客様の要望にお応え(ソリューション)いたします。主な業務としては、機械設備系、制御システム系、監視システム系、各種保守などの業務から成り、官民向け、中小プラントをトータルにエンジニアリングいたします。

【営業種目】

熱交換器

熱交換器、圧力容器は第 1 種圧力容器、高圧ガス特定設備等の設計・製作・納入まで、短納期・高品質で対応しています。



食品・医療用各種機器

乳製品、調味液、果汁、酒類その他のご要望に応じています。



各種樹脂加工「ロトフロン」

粉体を基材の中に入れ、炉内において 2 軸 + α 方向に回転させながら焼成し、皮膜を形成させる加工法です。この方法では加工面の表面積により必要皮膜を調整し、継ぎ目のない樹脂層を作り出すことができます。



油圧フランジ・クランプ・サニタリー部品

油圧用高圧フランジ、旋削加工物、一般配管用クランプ継手、サニタリー配管部品からプレハブ製作、配管工事一式まで請け負います。



住宅用基礎鉄筋ユニット

ミレニアムベース工法は、基礎梁筋ユニット、継手筋ユニット、開口補強筋ユニットで構成される基礎梁組立鉄筋システムです。



土木

厚東川大橋 旧橋撤去工事、山口宇部空港 誘導路・駐車場工事、など数多くの実績があります。



建築



宇部市医師会地域医療センター、湯田自動車学校など、数多くの新

築工事、設計・施工を行っております。



鉄構（クレーン）

天井クレーン、クラブトロリー式橋形クレーンを扱っています。



鉄構（橋梁・水門・除塵機）



監視・制御システム

各種動力盤・制御盤・計装盤の設計、製作、および電気・計装工事を行っております。



新たな取り組み

○スケルトン・防災コーティング

コンクリート構造物のはく落防止、補強、耐震、劣化抑制の新分野に取り組んでいます。
透明な表面保護工法：塗布接着形シート工法の製品です。
コンクリートの表面が透けて見える：だから安心。

○高効率気体溶解技術

山口大学、宇部高専、(有)バブルタンクと弊社の4者による「マイクロバブルを用いた水質浄化研究」において、開発した技術です。
(マイクロバブル発生装置である気体溶解装置は連名で国際特許を出願中)

○チタン製超高真空装置

シェル材は純チタンですが、ICFフランジは、チタン合金(特許品)を使い、ステンレス材以上の硬度を持ち、真空シールは市販の銅ガスケットでOKです。内面及び外面は経験豊富なバフ研磨技術と化学研磨により、 $Ra=0.2nm$ (ナノメートル)の面粗度を出しています。
同一形状のステンレスチャンバーと比較した場合、目標真空に約半分の時間で到達します。



○チタン製サニタリー接手

耐酸性、耐アルカリ性が必要とされる配管。ステンレス特有のすきま腐食・孔食が発生している配管。食品(マヨネーズ、調味液、スポーツ飲料、塩水)の配管にも適しています。



《関連会社》

【株式会社 クルス】



宇部市西平原二丁目9番17号

電話 0836-29-0964

資本金 2,000万円

設立 1967年(昭和42年)2月13日

一般建設業許可 山口県知事 般第7845号

《営業種目》

1. 水道、消防、衛生、ガス、冷暖房設備の設計施工
2. 新築・リフォーム設計施工
3. 不動産仲介・斡旋
4. 生命保険および損害保険代理業

【新光工事 株式会社】



宇部市大字妻崎開作702番地

電話 0836-41-0916

資本金 2,000万円

設立 1980年(昭和55年)7月1日

特定建設業許可 山口県知事 特第18817号

般第18817号

《営業種目》

1. 一般産業機械、化学機械装置の設計、製作・据付並びに解体修理
2. 化学装置の配管工事
3. 起重機の保守点検業務

株式会社 セキュア 24

所在地：宇部市芝中町 1-25
電 話：0836-39-6611

「安心」「安全」「信頼」を守る警備



【企業データ】

代表取締役：橋本 健一

資本金：800 百万円

従業員：90 人

創 業：1994 年（平成 6 年）4 月 22 日

設 立：2008 年（平成 20 年）11 月 12 日

【理念】

「時代の変化に対応し、社会的責任を果たす」

【ご挨拶】

私たちセキュア 24 は、地域の保全を目的とする基礎的産業として、平成 6 年に創業いたしました。近年、急速に治安の悪化が進み、犯罪も多様化、凶悪化の一途をたどっております。また、交通事情も変化し続けるなど、皆さまの安全と安心を脅かす不安因子が増加しております。こうした危険を未然に防止するために、私たちは「時代の変化に対応し、社会的責任を果たす」を企業理念とし、迅速な機動力とこれまで築いてきたシステムを駆使して、皆さまの安全と安心を確保することに全力を注ぎます。私たちは「未来を創造する、くらしのトータルサポーター」です。皆さまのニーズにお応えし、地域社会に貢献することをお約束いたします。

代表取締役社長 橋本 健一

【企業のあゆみ】

2008 年 11 月	(有)インディア警備保障 設立 同 代表取締役 黒石氏
2011 年 11 月	(有)インディア警備保障を買収 同 代表取締役 橋本健一 就任
2012 年 7 月	(株)セキュア 24 に社名変更 山口営業所を開設 山陽小野田出張所を開設
2013 年 4 月	各官公庁の警備業務委託を受託
2017 年 9 月	警備員教育施設として研修センターを開設
2018 年 11 月	【設立 10 周年】

【企業の強み】



【業務内容】

《警備》

- 総合警備保障業務
- ホームセキュリティー機器販売
- 道路保安図面作成
- 列車見張員
- 安全資器材レンタル・販売
- 清掃介護

＊上記各号に付帯する一切の業務

《管理》

- 道路保安図作成
- 警備計画立案・実施

【将来】

IT を駆使したセキュリティシステムを構築するなど地域の人々が安心して暮らせるよう常に新しいことに挑戦していく。更には県内にネットワークを広げより多くの人の手助けをしていきたい。

【営業所】

本 社

所在地：宇部市芝中町 1-25

電 話：0836-39-6611



山口営業所

所在地：山口市小郡下郷 943 番地 9

電 話：083-976-8282

山陽小野田出張所

所在地：山陽小野田市柿山 1 丁目 31-10

電 話：0836-39-7660

研修センター（2020 年 4 月撮影）



【警備業務の例】



お気軽にお問合せください。

お仕事のご依頼や雇用に関することなどお気軽に
ご相談ください。

電 話：0836-39-6611

（24 時間対応）



セントラル硝子 株式会社 宇部工場

所在地：宇部市大字沖宇部 5253 番地
電 話：0836-22-5111

【会社概要】

執行役員宇部工場長 毛利 勇
宇部工場従業員：625 名（2020 年 10 月現在）
設 立：1936 年（昭和 11 年）



【理念】 “ものづくりで築く より良い未来”

セントラル硝子グループは、ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献します。

【方針】

独創的な技術により新たな価値を創造します。
環境との調和を心掛け、社会との共生に努めます。
グローバルでの成長を原動力として企業価値の増大を図ります。
開拓精神と多様性を尊重し、活力溢れる企業を目指します。

【ご挨拶】

当社は 1936 年にソーダ製品の製造販売を目的とする化学メーカーとして設立され、その後ソーダ灰を原料とするガラス事業に進出し、現在ではガラスと化成品の 2 つの事業を展開しています。
ガラス事業では、建築用、自動車用、電子材料用の分野に展開し、それぞれの分野で研究開発に注力して最先端の技術による製品を供給し続けています。また、積極的な海外展開を進めてきた結果、ガラス事業では海外の売上規模が国内を上回るまでに成長してまいりました。
化成品事業では、化学品、ファインケミカル、肥料の分野に展開しております。ソーダ灰の併産物を有効活用した肥料分野、更には肥料原料中のフッ素を活用したファインケミカル分野へと伸展してまいりました。その過程で培った研究開発への取り組みが実

を結び、当社独自の技術による医薬品・中間体、半導体向け電子材料、リチウムイオン二次電池用電解液、温暖化防止に向けた低 GWP のフッ素系発泡剤・溶剤等の製品群を展開しています。

また、長年培ってきたガラス部門のガラス表面処理技術と、化成品部門の高品質な半導体材料量産化技術とを融合して開発したユニークで画期的な半導体ウェハ撥水乾燥薬液の事業も展開しています。今後もガラス部門、化成品部門のコラボレーションを図り、社会環境の変化に伴う市場ニーズの多様化に対応した独自製品の開発を積極的に推進してまいります。

セントラル硝子グループは今後とも堅実な事業運営を遂行するとともに、「環境・エネルギー」、「ライフサイエンス」、「快適な生活」に寄与する事業を当社の成長事業と位置づけ推進することにより、ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献してまいります。

今後とも皆様方のなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【沿革】

セントラル硝子(株)は 1936 年（昭和 11 年）山口県宇部市に設立された宇部曹達工業(株)を母体としています。ソーダ工業製品をベースに肥料事業に展開、その後、1958 年（昭和 33 年）にガラス事業に進出し、1963 年（昭和 38 年）に社名をセントラル硝子(株)に改めました。



宇部曹達工業(株)（1936 年設立当時）

今日の当社は、建築・住宅用ガラス、自動車用ガラス、情報・電子産業用ガラス、化学品、肥料、ファインケミカル、ガラス繊維などの幅広い分野に展開し、社会が求める様々なニーズに応えるべく日々努力を続けています。2021 年には、宇部市で設立して以来設立 85 年目を迎えます。

【宇部工場沿革】

- 1936 年 第 1 期工事(苛性ソーダ)着工
- 1938 年 苛性ソーダの生産を開始
- 1940 年 ソーダ灰の生産を開始
- 1953 年 塩化アンモニウムの生産を開始
- 1960 年 塩化燐安、燐酸の生産開始
- 1974 年 フッ化水素酸の生産を開始
- 1984 年 有機フッ化物の多目的(MP P)稼働
- 1988 年 高純度フッ化物ガスプラント(G P P)稼働
肥料部門分社化、セントラル化成(株)設立
- 1992 年 フロート板ガラスの生産を開始
パーフルオロ化合物プラント(P F P)稼働
- 1994 年 セボフルラン製造プラント(B P - 1)稼働
- 1997 年 I S O 9 0 0 2 を認証取得(現 9 0 0 1)
- 1999 年 新規被覆肥料(セラコート R)の生産開始
- 2000 年 ラフチジン製造プラント(B P - 2)稼働
I S O 1 4 0 0 1 認証取得
- 2009 年 フロート板ガラスの生産を休止
- 2011 年 O H S A S 1 8 0 0 1 認証取得
リチウムイオン二次電池用電解液の生産
を開始
- 2015 年 ソーダ灰および関連製品の生産を停止
- 2017 年 フルオロカーボン製造プラント(U F - 1)
稼働

【宇部工場の環境・社会貢献活動】

■省エネルギー活動

省エネルギー活動では、省エネ委員会、省エネ実行委員会をつくり、生産性向上と操業技術改善等、効率的にエネルギーを使用できるように取り組んでいます。今後も優れた省エネ技術を積極的に導入し、エネルギーの有効活用及びCO₂排出量の削減に努めます。また、宇部市では、産官学で「宇部コンビナート省エネ・温室効果ガス削減研究協議会」を設立しており、当工場も本協議会に積極的に参加しております。

最近改善しました主な省エネ案件は以下の通りです。

- ・貫流ボイラー設置により、重油から都市ガスへの燃料転換及び発電所を停止しエネルギー使用量・CO₂排出量を削減。
- ・計画的な省エネ設備・機器への更新及び高効率電動機の積極的導入。



(貫流ボイラー)

■廃棄物削減活動

- ・排水処理汚泥の一部については、セメント原料としてリサイクル化を図っています。
- また、廃棄物の発生源対策として、工程から発生する廃弗酸を弗酸の原料である蛍石として回収する取組みも行っており、廃棄物の削減および資源化の推進を図っています。



(廃液処理施設)

■社会貢献活動及び国際協力

主な社会貢献活動

- ・小野湖、常盤公園の清掃活動（1回／年）
- ・市道、県道の清掃活動（1回／月）
- ・夏休みジュニア科学教室（1回／年）
- ・スィーパーによる道路清掃（毎日）

国際協力

- ・ラオスへの小学校建設、衣類提供。



(公道の清掃活動)

有限会社 宇部分析センター

所在地：宇部市大字沖宇部 5254 番地 15

電 話：0836-22-5280

【会社概要】

代表取締役社長 塩川 慶一

資本金：2,000 万円（セントラル硝子㈱全額出資）

従業員：39 名（2020 年 10 月現在）

設立：1983 年（昭和 58 年）6 月 1 日

【環境品質方針】

試験・検査サービスを通じて、常に地球環境と人の健康・安全に配慮し、お客様のご要望に応え真に豊かな社会の実現に貢献します。

【ご挨拶】

当社は昭和 58 年(1983 年)、セントラル硝子(株)宇部工場の長年蓄積してきた高度な専門技術部門母体として設立されました。設立当時は、独自の社屋もなく、セントラル硝子(株)宇部工場内の分析棟を間借りし、バルク製品・原料・製造工程の化学分析や環境計量・作業環境測定等を主要業務にしておりました。しかし今日においては、お客様のニーズに応えるべく最新の分析機器を導入し社員一同最新の分析技術の習得に日夜努力を続けてきました結果、上記分野の分析はもちろんのこと半導体材料・セラミック・金属の新素材といった無機材料や医薬品・農薬の中間体・撥水性材等の有機材料に至るまで材料全般に関して、主成分の高精度分析から超微量成分分析にわたる広範囲な受託分析業務を行っております。

当社は創業以来、誠実を基本姿勢とした信頼性の高い報告書の提出、短納期、機密保持を心掛けております。また、セントラル硝子(株)グループの一員として「ものづくりで築くより良い未来」の基本理念に沿って、真に豊かな社会の実現に貢献していきます。



(有)宇部分析センター社屋：手前 1 号棟、奥 2 号棟

【沿革】

1983 年 有限会社宇部分析センターを設立
セントラル硝子㈱宇部工場内で事業開始（分析棟借用）

1983 年 作業環境測定機関登録

1986 年 新社屋完成（現 1 号棟）

2017 年 1 号棟に隣接した 2 号棟が完成

【業務内容】

◇材料分析

各種無機材料・有機材料の定性・定量分析、組成分析、構造解析

◇環境計量

大気・水質・騒音・振動・悪臭、産業廃棄物、土壌、底質等に含まれる有害物質の検定分析

◇作業環境測定

粉塵・特定化学物質・金属類・有機溶剤
その他（酸素濃度、CO、CO2 等）



◆分析測定は「正確に」「迅速に」「誠意をもって」
おこない、内容の秘密は厳守します。

セントラル化成 株式会社 宇部工場

所在地：宇部市大字沖宇部 5254 番地の 7

電話：0836-34-5848



【会社概要】

代表取締役社長 横本 耕一郎 取締役宇部工場長 野口 英憲

資本金：3 億 1000 万円 株主 セントラル硝子株式会社 100%

従業員 全社 125 人（内：宇部工場 61 人）＜2020 年 10 月現在＞

設立 1988 年 5 月

事業内容 化成肥料の製造、販売、加工

【理念】

“ものづくりで築く より良い未来” ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献します。

【ご挨拶】

1953 年の「塩安」の生産開始以来、当社は肥料の生産・販売を行って参りました。

現在は、省力肥料「セラコート」、高度化成肥料、配合肥料もラインアップに加え、肥料の分野から日本の農業に貢献するために、社員一丸となって努力しております。

農業は、人間が生きていく上で必要な食料の供給の他に国土保全に関する機能など多くの役割を有しています。セントラル化成は、今後ともこの農業と供に歩んで参ります。

引き続き、ご支援賜りたくお願い申し上げます。

【沿革】

1988 年 セントラル硝子株式会社から肥料製造部門を分社化し、セントラル化成株式会社を設立。

2004 年 セントラル硝子株式会社の肥料販売部門と日本合同肥料を統合し、セントラル合同肥料株式会社を設立。

2012 年 セントラル合同肥料株式会社を統合。

【主な取扱い製品】

- ・塩化アンモニウム：硫酸アンモニウム、尿素と共に日本の窒素肥料の主役となる肥料の一つ。
- ・塩加磷安、NK 化成：塩化アンモニウムをベースに磷酸アンモニウムと塩化加里を加えてつくられたものが塩加磷安、塩化アンモニウムに塩化加里を加えてつくられたものが NK 化成。
- ・セラコート R 複合：塩加磷安や、NK 化成に、尿素をコーティングした被覆肥料(セラコート R)を、配合したもの。

セントラルエンジニアリング 株式会社

所在地：宇部市大字沖宇部 5272 番 4
電 話：0836-33-1301



【会社概要】

代表取締役社長 久保 昌弘

資本金：3,000 万円 設立：1972 年 8 月 21 日

従業員：120 人＜2020 年 10 月現在＞

許認可：土木工事業、建築工事業、大工工事業、
とび・土木工事業、石工事業、屋根工事業、
電気工事業、管工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、解体工事業他

【理念】

「ものづくりで築く より良い未来」

技術力を高め存在感のある会社を目指して、日夜努力を続けてまいります。

【ご挨拶】

セントラル硝子グループの関係会社として、各種プラントの建設・メンテナンスに必要な技術スタッフ・技能集団を揃え、お客様のニーズにお応えしています。環境分野では、半導体向けガス処理装置を製造販売し、海外も含め多くの半導体メーカーの皆様にご採用頂いております。

【沿革】

- 1972 年 08 月 宇部プラントサービス株式会社 資本金 10,000 千円にて設立
- 1981 年 10 月 工務部門と物流部門が分離され、新会社として資本金 30,000 千円にて設立
- 1981 年 11 月 建設業 山口県知事許可取得
- 1982 年 04 月 山口県及び宇部市の指定請負業者の資格取得し、官公庁工事に参入
- 1986 年 04 月 宇部プラントサービス株式会社をセントラルエンジニアリング株式会社に改称
- 1994 年 04 月 株式会社東芝から S E S (システムエンジニアリングステーション) 認定取得
- 2016 年 01 月 産業廃棄物収集運搬業取得
- 2016 年 07 月 大工工事業/石工事業/屋根工事業/タイル・れんが・ブロック工事業/舗装工事業/塗装工事業
防水工事業/内装仕上工事業/熱絶縁工事業/建具工事業/解体工事業の業種追加

【事業内容】

■プラントの設計・施工

各種プラントの建設には確かな技術と経験、そして専門の知識の他に総合力も必要とされます。弊社では、プラントの設計、指導などを中心とするソフト面から、土木建築工事、機械・電気計装設備の施工といったハード面まで安心して全てをお任せいただける、総合プラントエンジニアリングメーカーです。

■プラントメンテナンス

各種機器・タンクの設計・製作をはじめ、回転機械等の分解整備、機器・タンク類の洗浄作業、さらに設備の状況をチェックする設備診断から機器・配管の非破壊検査まで幅広く対応いたします。また、化学工場で必要なフッ素樹脂や F R P のライニングも対応しております。お客様のニーズに応えられるよう「信頼して仕事を任せられるプロ集団」を目指し、常に全力で取り組んでいます。

■半導体向けガス処理装置の設計製作

半導体製造用ガスの開発から培ってきた弊社技術とノウハウを生かし、半導体製造装置から排出される各種半導体ガスの処理装置およびそのほかの周辺機器を提供しています。

「環境にやさしく、安全に、確実に」をテーマに、研究・開発を行っております。

株式会社 東商セントラル 宇部支社

所在地：宇部市明治町一丁目 9 番 15 号

電 話：0836-32-3111

【会社概要】

代表取締役社長 松山 明

取締役宇部支社長 橋本 幸成

資本金：3,000 万円 設 立：1972 年 8 月 21 日

従業員：全社 180 人（内：宇部支社 130 人）

＜2020 年 10 月現在＞

許認可：保険代理店業、毒物劇物一般販売業、高圧ガス販売業、石油販売業、肥料販売業、農薬販売業、一般貨物自動車運送業、貨物利用運送業、指定自動車整備業、他



【理念】未来へはばたく、《チャレンジ》の力

“ものづくりで築く より良い未来” ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献します。

【ご挨拶】

我社は、セントラル硝子グループの中核関係会社として、地域に密着した幅広い活動を展開しております。「保険代理店業」「設備機械」「樹脂製品」「包装資材」「工業薬品」「エネルギー商品」「物流」「自動車整備業」「事務用品」「日用品」「緑化資材」等の販売に至るまで、そこに係わる人・物・情報・環境をリンクする事により、自由な相互関係を模索し皆様方に無限のサービスを提供する企業を目指しています。

【沿革】

1972 年 8 月 宇部プラントサービスを設立(セントラル硝子(株) 全額出資)

1982 年 1 月 宇部プラントサービス株式会社から株式会社宇部デリバリーへ社名変更

2016 年 4 月 宇部商事株式会社(1919 年 5 月設立)と合併し、社名を宇部商事株式会社へ変更
本社を現在所在地へ変更

2018 年 4 月 株式会社東商セントラル(1980 年 8 月設立)と合併し、社名を株式会社東商セントラルへ
変更 本社は東京へ移転
旧宇部商事は、宇部支社として組織変更

【事業内容】

《保険部》山口県初の保険最上位資格を取得後、35 年維持継続している老舗代理店として
生損保の契約の相談・選択から事故処理まで一貫してお手伝いしています。

《産業資材部》燃料関連、化学品関連、設備機器関連、包装資材、食品・生活雑貨、贈答品、事務用品、
家電・照明器具、ユニフォーム・作業服等の販売。

《緑化資材部》防草シート、ビニールハウス、肥料・農薬、園芸貸鉢リース、植込み、芝コンサルト等

《物流部》セントラル硝子グループの「調達物流」「生産物流」「販売物流」、生産活動からの廃棄物回収を担う「静脈物流」をトータルサポートしています。

《整備課》国公認定整備工場として、大型トラックや商用車はもとより車両系建設機械をはじめマイカーの車検点検整備、新車・中古車販売等幅広くおこなっています。